

NUAGE

NUAGE MASTER CONTROL SURFACE
Ncs500-CT

オペレーションマニュアル

オペレーションマニュアルの使いかた

このオペレーションマニュアルは、用語の検索機能やリンク機能を活用できます。

用語の検索

用語を検索するときは、本書を表示しているソフトウェアの機能を使います。Adobe Readerを使っているときは、検索バーに用語を入力してコンピューターキーボードの[Enter]キーを押すと、入力した用語を検索できます。

前の画面/次の画面の表示

Adobe Readerを使っているときは、前の画面/次の画面を表示できます。ページのリンクでページを移動したあとに、前の画面に戻りたいときに便利です。

目次

はじめに	3
取扱説明書の読みかた	3
本体の説明.....	4
トップパネル.....	4
フロントパネル.....	26
リアパネル	27
ソフトウェアの説明.....	28
マルチファンクションディスプレイに表示されるページ.....	28
NUAGE MASTER Setup	44
NUAGE Workgroup Manager	46
困ったときは(オペレーション編)	47
資料.....	47
セットアップガイドの目次.....	47
四角ボタンのラベルの交換.....	47
Pro Toolsのコントロール	48
NUAGE V2.1で追加された機能.....	52
NUAGE V2.0で追加された機能.....	56
NUAGE V1.7で追加された機能.....	69
NUAGE V1.6で追加された機能.....	84
NUAGE V1.5で追加された機能.....	93
NUAGE V1.2で追加された機能.....	100
NUAGE V1.1で追加された機能.....	103

お知らせ

- ・ 取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ MacまたはMacintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

はじめに

取扱説明書の読みかた

種類と内容

・ セットアップガイド

本体に付属の取扱説明書です。本体の使用準備をするためにお読みください。

・ オペレーションマニュアル

ウェブサイトからダウンロードする、PDFファイルの取扱説明書(本書)です。本体の機能や使用方法を調べるためにお読みください。

表記

・ []と「 」

この取扱説明書では、[]と「 」は次のものを表記するために使用しています。

記号	表記するもの
[]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本体にあるボタン、スイッチ、インジケーター、端子など ・ コンピューターのキーボードにあるキー
「 」	<ul style="list-style-type: none"> ・ タッチパネルディスプレイ、コンピューターの画面、ソフトウェアの画面にあるメニュー、ボタン、タブ、エリア、ウィンドウなど ・ メッセージ、機能名、取扱説明書の中の参照先などの引用

・ WindowsとMac

手順や説明で、WindowsとMacで操作が違ったり、どちらかのOSだけで使用できる機能の場合は、それを記載しています。OSの記載がない場合は、両OSで共通です。

・ 手順

手順の一部は、「→」を使用して簡潔に記載しています。たとえば、「デバイス」→「デバイス設定」→「コントロールパネル」と記載している場合は、次のように操作します。

1. 「デバイス」メニューをクリックします。
2. 「デバイス設定」オプションを選択します。
3. 「コントロールパネル」ボタンをクリックします。

・ キーボードショートカット

キーボードショートカットは、[Windowsのキー]/[Macのキー]+[キー]と記載しています。たとえば、[Ctrl]/[command]+[Z]は、Windowsでは[Ctrl]キーを押したまま、Macでは[command]キーを押したまま、[Z]キーを押します。

・ 画像(スクリーンショット)

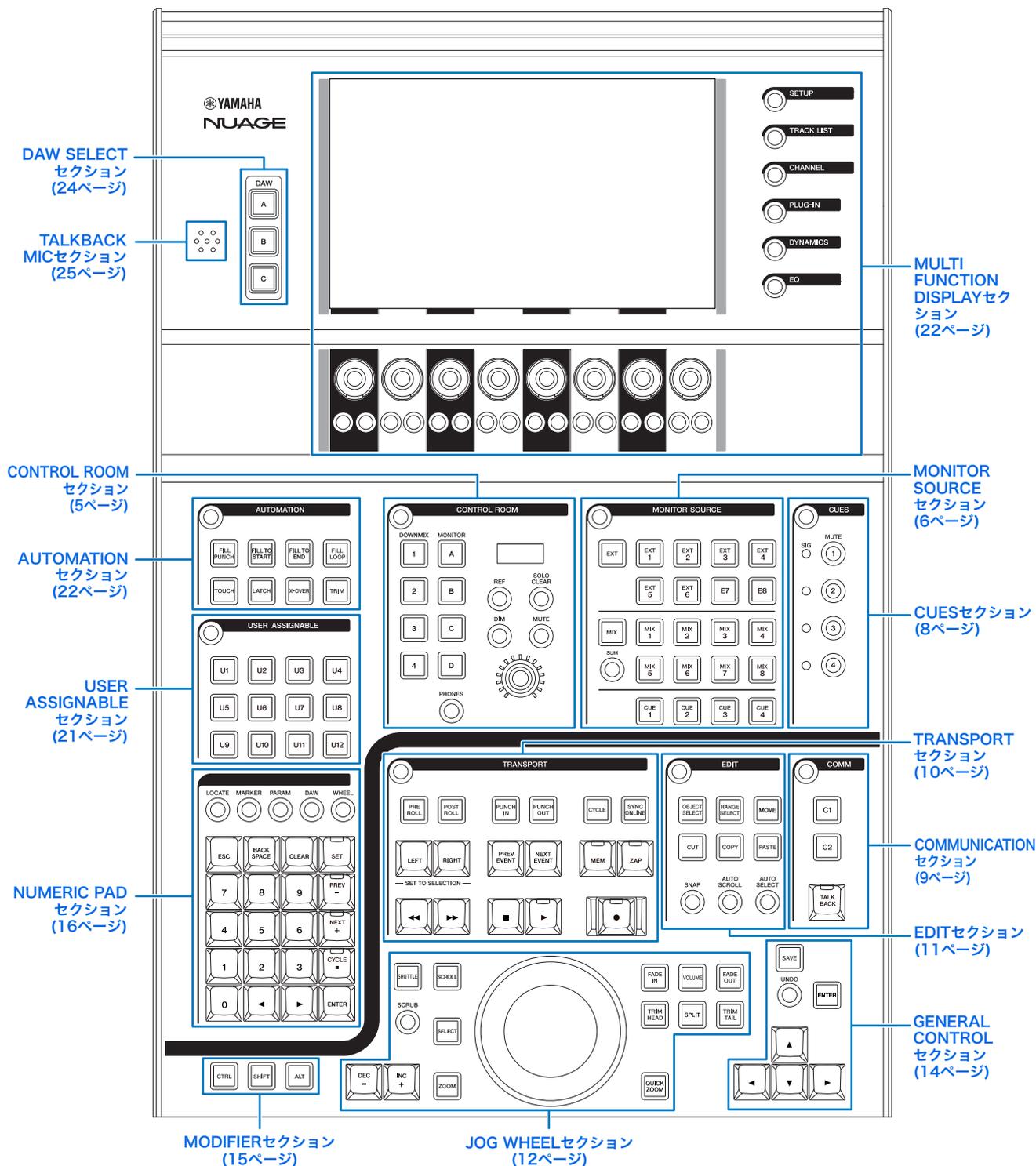
説明のための画像は、Windows版を使用しています。ただし、Mac版だけの機能を説明するための画像は、Mac版を使用しています。また、Nuendoの画像はNuendo 6を使用しています。他のバージョンのNuendoをご使用の場合、画像が異なることがあります。詳細は、Nuendoの「ヘルプ」メニューから開く取扱説明書(PDF)をご参照ください。

Nuendoの機能の説明

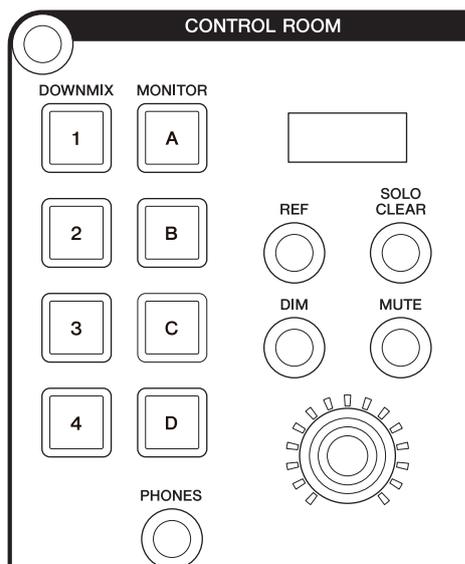
この取扱説明書では、Nuendoの機能の説明は簡単な内容にとどめています。Nuendoの機能の詳細は、Nuendoの「ヘルプ」メニューから開く取扱説明書(PDF)をご参照ください。

本体の説明

トップパネル



CONTROL ROOMセクション



概要

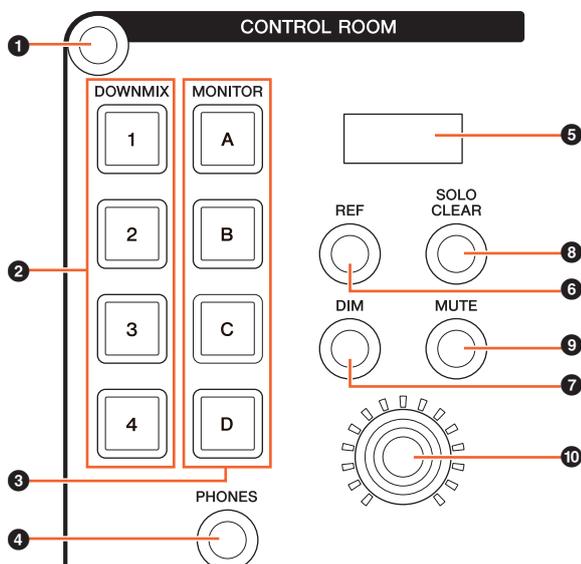
「Control Room」を操作するセクションです。このセクションを使用するには、Nuendoの「Control Room」をオンにしてから「Control Room」で使用するチャンネルを作成し、入出力先を設定する必要があります。

[DOWNMIX 1]～[DOWNMIX 4]は、「ダウンミックスプリセット1」～「ダウンミックスプリセット4」を切り替えるボタンです。[MONITOR A]～[MONITOR D]は、「モニターA」～「モニターD」を切り替えるボタンです。

[CONTROL ROOM LEVELノブ]は、「Control Room」のレベルを調節するノブです。ただし、[PHONES]がオンのときは、「Phones」のレベルを調節します。

DAWソフトウェアを複数台設定し、「DAW SELECTセクション」(24ページ)で切り替えて使用している場合、このセクションは常にDAW AのNuendoの「Control Room」を操作します。つまり、このセクションはDAWソフトウェアの切り替えに影響を受けません。

各部の名称と機能



① [ディスプレイアクセス]

MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[マルチファンクションディスプレイ]の表示を、「CONTROL ROOMページ」(38ページ)に切り替えます。CONTROL ROOMページが表示されているときは、CONTROL ROOMページのタブを切り替えます。

② [DOWNMIX 1]～[DOWNMIX 4]

「ダウンミックス」のプリセットを切り替えます。

ランプの状態	説明
点灯	「ダウンミックス」のプリセットを選択しています。
暗点灯	「ダウンミックス」のプリセットを選択していません。

③ [MONITOR A]～[MONITOR D]

「モニター」を切り替えます。

ランプの状態	説明
点灯	「モニター」を選択しています。
暗点灯	「モニター」を選択していません。
消灯	「モニター」を設定していません。

④ [PHONES]

次の操作子の操作対象を「Phones」に切り替えます。

- ・ [CONTROL ROOM LEVELノブ]
- ・ MONITOR SOURCEセクションの[EXT](7ページ)
- ・ MONITOR SOURCEセクションの[MIX](7ページ)
- ・ MONITOR SOURCEセクションの[CUE 1]～[CUE 4](7ページ)

ランプの状態	説明
点灯	操作子の操作対象は「Phones」です。
暗点灯	操作子の操作対象は「Control Room」です。
消灯	「Phones」を設定していません。

⑤ [CONTROL ROOMディスプレイ]

[CONTROL ROOM LEVELノブ]でレベルを調節するとき、操作対象やレベルが表示されます。



レベル表示は、Nuendoの設定値(dB)とSPL値を切り替えることができます。レベル表示の切り替えは、[マルチファンクションディスプレイ]に表示されるCONTROL ROOMページの「MAINページ」(38ページ)で設定します。SPL値は、[マルチファンクションディスプレイ]に表示される「SETUPページ」(29ページ)で設定します。Nuendoの設定値との差分を保持したまま、表示される値が変化します。

6 [REF]

「Control Room」のレベルを「リファレンス」のレベルにします。オンにすると、設定した「リファレンス」のレベルになり、ランプが点灯します。オフにすると元のレベルに戻り、ランプは暗点灯します。オンにしたあと、「Control Room」のレベルを変更した場合もオフ(暗点灯)になります。

「MODIFIERセクション」(15ページ)の修飾ボタンを押したまま[REF]を押すと、次のように機能します。

修飾ボタン	機能
[ALT]	現在の「Control Room」のレベルを、「リファレンス」のレベルに設定します。

7 [DIM]

「DIM」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。オンにすると、「Control Room」のレベルが下がります。オフにすると、元のレベルに戻ります。「DIM」のレベルは、Nuendoで設定します。

8 [SOLO CLEAR]

すべての「ソロ」または「Listen」をオフにします。ボタンを押している間、ランプが点灯します。

ランプの状態	説明
点滅	「ソロ」または「Listen」がオンになっているチャンネルが1つ以上あります。
消灯	すべてのチャンネルの「ソロ」または「Listen」がオフです。

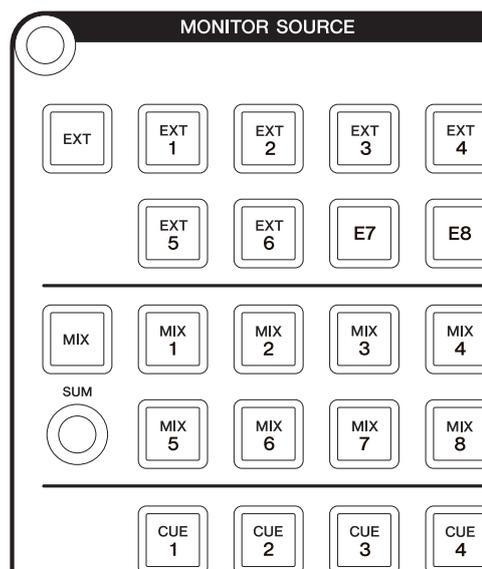
9 [MUTE]

「Control Room」の「ミュート」を(点灯)/オフ(暗点灯)します。

10 [CONTROL ROOM LEVELノブ]

「Control Room」のレベルを調節します。ただし、[PHONES]がオンのときは、「Phones」のレベルを調節します。[CONTROL ROOM LEVELノブ]を押したまま回すと、レベルを微調節できます(ファインモード)。

MONITOR SOURCEセクション



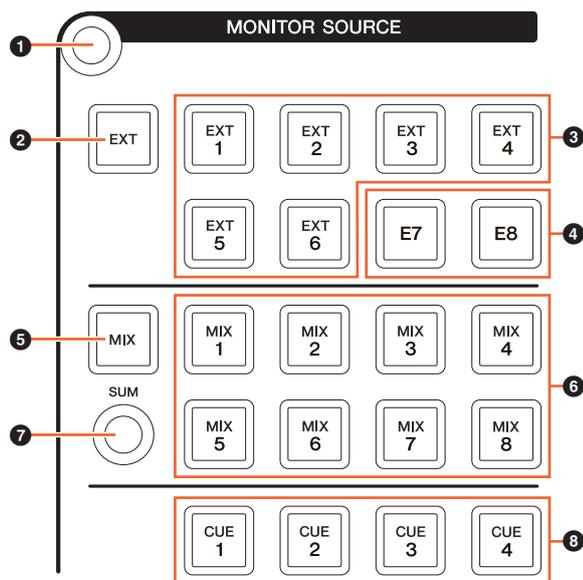
概要

「Control Room」のソースを切り替えるセクションです。このセクションを使用するには、Nuendoの「Control Room」をオンにしてから「Control Room」で使用するチャンネルを作成し、入出力先を設定する必要があります。

[EXT]、[MIX]、[CUE 1]～[CUE 4]は、「Control Room」のソースを切り替えるボタンです。ただし、CONTROL ROOMセクションの[PHONES](5ページ)がオンのときは、「Phones」のソースを切り替えます。[EXT 1]～[EXT 6]は「EXT」のソース、[MIX 1]～[MIX 8]は「MIX」のソースを切り替えるボタンです。

DAWソフトウェアを複数台設定し、「DAW SELECTセクション」(24ページ)で切り替えて使用している場合、このセクションは常にDAW AのNuendoの「Control Room」を操作します。つまり、このセクションはDAWソフトウェアの切り替えに影響を受けません。

各部の名称と機能



① [ディスプレイアクセス]

MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[マルチファンクションディスプレイ]の表示を、「MONITOR SOURCEページ」(40ページ)に切り替えます。

② [EXT]

「Control Room」のソースを「EXT」に切り替えます。ただし、CONTROL ROOMセクションの[PHONES](5ページ)がオンのときは、「Phones」のソースを「EXT」に切り替えます。

ランプの状態	説明
点灯	ソースを「EXT」にしています。
暗点灯	「EXT」のソースを1つ以上設定しています。
消灯	「EXT」のソースを1つも設定していません。

③ [EXT 1]~[EXT 6]

「EXT」のソースを切り替えます。

ランプの状態	説明
点灯	「EXT」のソースとして選択しています。
暗点灯	「EXT」のソースとして選択していません。
消灯	「EXT」のソースとして設定していません。

④ [E7]/[E8]

使用しません。

⑤ [MIX]

「Control Room」のソースを「MIX」に切り替えます。ただし、CONTROL ROOMセクションの[PHONES](5ページ)がオンのときは、「Phones」のソースを「MIX」に切り替えます。

ランプの状態	説明
点灯	ソースを「MIX」にしています。
暗点灯	「MIX」のソースを1つ以上設定しています。
消灯	「MIX」のソースを1つも設定していません。

⑥ [MIX 1]~[MIX 8]

「MIX」のソースを選択します。

ランプの状態	説明
点灯(緑)	「MIX」のソース(入力)として選択しています。
暗点灯(緑)	「MIX」のソース(入力)として選択していません。
点灯(オレンジ)	「MIX」のソース(出力またはグループ)として選択しています。
暗点灯(オレンジ)	「MIX」のソース(出力またはグループ)として選択していません。
消灯	「MIX」のソースとして設定していません。

⑦ [SUM]

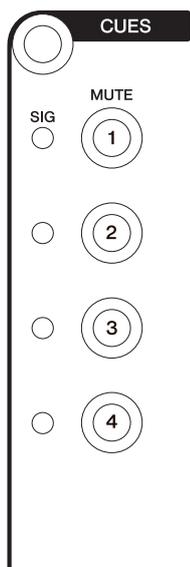
[MIX 1]~[MIX 8]で「MIX」のソースを選択するときに、複数選択(点灯)か択一選択(暗点灯)かを切り替えます。

⑧ [CUE 1]~[CUE 4]

「Control Room」のソースを「キュー」に切り替えます。ただし、CONTROL ROOMセクションの[PHONES](5ページ)がオンのときは、「Phones」のソースを「キュー」に切り替えます。

ランプの状態	説明
点灯	ソースを「キュー」にしています。
暗点灯	ソースを「キュー」にしていません。
消灯	「キュー」を設定していません。

CUESセクション

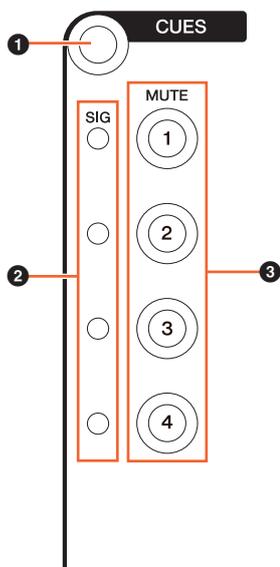


概要

「Control Room」の「キュー1」～「キュー4」の「ミュート」をオン/オフするセクションです。このセクションを使用するには、Nuendoの「Control Room」をオンにしてから「Control Room」で使用するチャンネルを作成し、入出力先を設定する必要があります。

DAWソフトウェアを複数台設定し、「DAW SELECTセクション」(24ページ)で切り替えて使用している場合、このセクションは常にDAW AのNuendoの「Control Room」を操作します。つまり、このセクションはDAWソフトウェアの切り替えに影響を受けません。

各部の名称と機能



① [ディスプレイアクセス]

MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[マルチファンクションディスプレイ]の表示を、「CUESページ」(40ページ)に切り替えます。

② [SIGインジケータ]

「キュー1」～「キュー4」のレベルが表示されます。

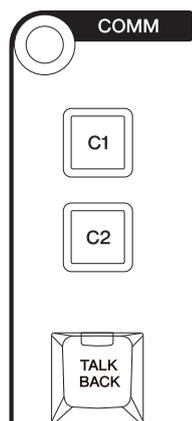
ランプの状態	説明
点灯(赤)	レベルオーバー
点灯(オレンジ)	-18 dB以上～0 dB未満
点灯(緑)	-40 dB以上～-18 dB未満
消灯	-40 dB未満

③ [MUTE 1]～[MUTE 4]

「キュー1」～「キュー4」の「ミュート」をオン/オフします。

ランプの状態	説明
点灯	「キュー」の「ミュート」はオンです。
暗点灯	「キュー」の「ミュート」はオフです。
消灯	「キュー」を設定していません。

COMMUNICATIONセクション



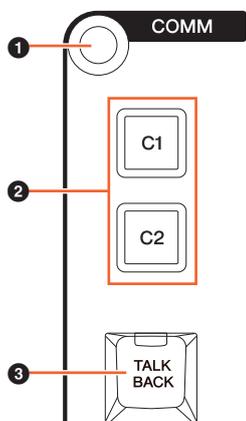
概要

「Control Room」の「Talkback」を使用したり、割り当てた機能を使用したりするセクションです。このセクションを使用するには、Nuendoの「Control Room」をオンにしてから「Control Room」で使用するチャンネルを作成し、入出力先を設定する必要があります。

[TALK BACK]は、「Talkback」をオン/オフするボタンです。

DAWソフトウェアを複数台設定し、「DAW SELECTセクション」(24ページ)で切り替えて使用している場合、このセクションは常にDAW AのNuendoの「Control Room」を操作します。つまり、このセクションはDAWソフトウェアの切り替えに影響を受けません。

各部の名称と機能



① [ディスプレイアクセス]

MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[マルチファンクシオンディスプレイ]の表示を、「COMMUNICATIONページ」(41ページ)に切り替えます。

② [C1]/[C2]

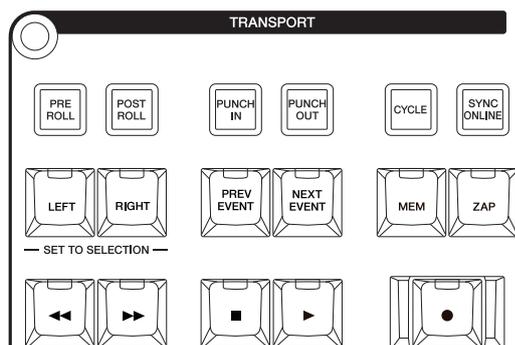
割り当てた機能を使用します。ボタンを押している間、ランプが点灯します。機能の割り当ては、NUAGE MASTER Setupの「Communication画面」(45ページ)で設定します。

ランプの状態	説明
暗点灯	機能を割り当てています。
消灯	機能を割り当てていません。

③ [TALK BACK]

「Talkback」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。[TALK BACK]を0.2秒くらい押し続けて離すと、「Talkback」はオンになります。もう一度押し続けるとオフになります。[TALK BACK]を押し続けると、押し続けている間はオンですが、離すとオフになります。

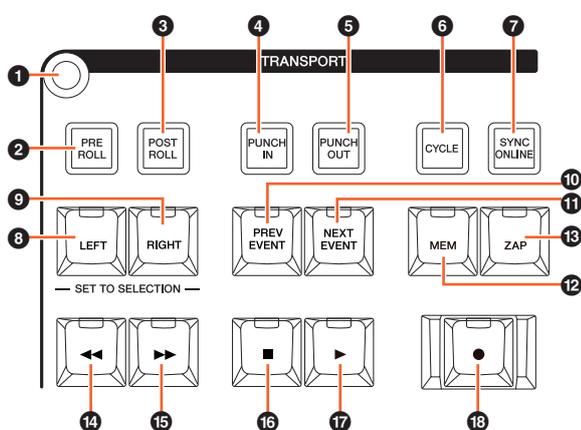
TRANSPORTセクション



概要

トランスポートを操作するセクションです。

各部の名称と機能



① [ディスプレイアクセス]

MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[マルチファンクションディスプレイ]の表示を、「TRANSPORTページ」(41ページ)に切り替えます。TRANSPORTページが表示されているときは、TRANSPORTページのタブを切り替えます。

② [PRE ROLL]

「プリロール」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

③ [POST ROLL]

「ポストロール」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

④ [PUNCH IN]

「オートパンチイン」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

⑤ [PUNCH OUT]

「オートパンチアウト」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

⑥ [CYCLE]

「サイクル」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

⑦ [SYNC ONLINE]

「外部同期」をオン/オフします。

ランプの状態	説明
点灯	「外部同期」がオンです。
暗点灯	「外部同期」がオフです。
点滅	「外部同期」はオンですが、外部タイムコード/クロックを受信していません。

⑧ [LEFT]

「プロジェクトカーソル」を「左ロケーター」の位置に移動します。

NUMERIC PADセクションの[SET](20ページ)を押して、[マルチファンクションディスプレイ]にセットモードのポップアップが表示されているときに[LEFT]を押すと、現在の「プロジェクトカーソル」の位置を「左ロケーター」の位置として設定できます。

[LEFT]を押したままJOG WHEELセクションの[ジョグホイール](13ページ)を回すと、「左ロケーター」の位置を移動できます。

NUMERIC PADセクションの[SET](20ページ)を押して、[マルチファンクションディスプレイ]にセットモードのポップアップが表示されているときに[LEFT]と[RIGHT]を同時に押すと、選択範囲または選択しているイベントの範囲を「左右ロケーター」の位置として設定できます。

⑨ [RIGHT]

[LEFT]と同様です。ただし、対象は「右ロケーター」です。

⑩ [PREV EVENT]

「プロジェクトカーソル」を、選択しているチャンネルの「プロジェクトカーソル」の位置にあるイベントの開始位置か、「プロジェクトカーソル」の位置より前にあるイベントの終了位置に移動します。[PREV EVENT]を押し続けると、連続で移動します。

⑪ [NEXT EVENT]

「プロジェクトカーソル」を、選択しているチャンネルの「プロジェクトカーソル」の位置にあるイベントの終了位置か、「プロジェクトカーソル」の位置より後ろにあるイベントの開始地点に移動します。[NEXT EVENT]を押し続けると、連続で移動します。

⑫ [MEM]

0.5秒以上押すことで、現在の「プロジェクトウィンドウ」の表示状態を記憶します。表示状態を記憶したときに、ランプが点灯します。記憶できる表示状態は1つだけです。記憶した表示状態は、[ZAP]で呼び出します。

13 [ZAP]

[MEM]で記憶した「プロジェクトウィンドウ」の表示状態を呼び出します。もう一度押すと、[ZAP]を押す前の状態に戻ります。ボタンを押している間、ランプが点灯します。

ランプの状態	説明
暗点灯	記憶した「プロジェクトウィンドウ」の表示状態を呼び出すことができます。
消灯	「プロジェクトウィンドウ」の表示状態を[MEM]に記憶していません。

14 [◀◀](ファストリwind)

「巻き戻し」をします。

15 [▶▶](ファストフォワード)

「早送り」をします。

16 [■](ストップ)

「停止」をします。

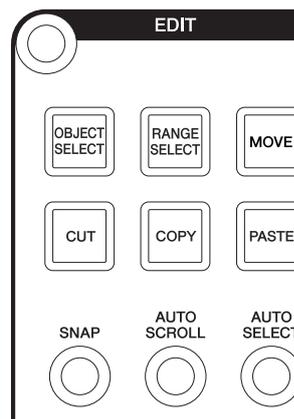
17 [▶](プレイ)

「再生」をします。範囲またはイベントを選択しているときに[ALT]を押しながら[▶]を押すと、範囲またはイベントの開始地点から再生します。

18 [●](レコード)

「録音」をします。

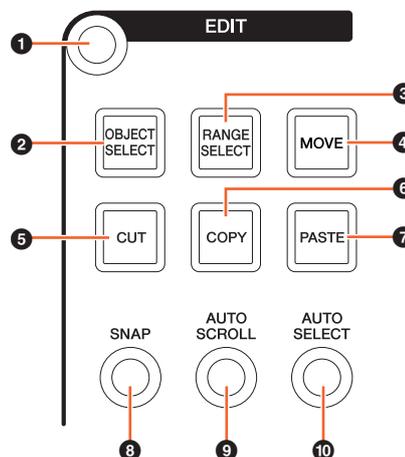
EDITセクション



概要

「編集」や「ツール」を操作するセクションです。

各部の名称と機能



1 [ディスプレイアクセス]

MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[マルチファンクションディスプレイ]の表示を、「EDITページ」(43ページ)に切り替えます。EDITページが表示されているときは、EDITページのバンクを切り替えます。

2 [OBJECT SELECT]

「ツール」を「オブジェクトの選択」に切り替えます。「オブジェクトの選択」に切り替えているときに[OBJECT SELECT]を押すと、「オブジェクトの選択」のサイズ変更モードの切り替えができます。

3 [RANGE SELECT]

「ツール」を「範囲選択」に切り替えます。「範囲選択」に切り替えているときに[RANGE SELECT]を押すと、「選択範囲A」と「選択範囲B」の切り替えができます。

4 [MOVE]

JOG WHEELセクションの[MOVE](13ページ)をご参照ください。

5 [CUT]

「切り取り」をします。ボタンを押している間、ランプが点灯します。

ランプの状態	説明
暗点灯	「切り取り」ができます。
消灯	イベントを選択していません。

6 [COPY]

「コピー」をします。ボタンを押している間、ランプが点灯します。

ランプの状態	説明
暗点灯	「コピー」ができます。
消灯	イベントを選択していません。

7 [PASTE]

「貼り付け」をします。ボタンを押している間、ランプが点灯します。

ランプの状態	説明
暗点灯	「貼り付け」ができます。
消灯	「貼り付け」をするイベントがありません。

8 [SNAP]

「スナップ」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

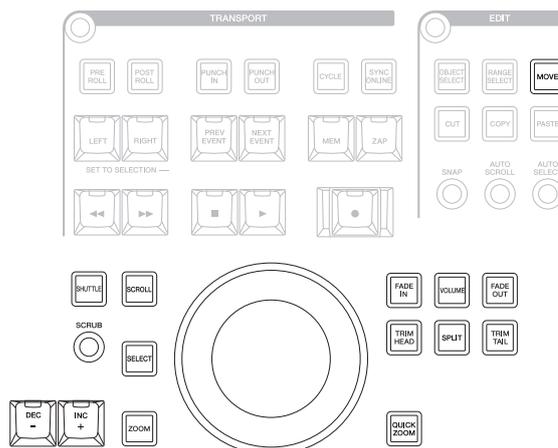
9 [AUTO SCROLL]

「オートスクロール」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

10 [AUTO SELECT]

「カーソル位置のイベントを自動的に選択」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

JOG WHEELセクション



概要

[ジョグホイール]でさまざまなパラメーターを操作するセクションです。操作するパラメーターは、[ジョグホイール]のモードや機能によって変化します。

[ジョグホイール]には次のモードがあります。()は、そのモードに切り替えるためのボタンです。

- ・ ジョグモード
- ・ シャトルモード([SHUTTLE])
- ・ スクロールモード([SCROLL])
- ・ ズームモード([ZOOM])
- ・ レベルモード([VOLUME])
- ・ ムーブモード([MOVE])

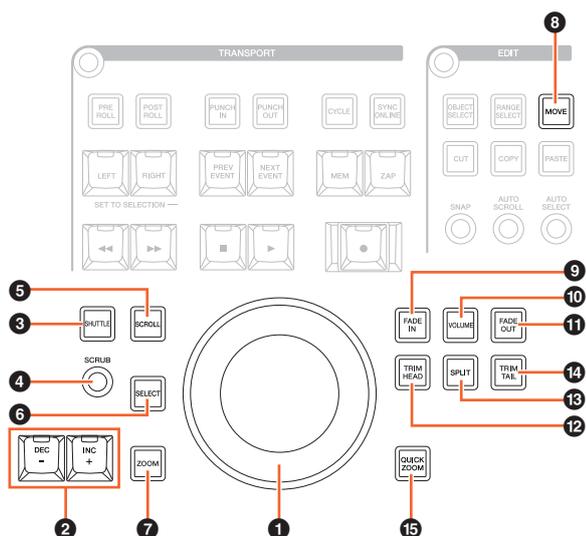
[ジョグホイール]の初期モードはジョグモードです。ジョグモードでは、[ジョグホイール]で「プロジェクトカーソル」を移動できます。ジョグモードのときは、モードを切り替えるボタンはすべて暗点灯しています。モードを切り替えるボタンを押してすぐ離すと、ボタンが点灯してそのモードに切り替わります。点灯しているボタンを押すと、ボタンが暗点灯してジョグモードに戻ります。モードを切り替えるボタンを押し続けると、押している間はそのモードに切り替わりませんが、ボタンを離すと元のモードに戻ります。

[ジョグホイール]には、次の機能があります。

- ・ セレクト機能([SELECT])
- ・ フェードイン機能([FADE IN])
- ・ フェードアウト機能([FADE OUT])
- ・ トリムヘッド機能([TRIM HEAD])
- ・ スプリット機能([SPLIT])
- ・ トリムテール機能([TRIM TAIL])
- ・ クイックズーム機能([QUICK ZOOM])

モードや機能の詳細は、モードや機能を切り替えるボタンの説明をご参照ください。

各部の名称と機能



① [ジョグホイール]

さまざまなパラメーターを操作します。操作するパラメーターは、[ジョグホイール]のモードや機能によって変化します。

② [INC +]/[DEC -]

[ジョグホイール]で操作するパラメーターを、一定量ずつ増減します。[INC +]/[DEC -]を押し続けると、連続で増減します。

③ [SHUTTLE]

[ジョグホイール]をシャトルモードに切り替えます。シャトルモードのときは、「スクラブ再生」がオンになります。ただし、録音中はシャトルモードには切り替わりません。シャトルモードでは、[ジョグホイール]で停止から4倍速の再生までを操作できます。シャトルモードになったときのジョグホイールの位置を0度とします。+135度で4倍速の再生、-135度で4倍速の逆再生をします。この角度の間で、再生速度は無段階に変化します。

④ [SCRUB]

「スクラブ再生」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

⑤ [SCROLL]

[ジョグホイール]をスクロールモードに切り替えます。スクロールモードでは、[ジョグホイール]で「プロジェクトウィンドウ」をスクロールできます。

⑥ [SELECT]

セレクト機能を使用します。セレクト機能は、「ツール」が「オブジェクトの選択」か「範囲選択」かで動作が異なります。「オブジェクトの選択」と「範囲選択」の切り替えは、EDITセクションの[OBJECT SELECT](11ページ)、EDITセクションの[RANGE SELECT](11ページ)、Nuendoのツールバーなどで設定します。

ツールが「オブジェクトの選択」の場合、[SELECT]を押すと、選択しているチャンネルの中で「プロジェクトカーソル」の位置にあるイベントを選択できます。

ツールが「範囲選択」の場合、[ジョグホイール]で範囲を選択できます。以下はその操作例です。

1. 範囲を選択したいチャンネルを1つまたは複数、選択します。
2. EDITセクションの[RANGE SELECT]を押して、「ツール」を「範囲選択」にします。
[RANGE SELECT]が点灯します。
3. [SELECT]を押して、選択範囲の開始位置を決定します。
[SELECT]が点灯します。
4. [ジョグホイール]を回して、選択範囲を調節します。
開始位置から[ジョグホイール]を時計回りに回すと範囲の終点を右に、反時計回りに回すと範囲の始点を左に移動します。
5. [SELECT]を押して、選択範囲を決定します。

手順3で[ZOOM]を押すと[ジョグホイール]は一時的に「ズームイン」と「ズームアウト」として機能します。もう一度[ZOOM]を押すと、元の状態に戻ります。また、手順3で[PREV EVENT]または[NEXT EVENT]を押すと、「プロジェクトカーソル」が選択範囲の始点または終点に移動します。

⑦ [ZOOM]

[ジョグホイール]をズームモードに切り替えます。ズームモードでは、[ジョグホイール]で「ズームイン」/「ズームアウト」ができます。

⑧ [MOVE]

[ジョグホイール]をムーブモードに切り替えます。ムーブモードでは、[ジョグホイール]でイベントを移動できます。

9 [FADE IN]

フェードイン機能を使用します。以下は、フェードイン機能の操作例です。

1. 「フェードイン」を設定したいイベントを選択します。
2. 「フェードイン」を設定したい位置に「プロジェクトカーソル」を移動します。
3. [FADE IN]を押して、「フェードイン」を設定します。

手順3で[FADE IN]を押しながら[ジョグホイール]を回すと、「フェードイン」の位置を調節できます。

10 [VOLUME]

[ジョグホイール]をレベルモードに切り替えます。レベルモードでは、[ジョグホイール]で、選択しているイベントのレベルを調節できます。

11 [FADE OUT]

フェードアウト機能を使用します。[FADE OUT]を押しているときだけ、[ジョグホイール]で、選択しているイベントの「フェードアウト」の時間を調節できます。操作方法は[FADE IN]と同様です。

12 [TRIM HEAD]

トリムヘッド機能を使用します。[TRIM HEAD]を押しているときだけ、[ジョグホイール]で、選択しているイベントまたは選択している範囲の「開始」時間を調節できます。[TRIM HEAD]を押したときに、「ツール」が「オブジェクトの選択」の場合は選択しているイベントの「開始」時間、「ツール」が「範囲選択」の場合は選択している範囲の「開始」時間を調節できます。

ランプの状態 説明

暗点灯(緑)	「ツール」は「オブジェクトの選択」です。
暗点灯(オレンジ)	「ツール」は「範囲選択」です。

13 [SPLIT]

スプリット機能を使用します。[SPLIT]を押すと、選択しているイベントが「プロジェクトカーソル」の位置で分割されます。

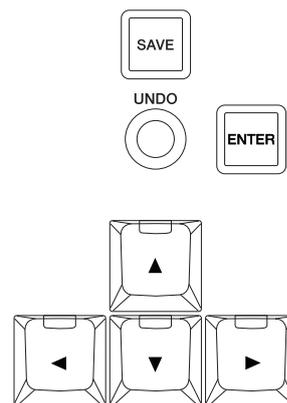
14 [TRIM TAIL]

[TRIM HEAD]と同様です。ただし、「終了」時間を調節します。

15 [QUICK ZOOM]

クイックズーム機能を使用します。[QUICK ZOOM]を押す(点灯)と、「プロジェクトカーソル」の位置で「ズームイン」します。もう一度押す(暗点灯)と、元に戻ります。

GENERAL CONTROLセクション

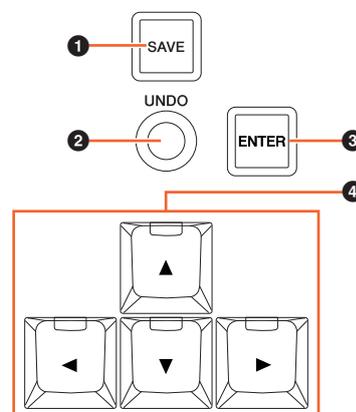


概要

プロジェクトファイルの保存、「元に戻す」、カーソルの移動などを操作するセクションです。

[SAVE]は、プロジェクトファイルの名前に新しい番号を付けて、新規ファイルとして保存するボタンです。[▲]/[◀]/[▼]/[▶]は、カーソルを移動したり、ページを切り替えたりするボタンです。[ENTER]は、入力した値や選択した項目を「確定」したり、フォーカスがあるパラメーターを入力できる状態にしたりするボタンです。[▲]/[◀]/[▼]/[▶]と[ENTER]は、コンピューターのキーボードの[矢印キー]と[Enter]と同じように機能します。

各部の名称と機能



1 [SAVE]

「新しいバージョンを保存」をします。プロジェクトファイルの名前に新しい番号を付けて、新規ファイルとして保存します。ボタンを押している間、ランプが点灯します。

② [UNDO]

「元に戻す」をします。ボタンを押している間、ランプが点灯します。

MODIFIERセクションの[SHIFT](15ページ)を押したまま[UNDO]を押すと、「再実行」ができます。ボタンを押している間、ランプが点灯します。

ランプの状態	説明
暗点灯(緑)	「元に戻す」ができます。
暗点灯(オレンジ)	「再実行」ができます。
消灯	「元に戻す」または「再実行」ができません。

③ [ENTER]

入力した値や選択した項目を「確定」したり、フォーカスがあるパラメーターを入力できる状態にしたりします。

④ [▲]/[◀]/[▼]/[▶](アップ/レフト/ダウン/ライト)

チャンネルやイベントを選択したり、選択範囲を移動したりします。[▲]/[◀]/[▼]/[▶]を押し続けると連続で動作します。

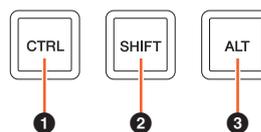
MODIFIERセクション



概要

修飾ボタンのセクションです。このセクションのボタンは、コンピューターのキーボードの[Shift]、[Ctrl]/[Command]、[Alt]/[Option]と同じように機能します。

各部の名称と機能



① [CTRL]

Ctrl/Commandの機能を使用します。

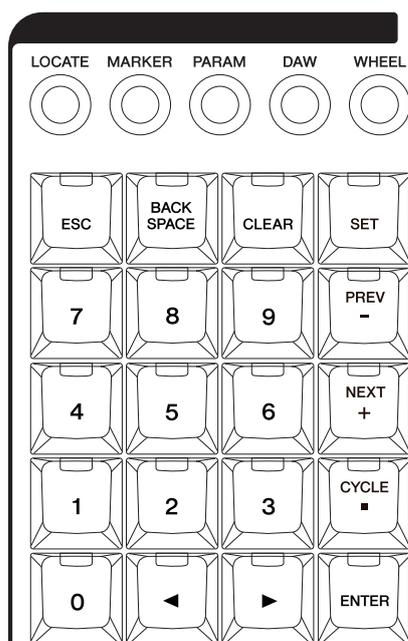
② [SHIFT]

Shiftの機能を使用します。

③ [ALT]

Alt/Optionの機能を使用します。

NUMERIC PADセクション



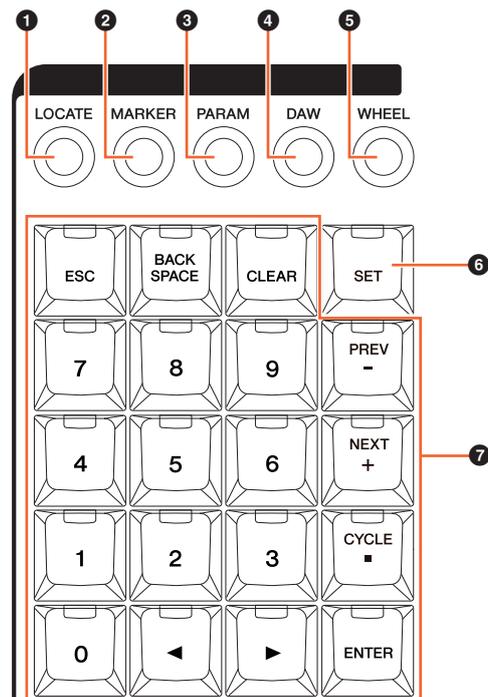
概要

さまざまなパラメーターを、[0]~[9]、[ENTER]、[NEXT +]などの[入力キー]で入力するセクションです。入力するパラメーターは、[入力キー]のモードによって変化します。[入力キー]には次のモードがあります。()は、そのモードに切り替えるためのボタンです。

- ・ ロケートモード([LOCATE])
- ・ マーカーモード([MARKER])
- ・ パラメーターモード([PARAM])
- ・ DAWモード([DAW])
- ・ ホイールモード([WHEEL])
- ・ セットモード([SET])

モードの詳細は、モードを切り替えるボタンの説明をご参照ください。

各部の名称と機能



① [LOCATE]

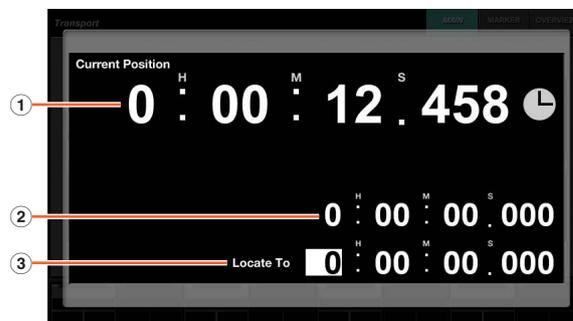
[入力キー]をロケートモードに切り替えます。ロケートモードでは、[入力キー]で「プロジェクトカーソル」の位置を指定できます。「プロジェクトカーソル」の位置の単位は、Nuendoの設定によって変化します。

ロケートモードには、次の3つの機能があります。

- ・ ロケート機能(16ページ)
- ・ 減算機能(17ページ)
- ・ 加算機能(17ページ)

ロケート機能

ロケート機能では、数字を入力することで「プロジェクトカーソル」の位置を指定できます。ロケートモードのときに、[0]~[9]、[◀]/[▶]、[BACK SPACE]、[CLEAR]、[CYCLE .]、[ENTER]のどれかを押しと、ロケート機能を使用するためのポップアップが[マルチファンクションディスプレイ]に表示されます。



① Current Position

「プロジェクトカーソル」の現在の位置が表示されます。

② 加算、減算機能のオフセット

使用しません。

③ Locate To

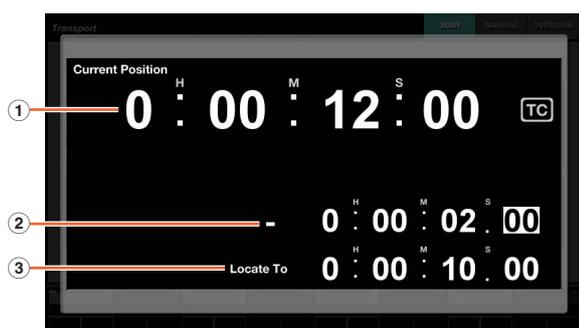
「プロジェクトカーソル」の位置を入力します。

ロケート機能のポップアップでは、[入力キー]は次のように機能します。

[入力キー]	機能
[0]~[9]	入力位置に数字を入力します。
[◀]/[▶]	入力する桁を左右に移動します。
[BACK SPACE]	入力位置の数字を一つ削除します。
[CLEAR]	入力したすべての数字を削除します。
[SET]	セットモードに切り替えます。このとき、ランプが点灯します。
[PREV -]	減算機能に切り替えます。このとき、ランプが点灯します。
[NEXT +]	加算機能に切り替えます。このとき、ランプが点灯します。
[CYCLE .]	入力位置に数値がある場合、桁を右に移動します。入力位置に数値がない場合、数値を0にしてから桁を右に移動します。
[ESC]	入力を破棄し、ポップアップを消します。
[ENTER]	入力を確定し、ポップアップを消します。

減算機能

減算機能では、減算値を入力することで「プロジェクトカーソル」の位置を指定できます。ロケートモードのときに[PREV -]を押すと、減算機能を使用するためのポップアップが[マルチファンクションディスプレイ]に表示されます。



① Current Position

「プロジェクトカーソル」の現在の位置が表示されます。

② 減算機能のオフセット

減算値を入力します。

③ Locate To

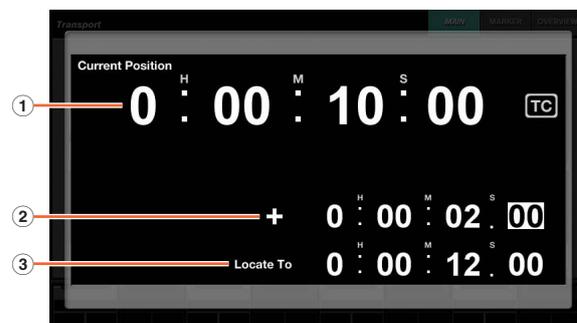
減算値を反映したときの「プロジェクトカーソル」の位置が表示されます。

減算機能のポップアップでは、[入力キー]は次のように機能します。

[入力キー]	機能
[0]~[9]	入力位置に数字を入力します。
[◀]/[▶]	入力する桁を左右に移動します。
[BACK SPACE]	入力位置の数字を一つ削除します。
[CLEAR]	入力したすべての数字を削除します。
[SET]	セットモードに切り替えます。このとき、ランプが点灯します。
[PREV -]	入力した数字を現在の位置から減算します。[PREV -]を押すたびに減算できます。
[NEXT +]	加算機能に切り替えます。このとき、ランプが点灯します。
[CYCLE .]	入力する桁を右に移動します。
[ESC]	入力を破棄し、ポップアップを消します。
[ENTER]	入力を確定し、ポップアップを消します。

加算機能

加算機能では、加算値を入力することで「プロジェクトカーソル」の位置を指定できます。ロケートモードのときに[NEXT +]を押すと、加算機能を使用するためのポップアップが[マルチファンクションディスプレイ]に表示されます。



① Current Position

「プロジェクトカーソル」の現在の位置が表示されます。

② 加算機能のオフセット

加算値を入力します。

③ Locate To

加算値を反映したときの「プロジェクトカーソル」の位置が表示されます。

加算機能のポップアップでは、[入力キー]は次のように機能します。

[入力キー]	機能
[0]~[9]	入力位置に数字を入力します。
[◀]/[▶]	入力する桁を左右に移動します。
[BACK SPACE]	入力位置の数字を一つ削除します。
[CLEAR]	入力したすべての数字を削除します。
[SET]	セットモードに切り替えます。このとき、ランプが点灯します。
[PREV -]	減算機能に切り替えます。このとき、ランプが点灯します。
[NEXT +]	入力した数字を現在の位置から加算します。 [NEXT +]を押すたびに加算できます。
[CYCLE .]	入力する桁を右に移動します。
[ESC]	入力を破棄し、ポップアップを消します。
[ENTER]	入力を確定し、ポップアップを消します。

② [MARKER]

[入力キー]をマーカーモードに切り替えます。マーカーモードでは、[入力キー]で「プロジェクトカーソル」を「マーカー」の位置に移動できます。

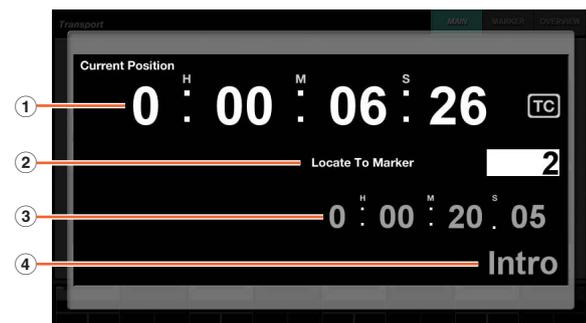
マーカーモードには、次の2つの機能があります。

- ・ マーカージャンプ機能(18ページ)
- ・ サイクルマーカージャンプ機能(19ページ)

マーカージャンプ機能

マーカージャンプ機能では、「マーカー」の「マーカー ID」を入力することで「プロジェクトカーソル」を「マーカー」の位置に移動できます。マーカーモードのときに、[0]~[9]、[BACK SPACE]、[CLEAR]、[PREV -]、[NEXT +]、[CYCLE .]、[ENTER]のどれかを押すと、マーカージャンプ機能を使用するためのポップアップが[マルチファンクションディスプレイ]に表示されます。ただし、[マルチファンクションディスプレイ]の表示がTRANSPORTページの「MARKERページ」(42ページ)のときは、ポップアップは「ラベルエリア」に表示されます。

[マルチファンクションディスプレイ]の表示がMARKERページ以外するとき



[マルチファンクションディスプレイ]の表示がMARKERページするとき



① Current Position

「プロジェクトカーソル」の現在の位置が表示されます。

② Locate To Marker

「マーカー ID」を入力します。

③ マーカー位置

「Locate To Marker」に入力した「マーカー ID」の「マーカー」の位置が表示されます。

④ マーカー名

「Locate To Marker」に入力した「マーカー ID」の「マーカー」の名前が表示されます。

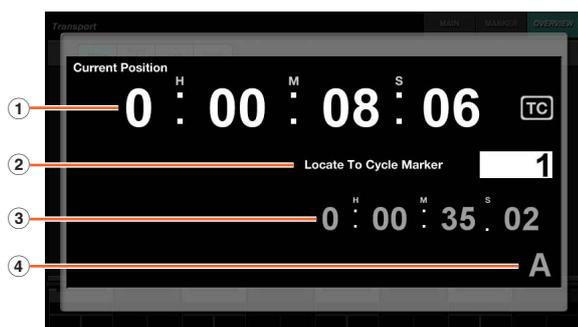
マーカージャンプ機能のポップアップでは、[入力キー]は次のように機能します。

[入力キー]	機能
[0]~[9]	入力位置に「マーカー ID」を入力します。
[◀]/[▶]	「マーカーウィンドウ」が開いているときだけ、「マーカー」の選択を移動します。
[BACK SPACE]	入力位置の「マーカー ID」を一つ削除します。
[CLEAR]	入力したすべての「マーカー ID」を削除します。
[SET]	セットモードに切り替えます。このとき、ランプが点灯します。
[PREV -]	入力中の「マーカー ID」に-1します。
[NEXT +]	入力中の「マーカー ID」に+1します。
[CYCLE .]	サイクルマーカージャンプ機能に切り替えます。このとき、ランプが点灯します。
[ESC]	入力を破棄し、ポップアップを消します。
[ENTER]	入力を確定し、ポップアップを消します。

サイクルマーカージャンプ機能

サイクルマーカージャンプ機能では、「サイクルマーカー」の「マーカー ID」を入力することで「プロジェクトカーソル」を「サイクルマーカー」の開始位置に移動できます。マーカーモードのときに[CYCLE.]押すと[CYCLE.]が点灯し、サイクルマーカージャンプ機能を使用するためのポップアップが[マルチファンクションディスプレイ]に表示されます。ただし、[マルチファンクションディスプレイ]の表示がTRANSPORTページの「MARKERページ」(42ページ)のときは、ポップアップは「ラベルエリア」に表示されます。

[マルチファンクションディスプレイ]の表示がMARKERページ以外するとき



[マルチファンクションディスプレイ]の表示がMARKERページするとき



① Current Position

「プロジェクトカーソル」の現在の位置が表示されます。

② Locate To Cycle Marker

「マーカー ID」を入力します。

③ マーカー位置

「Locate To Cycle Marker」に入力した「マーカー ID」の「マーカー」の位置が表示されます。

④ マーカー名

「Locate To Cycle Marker」に入力した「マーカー ID」の「マーカー」の名前が表示されます。

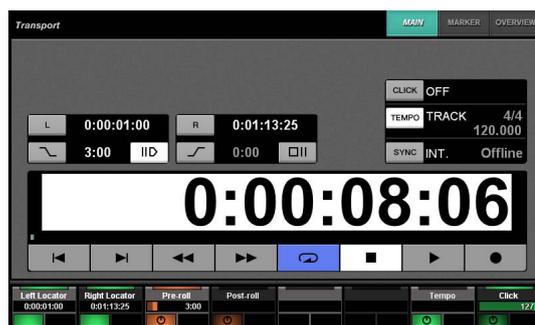
サイクルマーカージャンプ機能のポップアップでは、[入力キー]は次のように機能します。

[入力キー]	機能
[0]~[9]	入力位置に数字を入力します。
[◀]/[▶]	「マーカーウィンドウ」が開いているときだけ、「マーカー」の選択を移動します。

[入力キー]	機能
[BACK SPACE]	入力位置の数字を一つ削除します。
[CLEAR]	入力したすべての数字を削除します。
[SET]	セットモードに切り替えます。このとき、ランプが点灯します。
[PREV -]	入力中の数字に-1します。
[NEXT +]	入力中の数字に+1します。
[CYCLE.]	マーカージャンプ機能に切り替えます。このとき、ランプは消灯します。
[ESC]	入力を破棄し、ポップアップを消します。
[ENTER]	入力を確定し、ポップアップを消します。

③ [PARAM]

[入力キー]をパラメーターモードに切り替えます。パラメーターモードでは、[入力キー]で[マルチファンクションディスプレイ]に表示されているページのパラメーターの値を入力できます。パラメーターモードのときに、値を入力できるパラメーターをタッチすると、パラメーターは入力待ちになります。[入力キー]で値を入力し、[ENTER]を押すと確定できます。



パラメーターモードでは、[入力キー]は次のように機能します。

[入力キー]	機能
[0]~[9]	入力位置に数字を入力します。
[◀]/[▶]	入力する桁を左右に移動します。
[BACK SPACE]	入力位置の数字を一つ削除します。
[CLEAR]	入力したすべての数字を削除します。
[SET]	セットモードに切り替えます。このとき、ランプが点灯します。
[PREV -]	「-」を入力します。
[NEXT +]	「+」を入力します。
[CYCLE.]	「.」を入力します。
[ESC]	入力を破棄します。
[ENTER]	入力を確定します。

④ [DAW]

[入力キー]をDAWモードに切り替えます。DAWモードでは、[入力キー]でDAWソフトウェアのパラメーターの値を入力できます。つまり、[入力キー]をコンピューターのキーボードの数字キーと同じように使用できます。

DAWモードでは、[入力キー]は次のように機能します。

[入力キー]	機能
[0]～[9]	[0]～[9]として機能します。
[◀]/[▶]	[矢印キー](レフト/ライト)として機能します。
[BACK SPACE]	[Backspace]として機能します。
[CLEAR]	[Delete]として機能します。
[SET]	セットモードに切り替えます。このとき、ランプが点灯します。
[PREV -]	[-]として機能します。
[NEXT +]	[+]として機能します。
[CYCLE .]	[.]として機能します。
[ESC]	[Esc]として機能します。
[ENTER]	[Enter]として機能します。

⑤ [WHEEL]

[入力キー]をホイールモードに切り替えます。ホイールモードでは、[入力キー]で、JOG WHEELセクションの[ジョグホイール](13ページ)で操作するパラメーターを入力できます。入力するパラメーターは、JOG WHEELセクションの[ジョグホイール]のモードや機能によって変化します。モードや機能と入力するパラメーターは、次のとおりです。

[ジョグホイール]のモードや機能	入力するパラメーター
ジョグモード	「プロジェクトカーソル」の位置を入力します。
セレクトモード	選択の開始位置を入力します。
レベルモード	ボリュームの値を入力します。
ムーブモード	選択しているイベントのオフセット値を入力します。
フェードイン機能	「フェードイン」の終了位置を入力します。
フェードアウト機能	「フェードアウト」の開始位置を入力します。
トリムヘッド機能	トリムヘッドの位置を入力します。
トリムテール機能	トリムテールの位置を入力します。

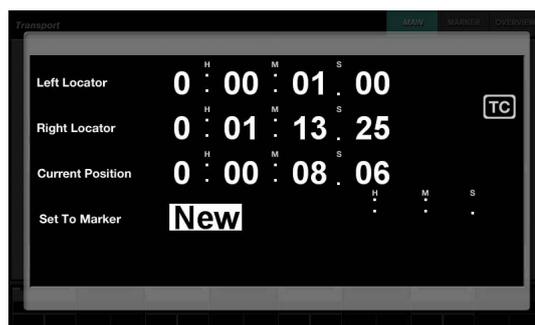
ホイールモードのときに、[0]～[9]、[◀]/[▶]、[BACK SPACE]、[CLEAR]、[PREV -]、[NEXT +]、[CYCLE .]、[ENTER]のどれかを押しと、パラメーターを入力するためのポップアップが[マルチファンクションディスプレイ]に表示されます。ただし、フェードイン機能やトリムヘッド機能などの場合は、その機能を使用するボタンを押したまま、[0]～[9]などを押します。

ホイールモードのポップアップでは、[入力キー]は次のように機能します。

[入力キー]	機能
[0]～[9]	入力位置に数字を入力します。
[◀]/[▶]	入力する桁を左右に移動します。
[BACK SPACE]	入力位置の数字を一つ削除します。
[CLEAR]	入力したすべての数字を削除します。
[SET]	セットモードに切り替えます。このとき、ランプが点灯します。
[PREV -]	「-」を入力します。
[NEXT +]	「+」を入力します。
[CYCLE .]	「.」を入力します。
[ESC]	入力を破棄し、ポップアップを消します。
[ENTER]	入力を確定し、ポップアップを消します。

⑥ [SET]

[入力キー]をセットモードに切り替えます。セットモードでは、現在の「プロジェクトカーソル」の位置に「マーカー」をセットしたり、現在の「左右ロケーター」の位置に「サイクルマーカー」をセットしたりできます。[SET]を押すと、「マーカー」や「サイクルマーカー」をセットするためのポップアップが[マルチファンクションディスプレイ]に表示されます。



このポップアップに表示されている数字などをタッチすることで、入力位置を移動することができます。

セットモードのポップアップでは、[入力キー]は次のように機能します。

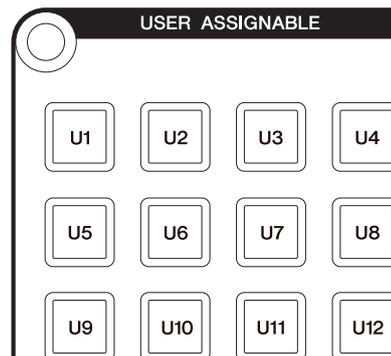
[入力キー]	機能
[0]～[9]	入力位置に数字を入力します。
[◀]/[▶]	入力する桁を左右に移動します。
[BACK SPACE]	入力位置の数字を一つ削除します。
[CLEAR]	入力したすべての数字を削除します。
[SET]	入力を破棄し、ポップアップを消します。
[PREV -]	入力中の数字に-1します。
[NEXT +]	入力中の数字に+1します。
[CYCLE .]	新しくセットする「マーカー」の種類を切り替えます。消灯時は「マーカー」、点灯時は「サイクルマーカー」です。
[ESC]	入力を破棄し、ポップアップを消します。
[ENTER]	入力を確定し、ポップアップを消します。

[SET]と、TRANSPORTセクションの[LEFT]または[RIGHT]を使用すると、ロケーターをセットできます。詳細は、TRANSPORTセクションの[LEFT](10ページ)をご参照ください。

⑦ [入力キー]

パラメーターを入力します。入力するパラメーターは、[入力キー]のモードによって変化します。詳細は、[LOCATE]や[MARKER]などの、モードを切り替えるボタンの説明をご参照ください。

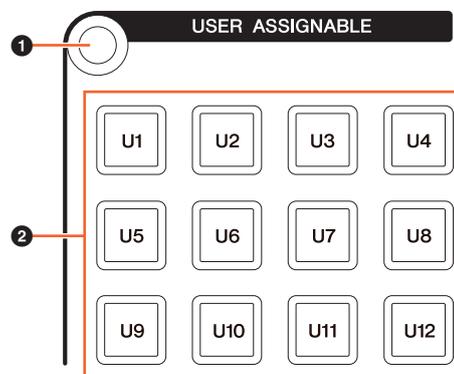
USER ASSIGNABLEセクション



概要

割り当てた機能を使用するセクションです。機能の割り当ては、NUAGE MASTER Setupの「User Assignable画面」(44ページ)で設定します。

各部の名称と機能



① [ディスプレイアクセス]

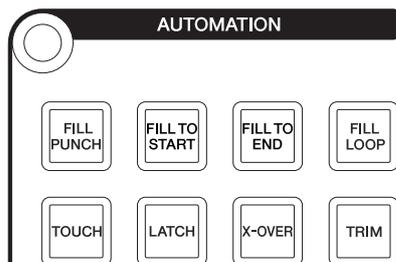
MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[マルチファンクションディスプレイ]の表示を、「USER ASSIGNABLEページ」(38ページ)に切り替えます。USER ASSIGNABLEページが表示されているときは、USER ASSIGNABLEページのバンクを切り替えます。

② [U1]～[U12]

割り当てた機能を使用します。ボタンを押している間、ランプが点灯します。

ランプの状態	説明
暗点灯	機能を使用できます。
消灯	機能を使用できません。

AUTOMATIONセクション

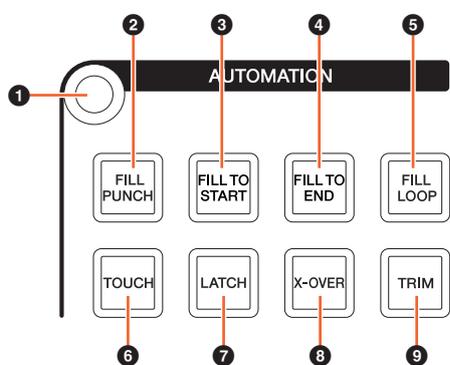


概要

「オートメーション」を操作するセクションです。

このセクションのボタンは、他の「オートメーション」の機能に変更することができます。機能の変更は、NUAGE MASTER Setupの「Automation画面」(45ページ)で設定します。

各部の名称と機能



① [ディスプレイアクセス]

MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[マルチファンクションディスプレイ]の表示を、「AUTOMATIONページ」(37ページ)に切り替えます。

② [FILL PUNCH]

「Fill」の「To Punch」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

③ [FILL TO START]

「Fill」の「To Start」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

④ [FILL TO END]

「Fill」の「To End」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

⑤ [FILL LOOP]

「Fill」の「Loop」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

⑥ [TOUCH]

「タッチ」モードに切り替えます。

⑦ [LATCH]

「オートラッチ」モードに切り替えます。

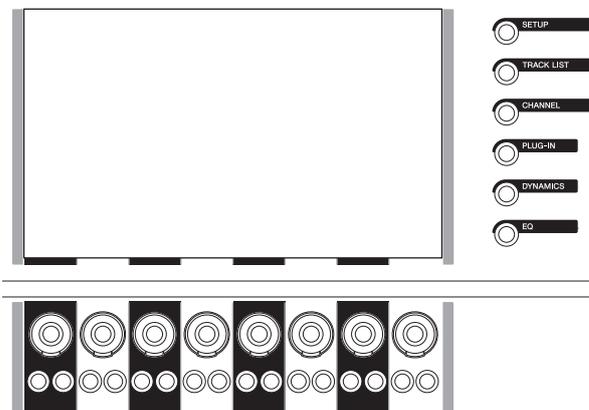
⑧ [X-OVER]

「クロスオーバー」モードに切り替えます。

⑨ [TRIM]

「トリム」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

MULTI FUNCTION DISPLAYセクション



概要

セクションやチャンネルなどのパラメーターを、表示したり編集したりするセクションです。

[マルチファンクションディスプレイ]は、セクションやチャンネルなどのパラメーターを編集するためのページを表示する、タッチパネルディスプレイです。表示されるページにあるいくつかのパラメーターは、タッチすることで選択したり編集したりできます。

注記

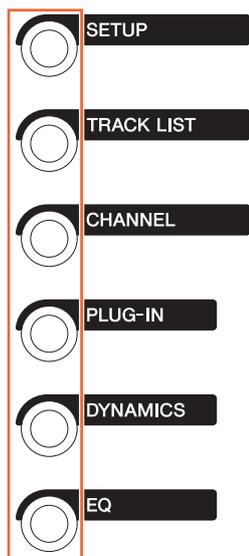
先のとがったものや、爪などの硬いもので、画面を操作しないでください。画面を傷つけたり、タッチスクリーンでの操作ができなくなるおそれがあります。

[マルチファンクションディスプレイ]に表示されるページを切り替えるには、セクションの左上や、[マルチファンクションディスプレイ]の右側にある[ディスプレイアクセス]を押します。

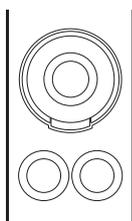
セクションの左上にある[ディスプレイアクセス]



[マルチファンクションディスプレイ]の右側にある[ディスプレイアクセス]



[マルチファンクションノブ]は、さまざまなパラメーターを操作する、タッチセンス付きのノブです。

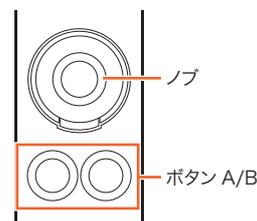


[マルチファンクションノブ]の操作には、タッチする、回す、押す、押したまま回す、の4つがあります。[マルチファンクションノブ]の下部には、[マルチファンクションボタンA]/[マルチファンクションボタンB]があります。このボタンは、[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターを切り替えたりオン/オフしたりするものです。

[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターは、[マルチファンクションディスプレイ]に表示されるページによって変化します。[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターの情報は、[マルチファンクションディスプレイ]に表示されるページの下部にある「ラベルエリア」に表示されます。



以下は、「ラベルエリア」と、[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターの関係を示します。



[マルチファンクションディスプレイ]に表示されるページによって、[マルチファンクションノブ]は次のように機能します。

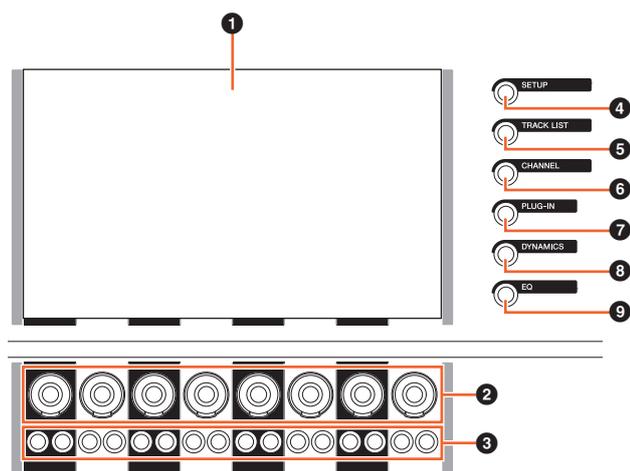
操作	機能
ノブをタッチする	・パラメーターがハイライト表示になります。 ・ポップアップを表示します。
ノブを回す	・パラメーターを調節します。 ・パラメーターを選択します。 ・カーソルを移動します。
ノブを押す	・ポップアップを表示します。 ・パラメーターの選択を確定します。 ・フォルダーを開いたり閉じたりします。
ノブを押したまま回す	パラメーターを微調節します(ファインモード)。

「MODIFIERセクション」(15ページ)の修飾ボタンを押したまま[マルチファンクションノブ]を操作すると、次のように機能します。

操作	機能
[SHIFT]を押したままノブを回す	パラメーターを微調節します(ファインモード)。
[CTRL]を押したままノブを押す	パラメーターを初期値にします。

[マルチファンクションディスプレイ]に表示されるページの詳細は、ソフトウェアの説明の「マルチファンクションディスプレイに表示されるページ」(28ページ)をご参照ください。

各部の名称と機能



① [マルチファンクションディスプレイ]

セクションのパラメーターを設定するページや、チャンネルのパラメーターを設定するページなどが表示されます。

② [マルチファンクションノブ]

さまざまなパラメーターを操作します。[マルチファンクションノブ]にあるLEDの色は、操作するパラメーターによって変化します。

③ [マルチファンクションボタンA]/[マルチファンクションボタンB]

さまざまなパラメーターを、切り替えたりオン/オフしたりします。

④ [SETUP]

[マルチファンクションディスプレイ]の表示を「SETUPページ」(29ページ)に切り替えます。

⑤ [TRACK LIST]

[マルチファンクションディスプレイ]の表示を「TRACK LISTページ」(30ページ)に切り替えます。TRACK LISTページが表示されているときは、TRACK LISTページのタブを切り替えます。

⑥ [CHANNEL]

[マルチファンクションディスプレイ]の表示を「CHANNEL CONTROLページ」(32ページ)に切り替えます。CHANNEL CONTROLページが表示されているときは、CHANNEL CONTROLページのタブを切り替えます。

⑦ [PLUG-IN]

[マルチファンクションディスプレイ]の表示を「PLUG-INページ」(36ページ)に切り替えます。

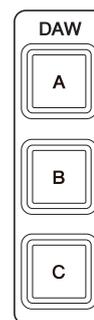
⑧ [DYNAMICS]

[マルチファンクションディスプレイ]の表示を「DYNページ」(34ページ)に切り替えます。

⑨ [EQ]

[マルチファンクションディスプレイ]の表示を「EQページ」(34ページ)に切り替えます。

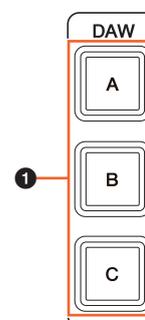
DAW SELECTセクション



概要

操作対象のDAWソフトウェアを切り替えるセクションです。複数のDAWソフトウェアを接続しているときに使用します。接続や設定などの詳細は、NUAGE Workgroup Manager (46ページ)の取扱説明書(PDF)をご参照ください。

各部の名称と機能



① [DAW A]~[DAW C]

操作対象のDAWソフトウェアを切り替えます。

ランプの状態	説明
点灯	DAWソフトウェアを選択しています。
暗点灯	DAWソフトウェアを設定しています。
消灯	DAWソフトウェアを設定していません。

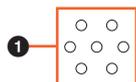
TALKBACK MICセクション



概要

TALKBACKマイクのセクションです。

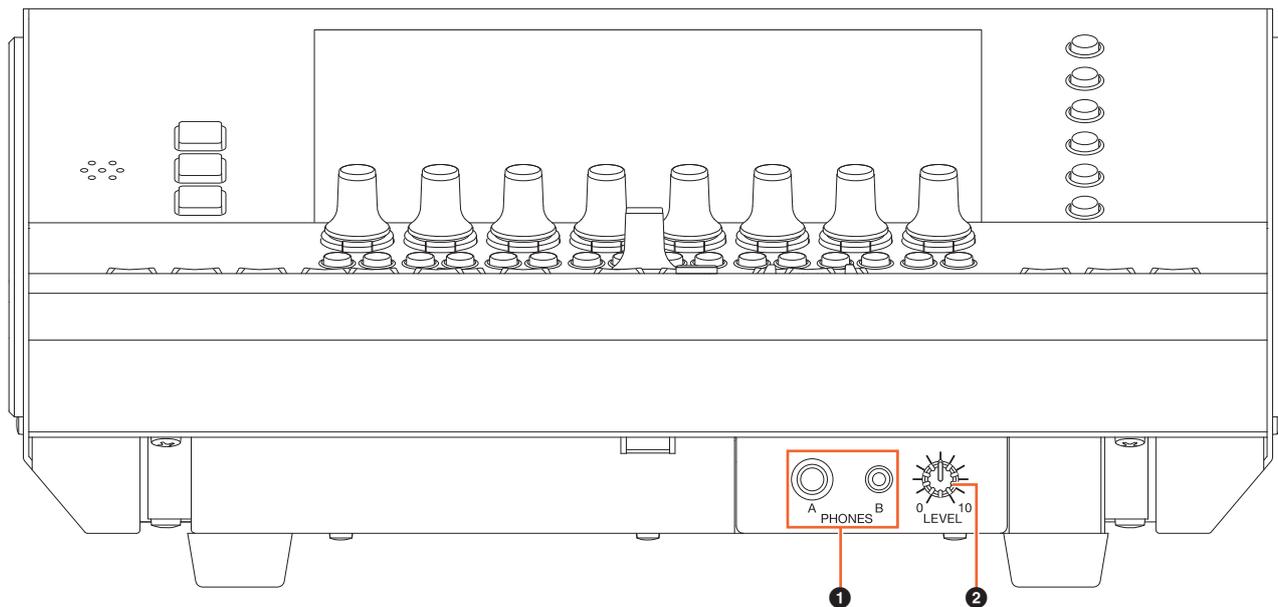
各部の名称と機能



❶ [TALKBACKマイク]

「Talkback」用のマイクです。[TALKBACKマイク]に入力した音声信号は、リアパネルの[TALKBACK OUT +4dBu]([27ページ](#))から出力されます。

フロントパネル



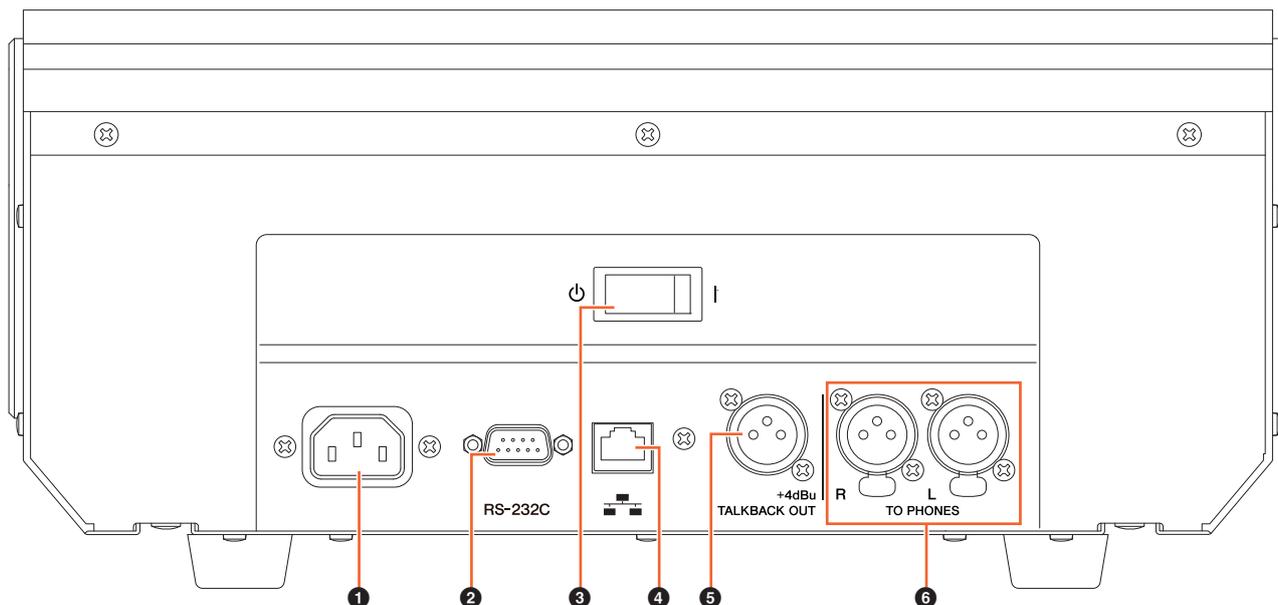
① [PHONES A/B]

ヘッドフォンを接続します。リアパネルの[TO PHONES L/R]([27ページ](#))に入力した信号が出力されます。

② [LEVEL]

[PHONES A/B]の出力信号レベルを調節します。

リアパネル



① [AC IN]

電源ケーブルを接続します。

② [RS-232C]

RS-232Cケーブルを接続します。この端子から、KVMスイッチのRS-232C端子に接続します。KVMスイッチに接続してから、KVMスイッチに送信するデータをNUAGE Workgroup Managerで設定すると、複数のDAWソフトウェアを「DAW SELECTセクション」(24ページ)で切り替えたときに、映像、マウス、およびキーボードも同時に切り替えることができます。詳細は、NUAGE Workgroup Manager (46ページ)の取扱説明書(PDF)をご参照ください。

③ [電源スイッチ]

電源をオン(I)/オフ(O)します。

注記

電源スイッチのオン/オフを連続して切り替えると、誤動作の原因になることがあります。電源スイッチをオフにしてから再度オンにする場合は、6秒以上の間隔を空けてください。

④ [ネットワーク]

イーサネットケーブルを接続します。

⑤ [TALKBACK OUT +4dBu]

トップパネルの[TALKBACKマイク](25ページ)に入力した音声信号が出力されます。

⑥ [TO PHONES L/R]

[TO PHONES L/R]に入力した音声信号は、フロントパネルの[PHONES A/B] (26ページ)から出力されます。

ソフトウェアの説明

マルチファンクションディスプレイに表示されるページ



NOTE

ボタンやエリアの名称の横にあるアイコン()は、タッチすることで、選択したりオン/オフしたりできることを示しています。また、アイコン() [PARAM] は、NUMERIC PADセクションの[PARAM](19ページ)をオンにしているときにタッチすると、NUMERIC PADセクションの[入力キー] (21ページ)で数値入力ができることを示しています。

概要

[マルチファンクションディスプレイ]には、次のページが表示されます。

- ・ SETUPページ(29ページ)
- ・ TRACK LISTページ(30ページ)
- ・ CHANNEL CONTROLページ(32ページ)
 - MAINページ(33ページ)
 - EQページ(34ページ)
 - DYNページ(34ページ)
 - SENDSページ(34ページ)
 - CUESページ(34ページ)
 - PANページ(35ページ)
 - INSERTページ(35ページ)
 - PLUG-INページ(36ページ)
- ・ AUTOMATIONページ(37ページ)
- ・ USER ASSIGNABLEページ(38ページ)
- ・ CONTROL ROOMページ(38ページ)
 - MAINページ(38ページ)
 - SPEAKER CONTROLページ(39ページ)
- ・ CUESページ(40ページ)
- ・ MONITOR SOURCEページ(40ページ)
- ・ COMMUNICATIONページ(41ページ)
- ・ TRANSPORTページ(41ページ)
 - MAINページ(41ページ)
 - MARKERページ(42ページ)
 - OVER VIEWページ(42ページ)
- ・ EDITページ(43ページ)

ページを切り替えるには、各セクションの[ディスプレイアクセス]を押したり、MULTI FUNCTION DISPLAYセクション(22ページ)の右側にあるボタンを押したり、ページの上にあるタブやボタンをタッチします。

ページには、次の4つのエリアがあります。



タイトルエリアには、ページのタイトルや、ページを切り替えるためのタブが表示されます。ツールエリアには、ページ固有のボタンや、ページの表示を切り替えるボタンなどが表示されます。メインエリアには、パラメーターや設定画面などが表示されます。ラベルエリアには、[マルチファンクションノブ]に割り当てられているパラメーターの情報が表示されます。

いくつかのページでは、ラベルエリアの上部をタッチすると、[マルチファンクションノブ]に割り当てられているパラメーターをバンク単位で切り替える画面が開きます。



横1列が1つのバンクです。バンクをタッチすると、[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターはタッチしたバンクに切り替わり、画面は閉じます。

数値入力ができるパラメーターに数値を入力するには、NUMERIC PADセクション(16ページ)のパラメーターモードを使用します。手順は次のとおりです。

1. NUMERIC PADセクションの[PARAM](19ページ)を押してパラメーターモードに切り替えます。
2. [マルチファンクションディスプレイ]にある、数値入力ができるパラメーターをタッチして選択します。
3. NUMERIC PADセクションの[入力キー](21ページ)で入力します。

SETUPページ

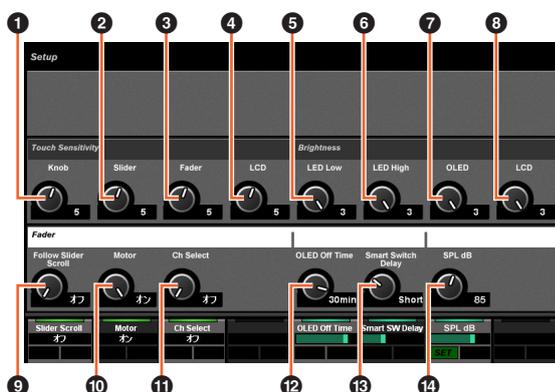


概要

タッチセンスの感度やLEDの輝度などの、本体の基本設定をするページです。このページを開くには、MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[SETUP](24ページ)を押します。

ページの中の段をタッチすると、[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターはその段のパラメーターに切り替わります。

各部の名称と機能



1 Knob

[マルチファンクションノブ]のタッチセンスの感度を調節します。数値が大きくなるほど、感度が高くなります。

2 Slider

Nuage Faderの[タッチスライダバー]の、タッチセンスの感度を調節します。数値が大きくなるほど、感度が高くなります。

3 Fader

Nuage Faderの[フェーダー]の、タッチセンスの感度を調節します。数値が大きくなるほど、感度が高くなります。

4 LCD

[マルチファンクションディスプレイ]のタッチセンスの感度を調節します。数値が大きくなるほど、感度が高くなります。

5 LED Low

ボタンやノブなどの、LEDの暗点灯時の輝度を調節します。数値が大きくなるほど、輝度が高くなります。

6 LED High

ボタンやノブなどの、LEDの点灯時の輝度を調節します。数値が大きくなるほど、輝度が高くなります。

7 OLED

[CONTROL ROOMディスプレイ]と、Nuage Faderの[チャンネルネームディスプレイ]の輝度を調節します。数値が大きくなるほど、輝度が高くなります。

8 LCD

[マルチファンクションディスプレイ]の輝度を調節します。数値が大きくなるほど、輝度が高くなります。

9 Follow Slider Scroll

Nuage Faderの[タッチスライダバー]でチャンネルをスクロールしているときに、Nuage Faderの[フェーダー]が追従する機能をオン/オフします。オフにすると、チャンネルのスクロールを止めたときに[フェーダー]の位置が変化します。

10 Motor

Nuage Faderの[フェーダー]の、モーターの電源をオン/オフします。

11 Ch Select

Nuage Faderの[フェーダー]をタッチしてチャンネルを選択する機能をオン/オフします。

12 OLED Off Time

[CONTROL ROOMディスプレイ]と、Nuage Faderの[チャンネルネームディスプレイ]が自動で消灯する時間を設定します。

13 Smart Switch Delay

次のボタンは、押してすぐ離すとオン/オフが切り替わりますが、押し続けてから離すと、押し続けている間だけオンになります。この押し続ける時間を調節します。

- ・ [SHUTTLE] (JOG WHEELセクション)
- ・ [SCROLL] (JOG WHEELセクション)
- ・ [SELECT] (JOG WHEELセクション)
- ・ [ZOOM] (JOG WHEELセクション)
- ・ [MOVE] (JOG WHEELセクション)
- ・ [VOLUME] (JOG WHEELセクション)
- ・ [CYCLE] (TRANSPORTセクション)
- ・ [●] (レコード) (TRANSPORTセクション)
- ・ [TALK BACK] (COMMUNICATIONセクション)

Offに設定すると、押し続けている間だけオンになる機能は無効になります。

14 SPL dB

「SPL dB」の値を設定します。[マルチファンクションノブ]で値を調節してから[マルチファンクションボタンA]を押す(SET)と、設定できます。

TRACK LISTページ



概要

トラックの「選択」、「ミュート」、「ソロ」または「Listen」、「録音可能」を操作するページです。このページを開くには、MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[TRACK LIST] (24ページ)を押します。

TRACK LISTページには、次のビューがあります。

- ・ Track Selectビュー (31ページ)
- ・ Muteビュー (31ページ)
- ・ Soloビュー (32ページ)
- ・ Track Armingビュー (32ページ)

ビューを切り替えるには、ツールエリアの中央にあるボタンをタッチするか、ラベルエリアにあるボタンをタッチするか、[マルチファンクションノブ]を押します。

ツールエリアの中央にあるボタン



ラベルエリアにあるボタン



ツールエリアにある「∧」/「∨」をタッチすると、メインエリアの表示をスクロールできます。



TRACK LISTページには、次の3つの表示方法があります。

- ・ オーバービュー表示
- ・ 階層表示
- ・ トラック表示

表示方法を切り替えるには、ツールエリアの左側にあるボタンをタッチします。



オーバービュー表示

オーバービュー表示では、32個のトラックを1つのブロックとして、画面に最大12ブロック表示します。



ブロックをタッチすると、ブロックの中にあるトラックがトラック表示で表示されます。オーバービュー表示では、トラックの「選択」、「ミュート」、「ソロ」または「Listen」、「録音可能」は操作できません。

階層表示

階層表示では、同じ階層にあるトラックおよびフォルダトラックを、画面に最大32トラック表示します。



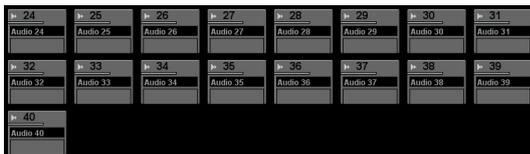
フォルダトラックのアイコンの上部をタッチすると、フォルダトラックの中身を表示する画面に切り替わります。



1段めには、選択したフォルダトラックと、「戻る」が表示されます。「戻る」をタッチすると、前の画面に戻ります。



2段め以降には、フォルダトラックの中にあるトラックが、画面に最大24トラック表示されます。



トラック表示

トラック表示では、トラックが画面に最大32トラック表示されます。



各部の名称と機能

Track Selectビュー

トラックの「選択」を操作するビューです。



① トラック

トラックを選択します。ドラッグすると、複数のトラックを選択できます。

「MODIFIERセクション」(15ページ)の修飾ボタンを押したまま操作すると、次のように機能します。

修飾ボタン	機能
[ALT]	最後にタッチしたチャンネルだけを選択します。

Muteビュー

トラックの「ミュート」を操作するビューです。



① トラック

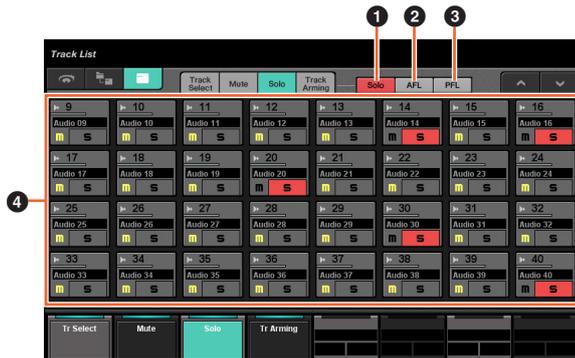
トラックの「ミュート」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。ドラッグすると、複数のトラックの「ミュート」をオン/オフできます。

「MODIFIERセクション」(15ページ)の修飾ボタンを押したまま操作すると、次のように機能します。

修飾ボタン	機能
[ALT]	最後にタッチしたチャンネルだけ、「ミュート」をオンにします。

Soloビュー

トラックの「ソロ」または「Listen」を操作するビューです。



1 Solo

「ソロ」に切り替えます。

2 AFL

「AFL」の「Listen」に切り替えます。

3 PFL

「PFL」の「Listen」に切り替えます。

4 トラック

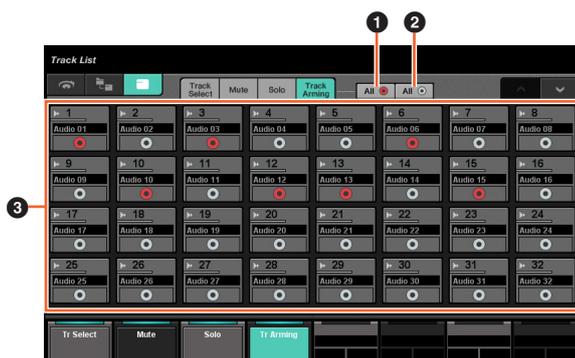
「ソロ」または「Listen」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。ドラッグすると、複数のトラックの「ソロ」または「Listen」をオン/オフできます。

「MODIFIERセクション」(15ページ)の修飾ボタンを押したまま操作すると、次のように機能します。

修飾ボタン	機能
[ALT]	最後にタッチしたチャンネルだけ、「ソロ」または「Listen」をオンにします。

Track Armingビュー

トラックの「録音可能」を操作するビューです。



1 All ●

すべてのトラックの「録音可能」をオン(点灯)にします。

2 All ○

すべてのトラックの「録音可能」をオフ(消灯)にします。

3 トラック

「録音可能」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。ドラッグすると、複数のトラックの「録音可能」をオン/オフできます。

「MODIFIERセクション」(15ページ)の修飾ボタンを押したまま操作すると、次のように機能します。

修飾ボタン	機能
[ALT]	最後にタッチしたチャンネルだけ、「録音可能」をオンにします。

CHANNEL CONTROLページ



概要

選択しているチャンネルの「EQ」、「ダイナミクス」、「センド」、「キュー」、「パン」、「インサート」などを操作するページです。このページを開くには、MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[CHANNEL](24ページ)を押します。

CHANNEL CONTROLページには、次のページがあります。

- ・ MAINページ(33ページ)
- ・ EQページ(34ページ)
- ・ DYNページ(34ページ)
- ・ SENDSページ(34ページ)
- ・ CUESページ(34ページ)
- ・ PANページ(35ページ)
- ・ INSERTページ(35ページ)
- ・ PLUG-INページ(36ページ)

ページを切り替えるには、タイトルエリアにあるタブをタッチするか、MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[CHANNEL]を押します。



PLUG-INページを開くには、SENDSページやINSERTページにある[e]をタッチします。

選択しているチャンネルを切り替えるには、タイトルエリアにある「チャンネルの情報」をタッチします。

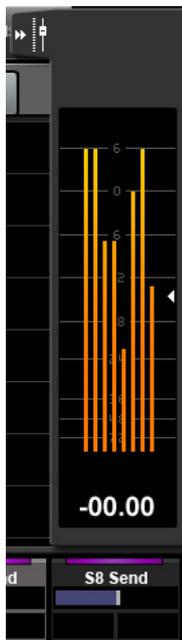


「チャンネルの情報」をタッチすると、チャンネルを選択する画面が表示されます。



「▲」/「▼」をタッチすると、画面をスクロールできます。チャンネルをタッチするとそのチャンネルが選択され、画面が閉じます。

タイトルエリアにある「◀◀」をタッチすると、選択しているチャンネルの出力レベルを示す画面が表示されます。



このとき、一番右の[マルチファンクションノブ]で出力レベルを操作できます。「▶▶」をタッチすると、画面が閉じます。

ツールエリアにある「Nuendo」をタッチすると、Nuendoの画面にそのチャンネルの設定画面を開くことができます。ただし、PLUG-INページでは、プラグインエフェクトの画面が開きます。もう1度押しと閉じます。



各部の名称と機能

MAINページ

選択しているチャンネルの「ルーティング」、「入力の位相」、「ローカット」などを操作するページです。



1 Input Routing

「入力ルーティング」のポートが表示されます。タッチするとポートを選択する画面が開きます。

2 HC [PARAM]

「ハイカット」の周波数を調節します。

3 LC [PARAM]

「ローカット」の周波数を調節します。

4 Gain [PARAM]

「入力ゲイン」を調節します。

5 Phase

入力の位相の反転をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

6 サミングモード

「サミングモード」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。オンにすると、オーディオ信号を複数のポートに同時に送出できます。

7 オン/オフ

「ダイレクトルーティング」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

8 ダイレクトルーティング

「ダイレクトルーティング」のポートを選択します。

9 M

「ミュート」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

10 SまたはL

「ソロ」または「Listen」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

11 レベルメーター

チャンネルのレベルが表示されます。

12 Mon

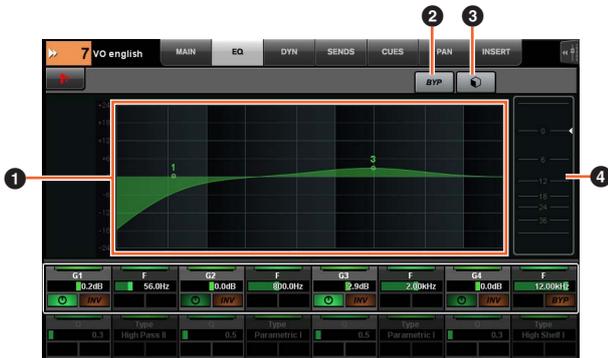
「モニタリング」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

13 Rec

「録音可能」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

EQページ

選択しているチャンネルの「EQ」を操作するページです。ラベルエリアの中の段をタッチすると、[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターはその段のパラメーターに切り替わります。



1 EQグラフ

パラメーターがグラフで表示されます。

2 BYP

「バイパス」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

3 プリセット

プリセットを選択する画面を開きます。

4 レベルメーター

チャンネルのレベルが表示されます。

DYNページ

選択しているチャンネルの「ダイナミクス」を操作するページです。



1 Dynamicsグラフ

パラメーターがグラフで表示されます。

2 BYP

「バイパス」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

3 プリセット

プリセットを選択する画面を開きます。

4 レベルメーター

チャンネルのレベルが表示されます。

SENDSページ

選択しているチャンネルの「SEND」を操作するページです。



1 センドレベル

センドレベルを調節します。

2 オン/オフ

「SEND」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

3 PRE

「プリフェーダー」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

4 e (エディット)

「PLUG-INページ」(36ページ)を開きます。ここで開くプラグインエフェクトは、「センドルーティング」にルーティングしているチャンネルのスロット1に割り当てているものです。

5 センドルーティング

「センドルーティング」のポートを選択します。

6 BYP

「バイパス」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

CUESページ

選択しているチャンネルの「キュー」を操作するページです。



① キューセンドレベル [PARAM]

キューセンドレベルを調節します。

② キューセンドパン [PARAM]

キューセンドパンを調節します。

③ オン/オフ

「キュー」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

④ PRE

「プリフェーダー」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

⑤ BYP

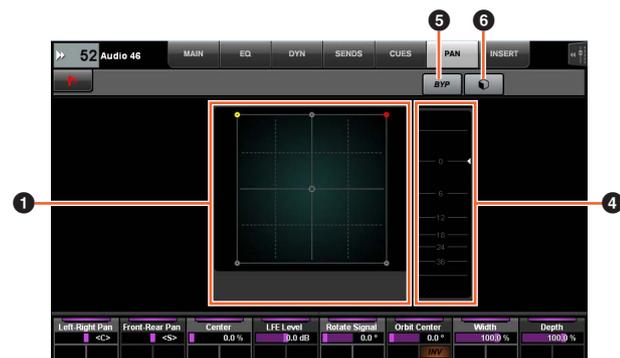
「バイパス」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

PANページ

選択しているチャンネルの「パン」を操作するページです。このページは、次のどのチャンネルを選択しているかによってメインエリアの表示が異なります。

- ・ サラウンドチャンネル
- ・ Mix Convert
- ・ ステレオチャンネル

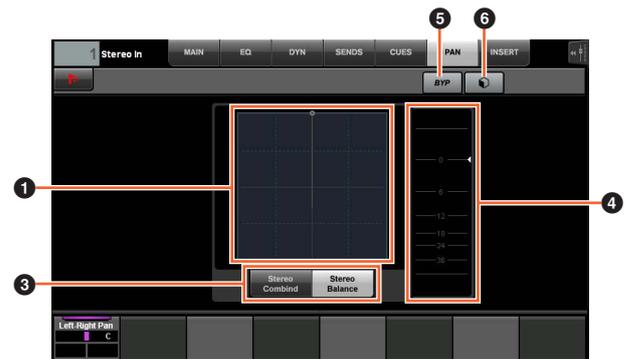
サラウンドチャンネルを選択している場合



Mix Convertを選択している場合



ステレオチャンネルを選択している場合



① Panグラフ

パラメーターがグラフで表示されます。

② Mix Convert

Mix Convertを操作します。

③ Stereo Mode

「パン」のモード(ステレオコンバインパンとステレオバランスパン)を切り替えます。

④ レベルメーター

チャンネルのレベルが表示されます。

⑤ BYP

「バイパス」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

⑥ プリセット

プリセットを選択する画面を開きます。

INSERTページ

選択しているチャンネルの「インサート」を操作するページです。



1 Insert

割り当てているプラグインエフェクトが表示されます。タッチすると、プラグインエフェクトを選択する画面が表示されます。



「∧」/「∨」をタッチすると、画面をスクロールできます。

2 プリセット

選択しているプリセットが表示されます。タッチすると、プリセットを選択する画面を開きます。

3 オン/オフ

「インサート」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

4 BYP

「バイパス」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

5 e (エディット)

「Insert」に割り当てているプラグインエフェクトの「PLUG-INページ」(36ページ)に切り替えます。

6 BYP (All)

すべての「インサート」の「バイパス」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

PLUG-INページ

プラグインエフェクトのパラメーターを、一覧の画面で操作するページです。

このページでは、パラメーターを[マルチファンクションノブ]に割り当てて固定(ロック)することができます。手順は次のとおりです。

1. **メインエリアでパラメーターをタッチして選択します。**
ロックをしていないすべての[マルチファンクションノブ]に、パラメーターが一時的に割り当てられます。

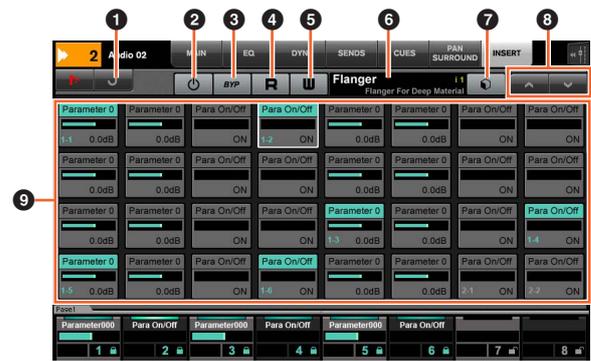
NOTE

すべてのパラメーターがすでにロックされている場合は、[マルチファンクションボタンB]を押してロックを解除してください。

2. **ロックしたい[マルチファンクションノブ]の[マルチファンクションボタンB]を押します。**

パラメーターがロックされます。

ロックしたパラメーターの情報は、プラグインごとに記憶されます。ロックを解除するには、もう一度[マルチファンクションボタンB]を押します。



1 戻る

PLUG-INページに切り替える前の画面に戻ります。

2 オン/オフ

プラグインエフェクトをオン(点灯)/オフ(消灯)します。

3 バイパス

バイパスをオン(点灯)/オフ(消灯)します。

4 R

「オートメーション読込」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

5 W

「オートメーション書込」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

6 プリセット名

選択しているプリセットが表示されます。

7 プリセット

プリセットを選択する画面を開きます。

8 ∧/∨

画面をスクロールします。

9 パラメーター [PARAM]

パラメーターを選択します。NUMERIC PADセクションの[PARAM](19ページ)をオンにしているときにタッチすると、パラメーターの値を入力できます。

AUTOMATIONページ



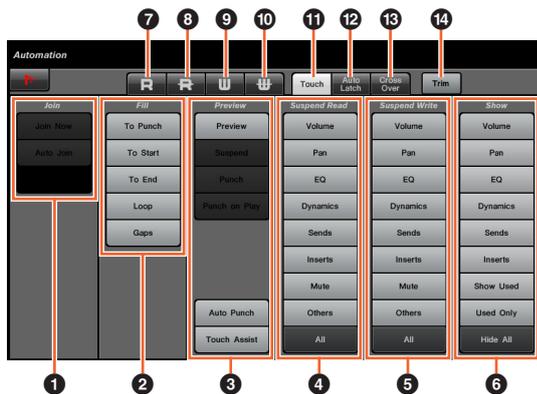
概要

「オートメーション」を操作するページです。このページの機能は、Nuendoの「オートメーションパネル」と同じです。このページを開くには、AUTOMATIONセクションの[ディスプレイアクセス](22ページ)を押します。

ツールエリアにある「Nuendo」をタッチすると、Nuendoの「オートメーションパネル」を開くことができます。もう一度押すと閉じます。



各部の名称と機能



1 Join

「Join」の機能を使用します。

2 Fill

「Fill」の機能を使用します。

3 Preview

「Preview」の機能を使用します。

4 Suspend Read

「Suspend Read」の機能を使用します。

5 Suspend Write

「Suspend Write」の機能を使用します。

6 Show

「Show」の機能を使用します。

7 R

すべてのトラックの「オートメーション読み」をオンにします。

8 R

すべてのトラックの「オートメーション読み」をオフにします。

9 W

すべてのトラックの「オートメーション書き」をオンにします。

10 W

すべてのトラックの「オートメーション書き」をオフにします。

11 Touch

「オートメーションモード」を「タッチ」に切り替えます。

12 Auto Latch

「オートメーションモード」を「オートラッチ」に切り替えます。

13 Cross Over

「オートメーションモード」を「クロスオーバー」に切り替えます。

14 Trim

「トリム」の機能を使用します。

USER ASSIGNABLEページ



概要

割り当てた機能を使用するページです。このページを開くには、USER ASSIGNABLEセクションの[ディスプレイアクセス](21ページ)を押します。機能の割り当ては、「NUAGE MASTER Setup」(44ページ)で設定します。

タイトルエリアにある「BANK 1」～「BANK 4」をタッチするか、USER ASSIGNABLEセクションの[ディスプレイアクセス]を押すと、バンクの切り替えができます。



ボタンは1つのバンクに24個、合計で96個あります。

ツールエリアにある「Nuendo」をタッチすると、Nuendoの画面に「NUAGE MASTER Setup」(44ページ)を開くことができます。もう1度押すと閉じます。



各部の名称と機能



- ① U1～U24 割り当てた機能を使用します。

CONTROL ROOMページ



概要

「Control Room」を操作するページです。このページを開くには、CONTROL ROOMセクションの[ディスプレイアクセス](5ページ)を押します。

CONTROL ROOMページには、次のページがあります。

- ・ MAINページ(38ページ)
- ・ SPEAKER CONTROLページ(39ページ)

ページを切り替えるには、タイトルエリアの右側にあるタブをタッチするか、CONTROL ROOMセクションの[ディスプレイアクセス]を押します。



DAWソフトウェアを複数台設定し、「DAW SELECTセクション」(24ページ)で切り替えて使用している場合、このページは常にDAW AのNuendoの「Control Room」を操作します。つまり、このページはDAWソフトウェアの切り替えに影響を受けません。

各部の名称と機能

MAINページ

「Control Room」の主な機能进行操作するページです。



- ① **CLICK** 「メトロノーム」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。
- ② **CLICKレベル** [PARAM] 「メトロノーム」のレベルを調節します。

③ LE 

「Listen」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

④ LEレベル  [PARAM]

「Listen」のレベルを調節します。

⑤ オン/オフ 

チャンネルをオン(点灯)/オフ(消灯)します。

⑥ レベルメーター

チャンネルのレベルが表示されます。

⑦ レベルインジケータ  [PARAM]

チャンネルのレベルが表示されます。

⑧ Reference Level 

「Control Room」のレベルを「リファレンス」のレベルにします。オン(点灯)にすると、設定した「リファレンス」のレベルになります。オフ(消灯)にすると、元のレベルに戻ります。オンにしたあと、「Control Room」のレベルを変更した場合もオフになります。

「MODIFIERセクション」(15ページ)の修飾ボタンを押したままReference Levelをタッチすると、次のように機能します。

修飾ボタン	機能
[ALT]	現在の「Control Room」のレベルを、「リファレンス」のレベルに設定します。

⑨ DIM 

「DIM」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。オンにすると、「Control Room」のレベルが下がります。オフにすると、元のレベルに戻ります。「DIM」のレベルは、Nuendoで設定します。

⑩ SOLO 

「ソロ」、「AFL」の「Listen」、「PFL」の「Listen」を切り替えます。

⑪ Listen Active/Deactive All Listen 

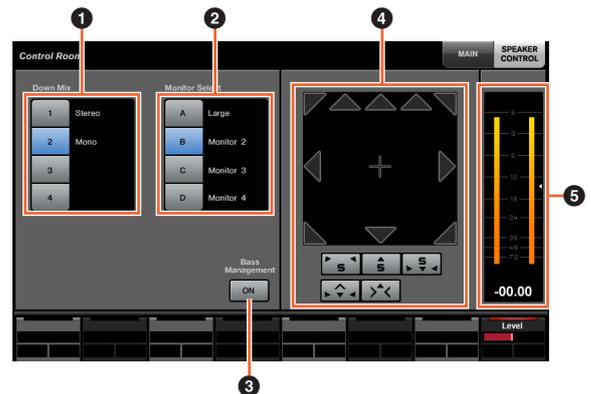
「ソロ」または「Listen」がオンのチャンネルが一つでもある場合に点灯します。点灯しているときにタッチすると、すべてのチャンネルの「ソロ」または「Listen」をオフにします。

⑫ Listen Dim Level  [PARAM]

「Listen」を使用したときの「メインミックス」または「モニターソース」のレベルを調節します。

SPEAKER CONTROLページ

「Control Room」の「スピーカーコントロール」を操作するページです。

**① Down Mix** 

「ダウンミックス」のプリセットを切り替えます。

② Monitor Select 

「モニター」を切り替えます。

③ Bass Management 

「Bass Management」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。この機能は、Nuage I/Oを接続して、Nuendoのメニュー「デバイス」→「VSTコネクション」で5.1chなどのサラウンド出力バスを作成すると有効になります。なお、このバスの出力ポートには、1台のNuage I/Oのポートだけを割り当てる必要があります。

④ Mix Convert 

「Mix Convert」を操作します。アイコンをタッチして、スピーカーの出力をオン/オフできます。

⑤ レベルメーター

チャンネルのレベルが表示されます。

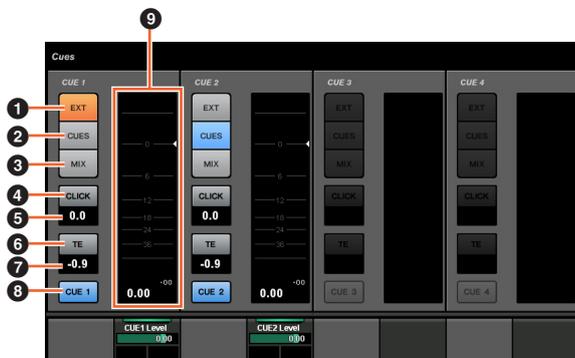
CUESページ



概要

「Control Room」の「キュー」を操作するページです。このページを開くには、CUESセクションの[ディスプレイアクセス](8ページ)を押します。

各部の名称と機能



- ① **EXT** ソースを「EXT」に切り替えます。
- ② **CUES** ソースを「キュー」に切り替えます。
- ③ **MIX** ソースを「MIX」に切り替えます。
- ④ **CLICK** 「メトロノーム」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。
- ⑤ **CLICKレベル** [PARAM] 「メトロノーム」のレベルを調節します。
- ⑥ **TE** 「Talkback」の有効(点灯)/無効(消灯)を切り替えます。
- ⑦ **TEレベル** [PARAM] 「Talkback」のレベルを調節します。
- ⑧ **Activate Monitor** チャンネルをオン(点灯)/オフ(消灯)します。
- ⑨ **レベルメーター**
チャンネルのレベルが表示されます。

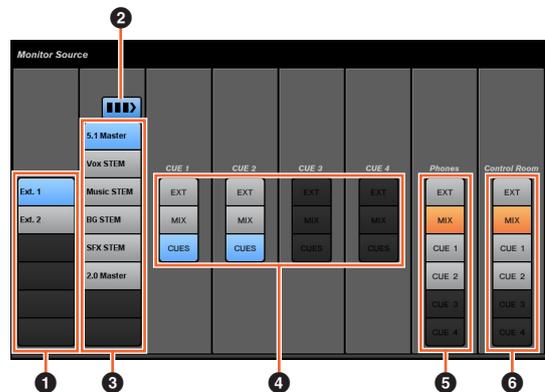
MONITOR SOURCEページ



概要

「Control Room」の「モニターソース」を操作するページです。このページを開くには、MONITOR SOURCEセクションの[ディスプレイアクセス](7ページ)を押します。

各部の名称と機能



- ① **外部入力のソース** 外部入力のソースを切り替えます。
- ② **複数のモニターソース** モニターのソースを選択するときに、複数選択(点灯)か択一選択(消灯)かを切り替えます。
- ③ **モニターのソース** モニターのソースを選択します。
- ④ **CUE** 「CUE」のソースを切り替えます。
- ⑤ **Phones** 「Phones」のソースを切り替えます。
- ⑥ **Control Room** 「Control Room」のソースを切り替えます。

COMMUNICATIONページ



概要

「Control Room」のコミュニケーション機能进行操作するページです。このページを開くには、COMMUNICATIONセクションの[ディスプレイアクセス](9ページ)を押します。

ツールエリアにある「Nuendo」をタッチすると、Nuendoの画面に「NUAGE MASTER Setup」(44ページ)を開くことができます。もう1度押すと閉じます。



各部の名称と機能



① 設定ボタン

割り当てた機能を使用します。機能の割り当ては、NUAGE MASTER Setupの「Communication画面」(45ページ)で設定します。

② Talk Back Enable

「Talkback」の有効(点灯)/無効(消灯)を切り替えます。

③ Talk Back

タッチしているときだけ「Talkback」をオンにします。

TRANSPORTページ



概要

「トランスポート」进行操作するページです。このページを開くには、TRANSPORTセクションの[ディスプレイアクセス](10ページ)を押します。

TRANSPORTページには、次のページがあります。

- ・ MAINページ(41ページ)
- ・ MARKERページ(42ページ)
- ・ OVER VIEWページ(42ページ)

ページを切り替えるには、タイトルエリアの右側にあるタブをタッチするか、TRANSPORTセクションの[ディスプレイアクセス]を押します。



各部の名称と機能

MAINページ

「トランスポート」の主な機能进行操作するページです。



① Left Locator

「左ロケーター」の位置、「プリロール」、「オートパンチン」などを設定をします。

② Right Locator

「右ロケーター」の位置、「ポストロール」、「オートパンチアウト」などを設定をします。

③ CLICK

「メトロノーム」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

4 TEMPO 

テンポのモードを切り替えます。

5 SYNC 

「外部同期」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

6 Time Display  [PARAM]

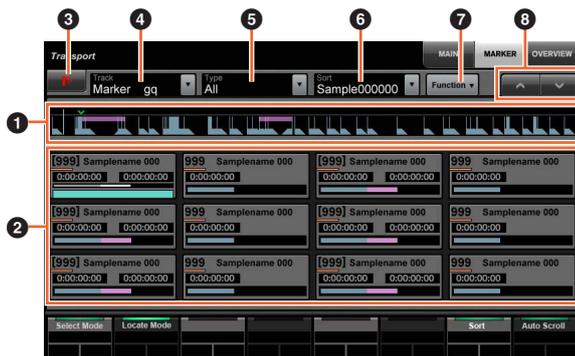
「プロジェクトカーソル」の位置を設定します。

7 Transport 

「トランスポート」を操作します。

MARKERページ

「マーカートラック」を操作するページです。

**1 マーカーオーバービュー**

「マーカートラック」の全体図が表示されます。選択している「マーカー」には、「▼」が表示されます。「プロジェクトカーソル」の位置は白い線で表示されます。

2 マーカー 

「マーカー」の情報が表示されます。表示される情報は、ID、名前、位置、バググラフです。タッチすると「マーカー」を選択(Select)したり、「プロジェクトカーソル」を「マーカー」の位置に移動(Locate)したりできます。この機能を切り替えるには、ラベルエリアのボタンをタッチするか、[マルチファンクションノブ]を押します。

**3 Nuendo** 

Nuendoの「マーカートラック」を開きます。

4 Track 

アクティブな「マーカートラック」を切り替えます。

5 Type 

表示する「マーカー」のタイプを切り替えます。

6 Sort 

「マーカー」を並び替えます。

7 Function 

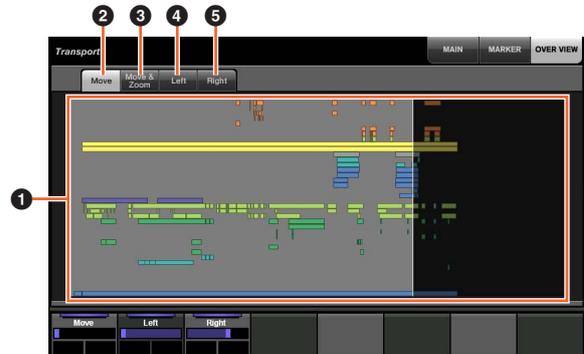
「マーカーウィンドウ」にある「マーカー」の機能を使用します。

8 ^/v 

メインエリアの表示をスクロールします。

OVER VIEWページ

「オーバービュー」を操作するページです。

**1 オーバービュー**

プロジェクトの全体図が表示され青いエリアは、「プロジェクトウィンドウ」に表示している範囲を示します。

2 Move 

表示している範囲をドラッグで移動します。

3 Move & Zoom 

左右にドラッグすると、表示している範囲を移動します。上下にドラッグすると、表示している範囲をズームイン/ズームアウトします。

4 Left 

表示している範囲の開始地点をドラッグで変更します。

5 Right 

表示している範囲の終了地点をドラッグで変更します。

EDITページ



概要

割り当てた機能を使用するページです。このページを開くには、EDITセクションの[ディスプレイアクセス](11ページ)を押します。機能の割り当ては、NUAGE MASTER Setupの「Edit画面」(44ページ)で設定します。

タイトルエリアにある「BANK 1」～「BANK 4」をタッチするか、EDITセクションの[ディスプレイアクセス]を押すと、バンクの切り替えができます。



ボタンは1つのバンクに24個、合計で96個あります。

イベントを選択しているとき、ラベルエリアにはNuendoの「情報ライン」に出る情報が表示されます。このとき、[マルチファンクションノブ]でパラメーターを調節できます。

ツールエリアにある「Nuendo」をタッチすると、Nuendoの画面に「NUAGE MASTER Setup」(44ページ)を開くことができます。もう1度押すと閉じます。



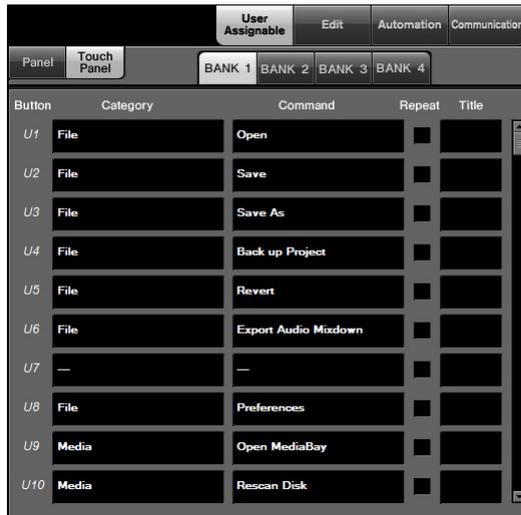
各部の名称と機能



① E1～E24

割り当てた機能を使用します。

NUAGE MASTER Setup



概要

Nuage Masterの基本設定をNuendoから操作するソフトウェアです。本体にある、機能の割り当てを変更できるボタンの設定や、「USER ASSIGNABLEページ」(38ページ)にあるボタンの機能の割り当てなどを設定できます。NUAGE MASTER Setupの画面を開くには、Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE MASTER Setup」をクリックします。

NUAGE MASTER Setupには、次の画面があります。

- ・ User Assignable画面(44ページ)
- ・ Edit画面(44ページ)
- ・ Automation画面(45ページ)
- ・ Communication画面(45ページ)

画面を切り替えるには、上部にあるタブをクリックします。



User Assignable画面

概要

「USER ASSIGNABLEセクション」(21ページ)にあるボタンや、「USER ASSIGNABLEページ」(38ページ)にあるボタンの機能を設定する画面です。

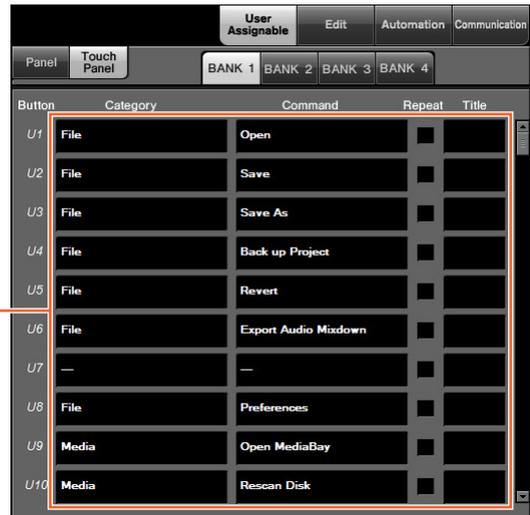
「Panel」をクリックすると、USER ASSIGNABLEセクションにあるボタンの設定ができます。「Touch Panel」をクリックすると、USER ASSIGNABLEページにあるボタンの設定ができます。



「Touch Panel」を選択しているときに「BANK 1」～「BANK 4」をクリックすると、バンクの切り替えができます。



各部の名称と機能



① User Assignable Settings

ボタンに機能を割り当てます。まず、「Category」をクリックしてカテゴリーを選択します。次に、「Command」をクリックしてコマンドを選択します。「Repeat」にチェックを入れると、ボタンを押し続けたときに連続で動作します。「Title」には、機能の名称を入力できます。

Edit画面

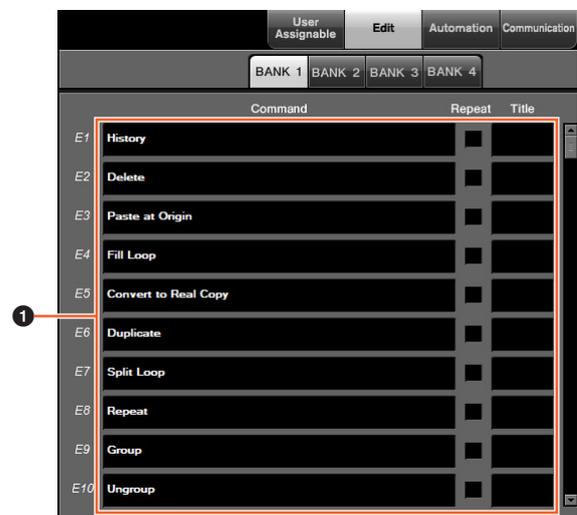
概要

「EDITページ」(43ページ)にあるボタンの機能を設定する画面です。

「BANK 1」～「BANK 4」をクリックすると、バンクの切り替えができます。



各部の名称と機能



① Edit Settings

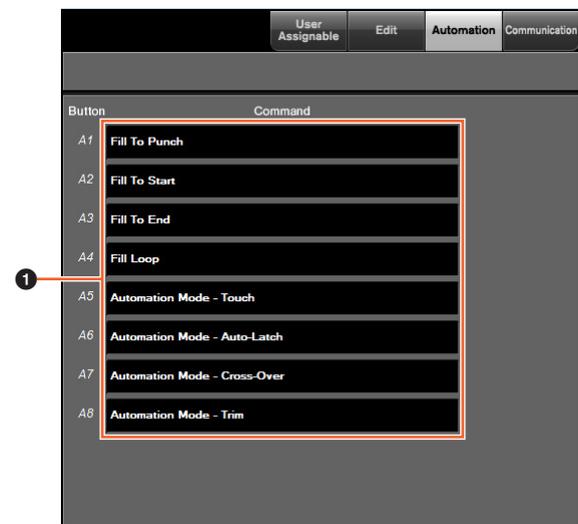
ボタンに機能を割り当てます。「Command」をクリックしてコマンドを選択します。「Repeat」にチェックを入れると、ボタンを押し続けたときに連続で動作します。「Title」には、機能の名称を入力できます。

Automation画面

概要

「AUTOMATIONセクション」(22ページ)にあるボタンの機能を変更する画面です。

各部の名称と機能



① Automation Settings

ボタンの機能を変更します。「Command」をクリックしてコマンドを選択します。

Communication画面

概要

「COMMUNICATIONセクション」(9ページ)にあるボタンや、「COMMUNICATIONページ」(41ページ)にあるボタンの機能を設定する画面です。

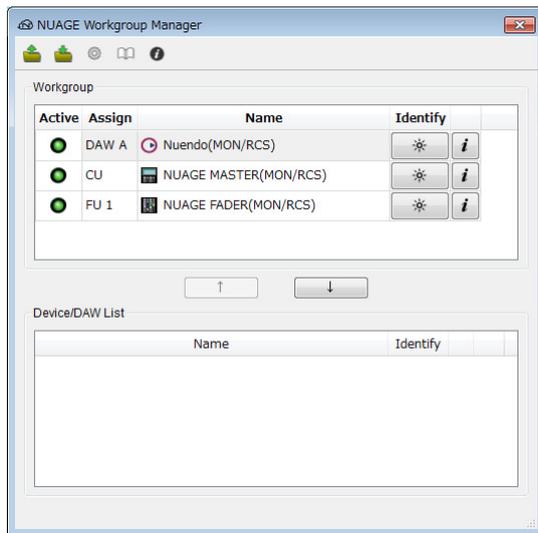
各部の名称と機能



① Communication Settings

ボタンの機能を設定します。まず、「Category」をクリックしてカテゴリーを選択します。次に、「Command」をクリックしてコマンドを選択します。右側のチェックボックスにチェックを入れると、ボタンを押し続けたときに連続で動作します。「Title」には、機能の名称を入力できます。

NUAGE Workgroup Manager



概要

Nuageのシステムにおいて、機器やDAWソフトウェアを1つのWorkgroupとして管理するためのソフトウェアです。

NUAGE Workgroup Managerの詳細は、NUAGE Workgroup Managerの取扱説明書(PDF)をご参照ください。

NOTE

NUAGE Workgroup Managerの取扱説明書を開くには、タスクトレイ(Windows)またはメニューバー (Mac)にあるNUAGE Workgroup Managerのアイコンをダブルクリックして画面を開いたあと、「Manual」アイコンをクリックします。

困ったときは (オペレーション編)

Pro Toolsとつながらない

- ・ 「Pro Toolsのコントロール」 (48ページ)の設定は完了しましたか？
- ・ 無線LANのアダプターが動作している場合、動作を停止してみてください。

[マルチファンクションディスプレイ]に表示されているパラメーターをタッチしても数値入力できない

- ・ 数値入力ができるパラメーターは、NUMERIC PADセクションの[PARAM](19ページ)をオンにしてからタッチしてください。

資料

セットアップガイドの目次

安全上のご注意

- 注記(ご使用上の注意)
- お知らせ

はじめに

- 開発者からのメッセージ
- 付属品
- 別途ご用意いただくもの
- 取扱説明書の読みかた

準備

- 全体の流れ
- 設置および接続
- 電源の準備
- TOOLS for NUAGEのインストール
- NUAGEのWorkgroupの設定

困ったときは(セットアップ編)

資料

- オペレーションマニュアルの目次
- ファームウェアのアップデート
- タッチセンスの感度の調節
- 輝度の調節
- タッチパネルディスプレイの検出位置の調節(キャリブレーション)
- 本体を工場出荷時の状態に初期化
- 寸法図
- 仕様
- 保証とアフターサービス
- 保証書

四角ボタンのラベルの交換

四角ボタンのラベルを別のものに交換できます。縦10 mm x 横10 mmの透明もしくは白半透明のシートをご用意ください。キャップをはずし、シートを交換したらキャップを付けます。

Pro Toolsのコントロール

はじめに

Nuage FaderやNuage Masterは、NuendoやCubase以外に、Pro Tools (Macのみ)をコントロール(基本機能のみ)することもできます。

NOTE

- ・ Nuage Faderは2台まで、Nuage Masterは1台まで接続できます。
- ・ Nuendoと一緒に使用する必要があります。また、NUAGE Workgroup Managerで、メインの DAW (DAW A)を Nuendoに設定する必要があります。

ここではその接続方法、設定方法、および各ボタンの機能を説明します。なお、Nuage Fader、Nuage Master、Nuendoなどの準備はすべて完了し、使用している前提で説明します。

接続方法

使用するNuage FaderやNuage Masterと同じネットワークに、Pro ToolsがインストールされたMacを接続します。

NOTE

Mac本体にイーサネット端子が2つ以上ある場合、本体の1番目の端子に接続してください。

設定方法

NUAGE PT Bridgeのインストール

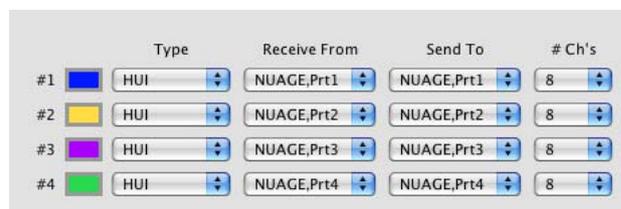
NUAGE PT Bridgeは、Nuage FaderやNuage MasterでPro Tools (Macのみ)をコントロールするためのソフトウェアです。NUAGE PT Bridgeは、Pro ToolsがインストールされているMacにインストールします。NUAGE PT Bridgeは、TOOLS for NUAGEをインストールするときに、インストールするソフトウェアとして選択するとインストールされます。まだNUAGE PT Bridgeをインストールしていない場合はインストールしてください。

TOOLS for NUAGEは、下記ウェブサイトからダウンロードしてください。

<http://proaudio.yamaha.co.jp/downloads/>

Pro ToolsのMIDI Controllersの設定

1. Pro Toolsを起動します。
2. 「Setup」メニューから「Peripherals」を選んで、「Peripherals」ウィンドウを開きます。
3. 「MIDI Controllers」タブをクリックします。
4. 次の画面を参考に設定します。



次の構成の場合、「#1」だけ設定します。

- ・ Nuage Master 1台

次の構成の場合、「#1」と「#2」を設定します。

- ・ Nuage Fader 1台
- ・ Nuage Fader 1台とNuage Master 1台

次の構成の場合、「#1」から「#4」まで設定します。

- ・ Nuage Fader 2台
- ・ Nuage Fader 2台とNuage Master 1台

NUAGE Workgroup Managerへの登録

前述の「Pro ToolsのMIDI Controllersの設定」をすると、NUAGE Workgroup ManagerにPro Toolsが表示されます。Pro ToolsをNuendoと同じWorkgroupに登録してください。

これで準備は完了です。Nuage FaderまたはNuage MasterにあるDAW SELECTセクションのボタンで、コントロールするDAWソフトウェアを切り替えることができます。Pro Toolsをコントロールするときの、Nuage Masterのボタンの機能は、後述の「各ボタンの機能」をご参照ください。

各ボタンの機能

CONTROL ROOMセクション

[Display access]	DAW AのNuendoを操作。*1
[REF]	
[SOLO CLEAR]	
[MUTE]	
[DIM]	
[DOWNMIX 1] – [DOWNMIX 4]	
[MONITOR A] – [MONITOR D]	
[PHONES]	
[CONTROL ROOM LEVEL knob]	
[CONTROL ROOM display]	

MONITOR SOURCEセクション

[Display access]	DAW AのNuendoを操作。*1
[EXT]	
[MIX]	
[SUM]	
[CUE 1] – [CUE 4]	
[EXT 1] – [EXT 6]	
[E7]/[E8]	未使用
[MIX 1] – [MIX 8]	DAW AのNuendoを操作。*1

CUESセクション

[Display access]	DAW AのNuendoを操作。*1
[MUTE 1] – [MUTE 4]	
[SIG indicator]	

COMMUNICATIONセクション

[Display access]	DAW AのNuendoを操作。*1
[C1]/[C2]	
[TALK BACK]	

TRANSPORTセクション

[Display access]	トランスポートウィンドウを開閉します。ウィンドウが開いている間はインジケータが点灯します。
[PRE ROLL]	プリロールをオン/オフします。
[POST ROLL]	ポストロールをオン/オフします。
[PUNCH IN]	クイックパンチをオン/オフします (「Options」メニューのQuick Punchコマンドと同じです)。オンになると、このキーのインジケータが点灯します。
[PUNCH OUT]	同上。
[CYCLE]	ループ再生をオン/オフします (「Options」メニューのLoop Playbackコマンドと同じです)。オンになると、キーのインジケータが点灯します。
[SYNC ONLINE]	Pro Toolsのオンライン/オフラインを切り替えます (「Options」メニューのTransport Onlineコマンドと同じです)。オンラインにしたあと同期信号を受信するまではボタンが点滅し、受信すると点灯します。
[LEFT]	再生中にインポイントを設定します。
[RIGHT]	再生中にアウトポイントを設定します。
[PREV EVENT]	割り当てなし。
[NEXT EVENT]	
[MEM]	
[ZAP]	
[◀◀] (fast rewind)	キーを押している間、現在のカーソル位置から早戻しします。
[▶▶] (fast forward)	キーを押している間、現在のカーソル位置から早送りします。
[■] (stop)	再生、レコーディングを停止します。
[▶] (play)	現在のカーソル位置から再生を開始します。
[●] (record)	Pro Toolsをレコーディング可能状態に(アーミング)します ([REC]キーインジケータが点滅します)。[PLAY]キーを押すとレコーディングが開始します ([REC]キーインジケータが点灯します)。

EDITセクション

[Display access]	編集ウィンドウとMixウィンドウを切り替えます。編集ウィンドウがアクティブのときは点灯し、Mixウィンドウがアクティブのときは暗点灯します。
[SNAP]	割り当てなし。
[AUTO SCROLL]	
[AUTO SELECT]	
[OBJECT SELECT]	編集モードを切り替えます。
[RANGE SELECT]	割り当てなし。
[MOVE]	選択範囲を別のリージョンに分割します。
[CUT]	選択範囲をカットします（「Edit」メニューのCutコマンドと同じです）。
[COPY]	選択範囲をコピーします（「Edit」メニューのCopyコマンドと同じです）。
[PASTE]	クリップボードの内容を選択位置にペーストします（「Edit」メニューのPasteコマンドと同じです）。

JOG WHEELセクション

[SCRUB]	スクラブモードを選択します。このキーをオンにすると、[PUNCH IN]キー、[PUNCH OUT]キー、[CYCLE]キーは無効になります。また、コンピューターのディスプレイではカーソルが表示されなくなります。
[SHUTTLE]	シャトルモードを選択します。このキーをオンにすると、[PUNCH IN]キー、[PUNCH OUT]キー、[CYCLE]キーは無効になります。また、コンピューターのディスプレイではカーソルが表示されなくなります。
[SCROLL]	割り当てなし。
[SELECT]	
[ZOOM]	カーソルモードをナビゲーション、ズーム、セレクトから選択します。
[QUICK ZOOM]	同上。
[FADE IN]	割り当てなし。
[FADE OUT]	
[SPLIT]	
[VOLUME]	
[TRIM HEAD]	
[TRIM TAIL]	
[INC +]	
[DEC -]	
[Jog wheel]	シャトル/スクラブ操作に使用します。また、選択リージョンの微調整にも使用します。

GENERAL CONTROLセクション

[▲]/[◀]/[▼]/[▶] (up/left/down/right)	Mixウィンドウ、Editウィンドウ内のスクロール、Editウィンドウ内の操作、波形のズーム、選択リージョンの微調整を行います。実際の操作はカーソルモードによって異なります。
[ENTER]	コンピュータキーボードの[Enter]キーと同じ機能を持っています。このキーを押すとNew Memory Locationダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックス表示中にこのキーを押すと、[OK]ボタンをクリックしたときと同じ動作が実行されます。
[UNDO]	最後に行った操作をアンドゥー/リドゥーします。インジケータ点灯時はアンドゥー可能で、インジケータ点滅時はリドゥーが可能です。リドゥーは、[SHIFT]と[ALT]を押したまま[UNDO]を押すと操作できます。
[SAVE]	現在のセッションをセーブします（「File」メニューのSaveコマンドと同じです）。セーブされていない変更内容があるとインジケータは点灯し、変更内容がすべてセーブされているとインジケータは暗点灯します。このキーを押すとインジケータが点滅します。もう一度キーを押して現在のセッションをセーブするか、[ESC]キーを押してキャンセルします。

MODIFIER セクション

[CTRL]	他のキーと併用して機能操作を変更します。Macコンピューターのキーボードにあるコントロールキーに相当します。
[SHIFT]	他のキーと併用して機能操作を変更します。Macコンピューターのキーボードにあるシフトキーに相当します。
[ALT]	他のキーと併用して機能操作を変更します。Macコンピューターのキーボードにあるコマンドキーに相当します。

NUMERIC PADセクション

[LOCATE]	割り当てなし。
[MARKER]	
[PARAM]	
[DAW]	
[WHEEL]	
[0] - [9]	Macコンピューターのキーボードにある[0] - [9]キーに相当します。
[CLEAR]	Macコンピューターのキーボードにある[Clear]キーに相当します。
[CYCLE .]	Macコンピューターのキーボードにある[.]キーに相当します。
[PREV -]	Macコンピューターのキーボードにある[-]キーに相当します。
[NEXT +]	Macコンピューターのキーボードにある[+]キーに相当します。
[BACK SPACE]	割り当てなし。
[ENTER]	コンピューターキーボードの[Enter]キーと同じ機能を持っています。このキーを押すとNew Memory Locationダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックス表示中にこのキーを押すと、[OK]ボタンをクリックしたときと同じ動作が実行されます。
[ESC]	ほとんどの場合、このキーはコンピューターキーボードの[Esc]キーと同じ機能を持っています。ダイアログボックスが開いている間にこのキーを押すと、[Cancel]ボタンをクリックしたときと同じ動作が実行されます。
[◀/▶] (left/right)	割り当てなし。
[SET]	

USER ASIGNABLE セクション

[Display access]	割り当てなし。
[U1] - [U12]	

AUTOMATION セクション

[Display access]	割り当てなし。
[FILL PUNCH]	
[FILL TO START]	
[FILL TO END]	
[FILL LOOP]	
[TOUCH]	
[LATCH]	
[X-OVER]	
[TRIM]	

MULTI FUNCTION DISPLAYセクション

[Multi function display]	DAW AのNuendoを操作。*1
[SETUP]	
[TRACK LIST]	割り当てなし。
[CHANNEL]	
[PLUG-IN]	
[DYNAMICS]	
[EQ]	
[Multi function knob]	DAW AのNuendoを操作。*1
[Multi function button A] / [Multi function button B]	

DAW SELECTセクション

[DAW A] - [DAW C]	Nuendoの操作時と同様。
-------------------	----------------

TALKBACK MICセクション

[TALKBACK microphone]	DAW AのNuendoを操作。*1
-----------------------	--------------------

*1 Control Roomに関する機能は、常にメインのDAW (DAW A)であるNuendoを操作します。したがって、Pro Toolsの音声信号をNuageのシステムから出力するには、Pro Toolsのオーディオインターフェースの出力をNuageのシステムのオーディオインターフェースの入力に接続し、Nuendoのメニュー「デバイス」→「VSTコネクション」で入出力を設定する必要があります。

NUAGE V2.1で追加された機能

16インサートスロットの操作に対応 (Nuage Fader、Nuage Master)	53
VST MultiPannerのAmbisonicsモードに対応 (Nuage Master)	54
Rio3224-D2、Rio1608-D2のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader)	54
RMP-D8のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader).....	55

16インサートスロットの操作に対応 (Nuage Fader、Nuage Master)

Nuageから操作できるインサートスロットの数が8から16に増えました。対象DAWはNuendo 10以降、またはCubase 10以降です。

チャンネルストリップ



チャンネルストリップのインサートスロットをSECTION CONTROLセクションの[▲][▼]で選択できます。

INSERTページ



タブで1～8、9～16のインサートスロットの表示が切り替わります。

VST MultiPannerのAmbisonicsモードに対応 (Nuage Master)

Nuendo 8.3以降、Cubase 10以降で追加になったVST MultiPannerのAmbisonicsモードの操作ができるようになりました。

Ambisonicsの操作画面



Rio3224-D2、Rio1608-D2のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader)

第2世代のRシリーズ(Rio3224-D2、Rio1608-D2)の操作ができるようになりました。操作や設定の方法は第1世代のRシリーズ(V1.5で対応)と同じです。

詳細は、NUAGE V1.5追加機能の「Rシリーズ(Dante対応 I/Oラック)のリモートコントロールに対応(Nuage Fader)」をご参照ください。(94ページ)

RMP-D8のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader)

Rupert Neve Designs社RMP-D8のHAゲインを、[マルチファンクションノブ]で操作できるようになりました。

RMP-D8を接続したインプットチャンネルの「HA GAIN」と「HA GC」を操作するには、SECTION CONTROLセクションの[PRE]を押したあと[サブパラメーター 2]を押します。

特定のチャンネルの「HA GAIN」、「HA GC」、「HA HPF」(オン/オフのみ)、「HA +48V」を操作するには、RMP-D8を接続したインプットチャンネルの[e](エディット)を押したあとSECTION CONTROLセクションの[PRE]を押します。



ステレオやサラウンドなど、複数のチャンネルで構成される入力バスをアサインしている場合、Nuendoの「オーディオコネクション」でバス構成の一番上に表示されるチャンネル(ステレオの場合は「左」)のパラメーターがラベルエリアに表示されます。Nuage Faderで設定されたチャンネルの値が、そのバスのすべてのチャンネルに適用されます(「左」(チャンネル)の設定が画面面上に表示されていない「右」(チャンネル)にも適用されます)。バスを構成するチャンネルの値が一致していない場合、パラメーターの後に「*」が付きます。(「HA GAIN*」など)

操作	機能
「HA GAIN」	HAゲインを調節します。
「HA GC」	ゲインコンペンセーションをオン/オフします。
「HA HPF」	ハイパスフィルターをオン/オフします。 フィルター周波数は操作できません。
「HA +48V」	+48 Vファンタム電源をオン/オフします。 オンにするには[マルチファンクションボタンA]を長押しします。

RMP-D8の設定

Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE HA Remote Setup」をクリックして設定画面を開き、使用するDante Acceleratorを設定します。

NOTE

サポートOSのうちMac OS X 10.11では使用できません。

NUAGE V2.0で追加された機能

MMP1のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader、Nuage Master、NUAGE Workgroup Manager).....	57
設定(事前準備)	57
モニターソース、キュー出力の切り替え (Nuage Master).....	59
キュー出力、スタジオスピーカー出力の状態表示と調整 (Nuage Master).....	61
モニターコントロール (Nuage Fader、Nuage Master)	63
トークバックのオン/オフ (Nuage Master)	66
Elevation Pattern選択機能を追加 (Nuage Fader).....	67
プロジェクトウィンドウ以外でのカーソル操作機能を追加 (Nuage Master)	68

MMP1のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader、Nuage Master、NUAGE Workgroup Manager)

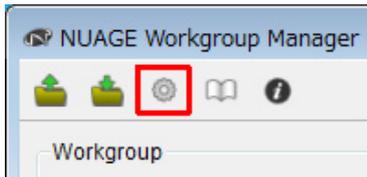
MMP1の機能の一部をリモートコントロールできるようになりました。

設定(事前準備)

NUAGE Workgroup Managerでコントロール元のNuage FaderやNuage Masterとコントロール先のMMP1を設定します。

1. NUAGE Workgroup Managerを開きます。

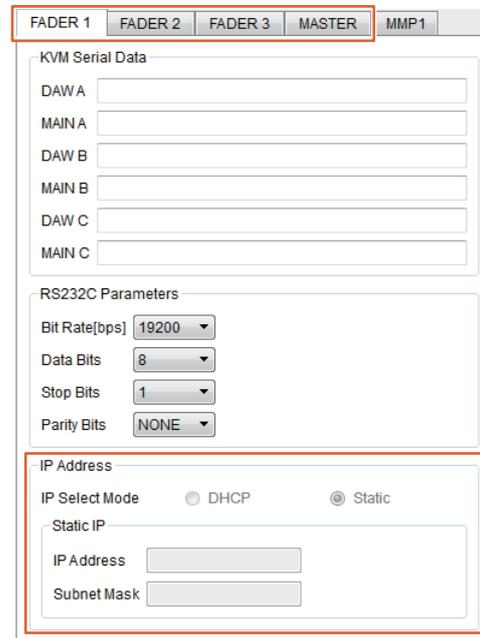
2. 「Setup」をクリックします。



3. IPアドレスを設定します。

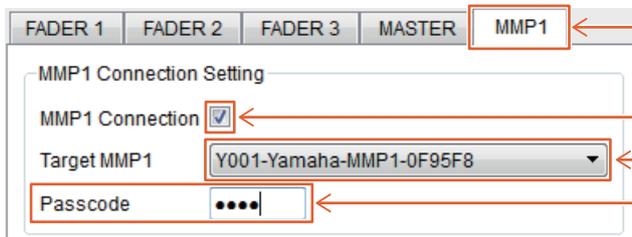
MMP1をNuage FaderやNuage Masterからコントロールするには、Nuage FaderやNuage MasterのIPアドレスをMMP1と同じサブネット内に設定する必要があります。MMP1のIPアドレスの設定については、MMP1セットアップガイドおよびMMP1オペレーションマニュアルをご参照ください。

コントロール元になるNuage FaderまたはNuage Masterのタブをクリックし、IPを設定します。



IPアドレスの設定内容は、MMP1のIPアドレス設定によって異なります。

4. コントロールするMMP1を選択します。



① 「MMP1」タブを選択し、

② チェックを入れ、

③ コントロールするMMP1を選択します。

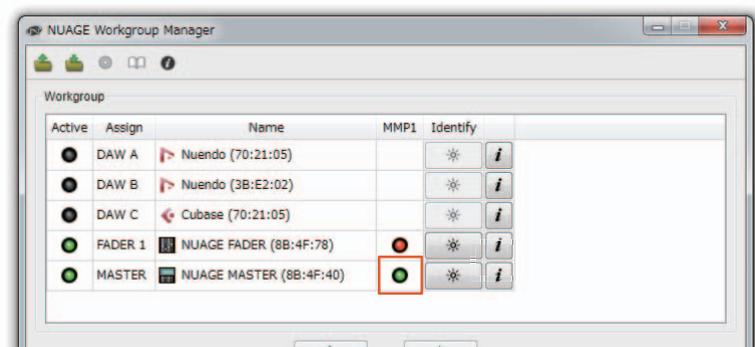
④ MMP1にPasscodeが設定されている場合には、そのPasscodeを入力します。

NOTE

②のチェックを外すと、MMP1のリモートコントロール用に使用されるNuage Fader、Nuage Masterの各キーは従来の動作に戻ります。

5. MMP1との接続を確認します。

MMP1と正しく接続されると、MMP1インジケータが緑色に点灯します。



MMP1と正しく接続できず、MMP1インジケータが赤く点灯する場合は、

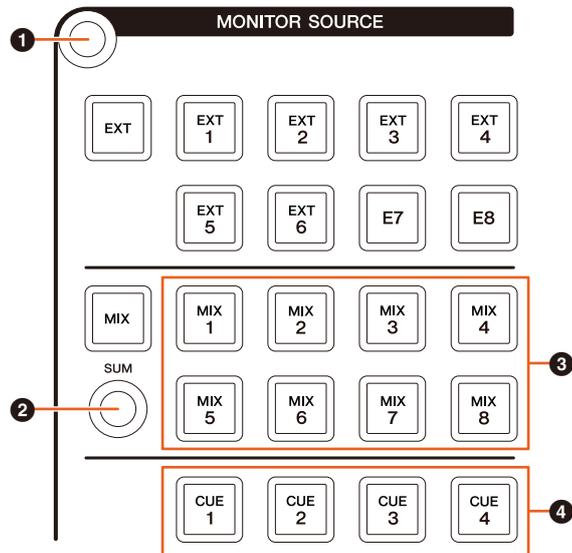
- IPアドレスの設定が間違っている。
- Passcodeが間違っている。

といった原因が考えられます。IPアドレスの設定やPasscodeをご確認ください。

モニターソース、キュー出力の切り替え (Nuage Master)

Nuage MasterのMONITOR SOURCEセクションを使って、MMP1でモニターする音声やキュー出力を選択できます。

MONITOR SOURCEセクション



- ① [マルチファンクションディスプレイ]に「Monitor Sourceページ」を表示します。
- ② オン(点灯)にすると、複数のMonitor Sourceを同時に選択できます。
- ③ モニターする音声をMonitor Source 1～8から選択します。
- ④ モニターする音声をキュー出力1～4から選択します。

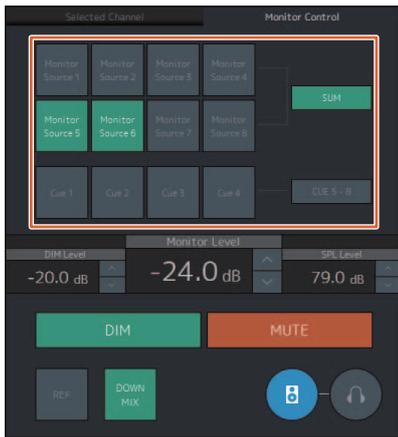
Monitor Sourceページ



- ① 操作対象としてメインモニター出力/ヘッドホン出力を切り替えます。
- ② オン(点灯)にすると、複数のMonitor Sourceを同時に選択できます。
- ③ モニターする音声をMonitor Source 1～8から選択します。
- ④ モニターする音声をキュー出力 1～8から選択します。
- ⑤ ダウンミックス音声出力をオン(点灯)/オフ(消灯)します。(メインモニター出力選択時のみ)
- ⑥ Monitor Source選択時は、各Monitor Sourceの入力レベルを調整します。
キュー出力選択時は、Cue Source 1～8から選択しているキュー出力へのセンドレベルを設定します。

これらの項目は、MMP1 Editor、MMP1 Controllerの赤枠で囲んだ項目と連動します。

MMP1 Editor — Main画面 — Monitor Controlタブ



MMP1 Controller — Control view



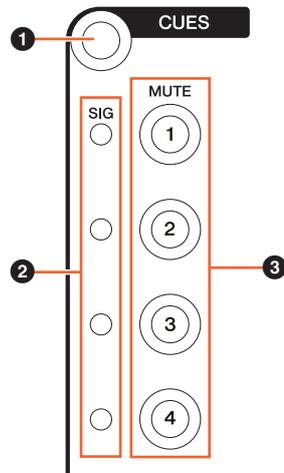
MMP1 Controller — Editor view — Main Monitor



キュー出力、スタジオスピーカー出力の状態表示と調整 (Nuage Master)

Nuage MasterのCUESセクションを使って、MMP1のキュー出力やスタジオスピーカー出力の状態表示や調整ができます。

CUESセクション



- 1 [マルチファンクションディスプレイ]に「Cuesページ」を表示します。
- 2 キュー出力1～4の出力状態を表示します。-40dB未満は消灯、-40dB以上-20dB未満は緑■、-20dB以上0dB未満はオレンジ■、クリップ状態は赤■で表示されます。
- 3 キュー出力1～4のミュートのオン(点灯)/オフ(消灯)状態を表示します。

Cuesページ



- 1 表示対象をキュー出力とスタジオスピーカー出力から選択します。
- 2 キュー出力1～8またはスタジオスピーカー出力1～8のオン(点灯)/オフ(消灯)状態を表示します。
- 3 キュー出力1～8またはスタジオスピーカー出力1～8のメーターを表示します。
- 4 キュー出力1～8またはスタジオスピーカー出力1～8の出力レベルを調整します。

これらの項目は、MMP1 Editorの赤枠で囲んだ項目と連動します。

MMP1 Editor — Sub画面

The screenshot displays the MMP1 Editor interface with several control sections:

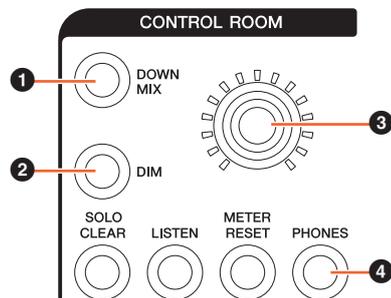
- Top Panel:** Includes tabs for Main, Monitor Matrix, Speaker Matrix, Speaker Management, Patch, Settings, and Information. A volume meter and 'Main Monitor Out' controls are visible on the left.
- Cue Controls (Highlighted):** A row of eight 'Cue 1-4 TB' controls, each with a 'TB' (Talkback) button and a trim knob.
- Monitor Section:** Contains 'Monitor Source Trim' and 'Cue Source Trim' for 8 channels, each with a trim knob.
- Cue Output Trim (Highlighted):** A section with 8 trim knobs and 'MUTE' buttons for each channel.
- Studio Speaker Output Trim:** A section with 8 trim knobs and 'MUTE' buttons.
- Oscillator Section:** Features frequency selection (50Hz, 100Hz, 400Hz, 1kHz, 10kHz), noise options (Pink Noise), and an 'Oscillator Trim' knob.
- Snapshot Section:** A table for saving and recalling settings.

No	Name	Store	Recall
1	Initialize	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	Snapshot 1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	Snapshot 2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
- Talkback Section:** Eight 'Talkback Dest' buttons (Dest 1-8) arranged in a 2x4 grid.
- Trim Section:** Four trim knobs for pairs 1-1, 1-2, 2-1, and 2-2.
- Bottom Panel:** Includes 'Lip Sync Delay' (50.00 ms), 'LFE Trim', and 'LFE Filter' (ON).

モニターコントロール (Nuage Fader、Nuage Master)

Nuage FaderやNuage MasterのCONTROL ROOMセクションを使って、MMP1のダウンミックスやディマーのオン/オフ、モニター出力レベルの設定などができます。

Nuage Fader — CONTROL ROOMセクション



- 1 ダウンミックス音声出力をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

NOTE

操作対象としてヘッドホン出力を選択しているときは無効になります。

- 2 ディマーをオン(点灯)/オフ(消灯)します。

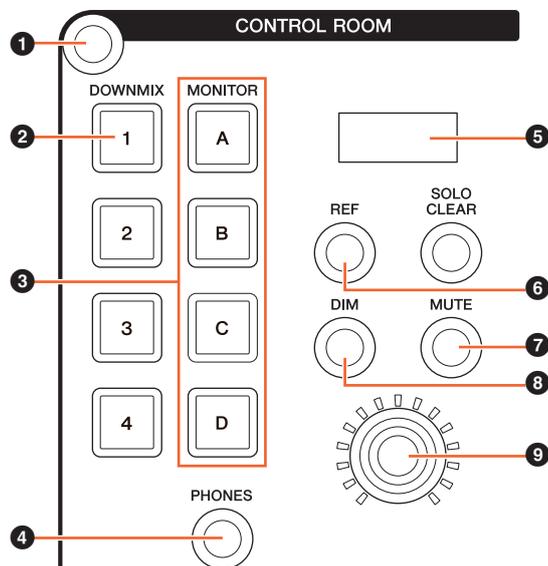
NOTE

操作対象としてヘッドホン出力を選択しているときは無効になります。

- 3 メインモニター出力またはヘッドホン出力のレベルを設定します。

- 4 操作対象としてヘッドホン出力(点灯)/メインモニター出力(消灯)を切り替えます。

Nuage Master — CONTROL ROOMセクション



- 1 [マルチファンクションディスプレイ]に「Control Roomページ」を表示します。

- 2 ダウンミックス音声出力をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

NOTE

操作対象としてヘッドホン出力を選択しているときは無効になります。

- 3 スピーカーセットA-Dを選択します。

- 4 操作対象としてヘッドホン出力(点灯)/メインモニター出力(消灯)を切り替えます。

- 5 Monitor LevelまたはHeadphone Monitor Level、SPL Levelを表示します。

- 6 Monitor Levelの値をリファレンスレベルの値に変更します。2秒以上長押しすると点滅して、現在のMonitor Levelの値がリファレンスレベルとして記憶されます。

NOTE

操作対象としてヘッドホン出力を選択しているときは無効になります。

- 7 メインモニター出力またはヘッドホン出力のミュートをオン(点灯)/オフ(消灯)します。

- 8 ディマーをオン(点灯)/オフ(消灯)します。

NOTE

操作対象としてヘッドホン出力を選択しているときは無効になります。

- 9 メインモニター出力またはヘッドホン出力のレベルを設定します。

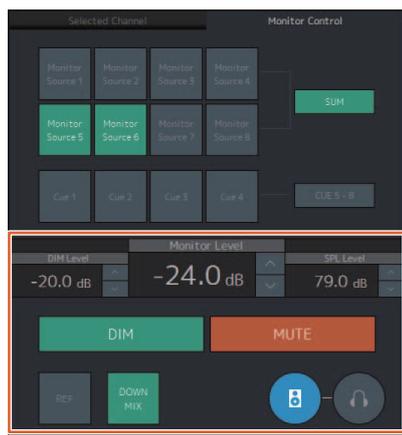
Control Roomページ



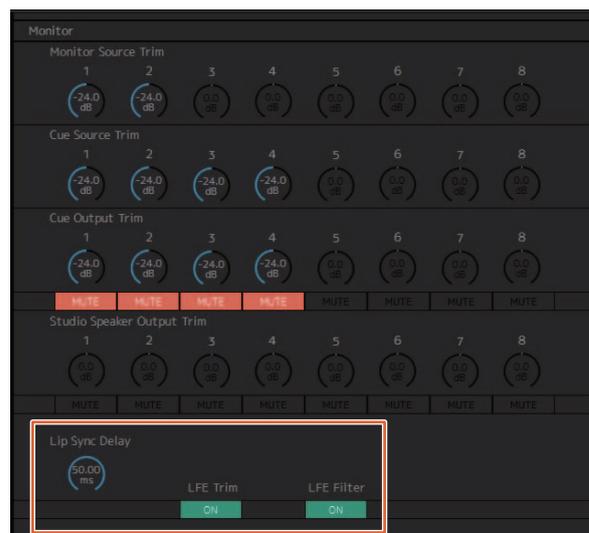
- ❶ メインモニター出力をオン(点灯)/オフ(消灯)します。
- ❷ Monitor Levelを表示します。
- ❸ デイマーをオン(点灯)/オフ(消灯)します。
- ❹ Monitor Levelの値をリファレンスレベルの値に変更します。2秒以上長押しすると点滅して、現在のMonitor Levelの値がリファレンスレベルとして記憶されます。
- ❺ MUTE/SOLOを切り替えるスピーカーを選択します。
- ❻ ヘッドホン出力をオン(点灯)/オフ(消灯)します。
- ❼ Headphone Monitor Levelを表示します。
- ❽ MUTEを押すと、❺で選択したスピーカーがミュートされます。SOLOを押すと、❺で選択したスピーカーから音が出ます。
- ❾ Headphone Monitor Level、DIM Level、Monitor Level、SPL、LFE Filter、LFE Trim Level、Lip Sync Delayを操作します。

これらの項目は、MMP1 Editor、MMP1 Controllerの赤枠で囲んだ項目と連動します。

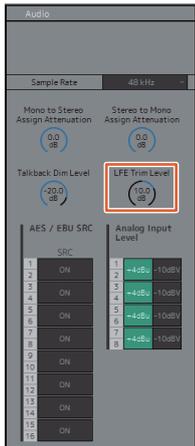
MMP1 Editor — Main画面 — Monitor Controlタブ



MMP1 Editor — Sub画面 — Monitorセクション



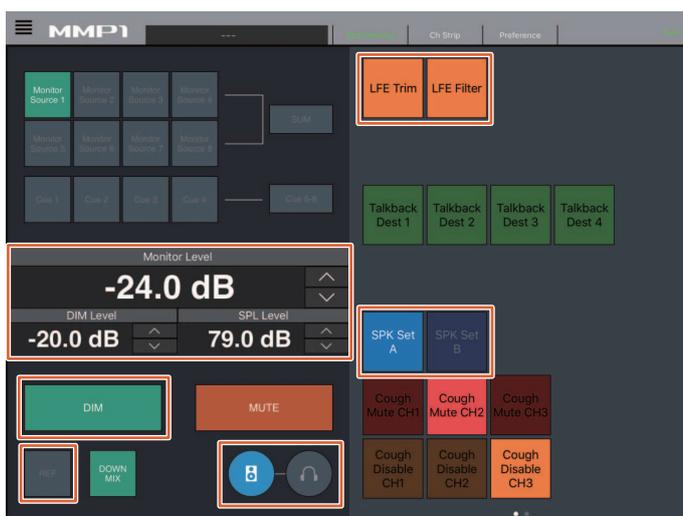
MMP1 Editor — Settings画面 — Sceneタブ/MISC/Audio



MMP1 Controller — Control view



MMP1 Controller — Editor view — Main Monitor



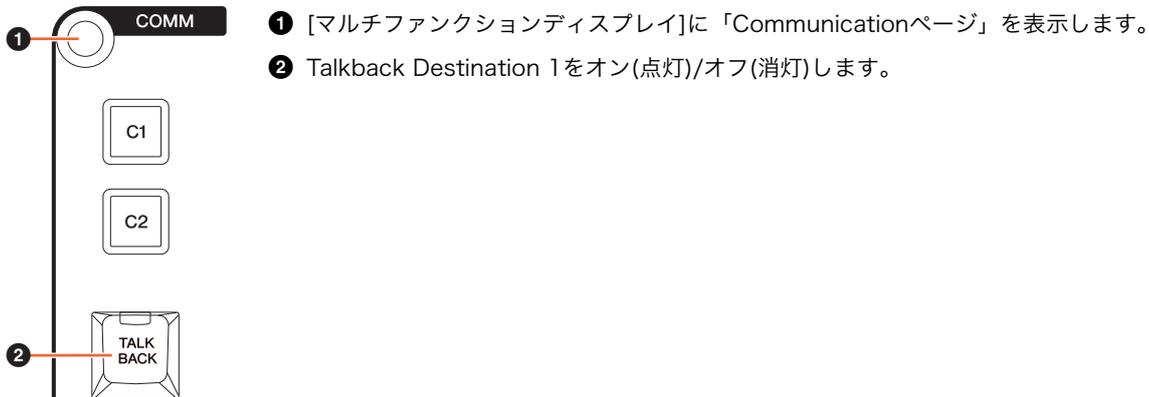
NOTE

表示されるユーザーアサインナブル機能は、お使いの設定によって異なります。

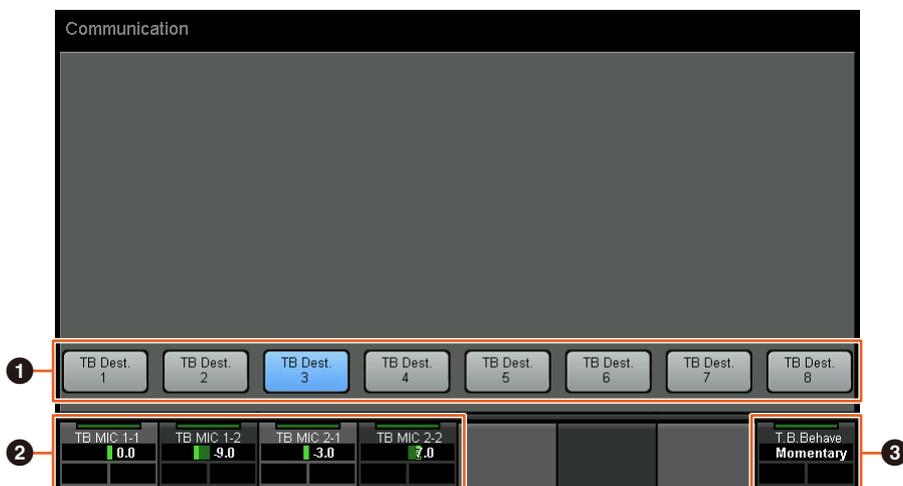
トークバックのオン/オフ (Nuage Master)

Nuage MasterのCOMMUNICATIONセクションを使って、トークバックをオン/オフできます。

COMMUNICATIONセクション



Communicationページ



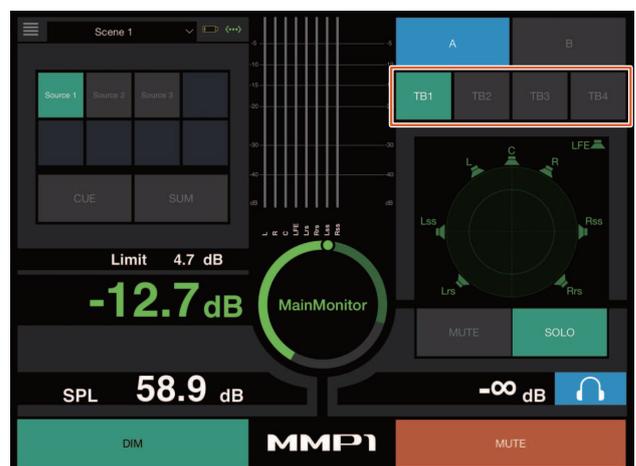
- 1 Talkback Destination 1-8をオン(点灯)/オフ(消灯)します。
- 2 トークバックに使用するマイクの入力レベルを調整します。
- 3 Talkback Button Behaviorを設定します。
Latchキーやボタンを押すたびにオン/オフが切り替わります。
Momentaryキーやボタンを押している間オンになり、離すとオフになります。

これらの項目は、MMP1 Editor、MMP1 Controllerの赤枠で囲んだ項目と連動します。

MMP1 Editor — Sub画面 — Talkbackセクション



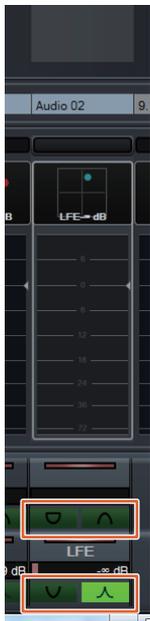
MMP1 Controller — Control view



Elevation Pattern選択機能を追加 (Nuage Fader)

Nuage FaderでNuendo 7.1以降のVST MultiPanner プラグインのElevation Patternを選択できるようになりました。NuendoでVST MultiPannerを選択すると、ラベルエリアにElevation Patternが表示されます。対応するマルチファンクションボタンでElevation Patternを切り替えられます。

チャンネルストリップ



チャンネルセッティングモード

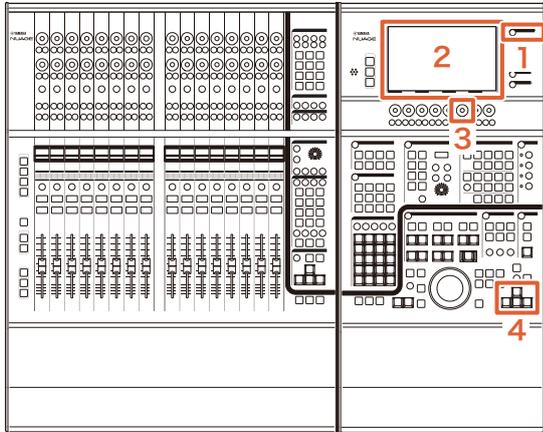


プロジェクトウィンドウ以外でのカーソル操作機能を追加 (Nuage Master)

GENERAL CONTROLセクションの[▲]/[◀]/[▼]/[▶]を押したときの操作対象をDAWの「プロジェクトウィンドウ」と最前面に表示されているウィンドウのどちらにするか、選択できるようになりました。

操作方法

イラスト内、画面内の数字は手順番号を表します。



1. MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[SETUP]を押します。

2. [マルチファンクションディスプレイ]内の「PAGE 3」タブをタッチします。

3. 「PC KBD Emu Mode」に対応した[マルチファンクションノブ]でカーソル操作の対象を選択します。

Off	DAWの「プロジェクトウィンドウ」を操作対象にします。
On	最前面に表示されているウィンドウを操作対象にします。

4. GENERAL CONTROLセクションの[▲]/[◀]/[▼]/[▶]で操作します。

NUAGE V1.7で追加された機能

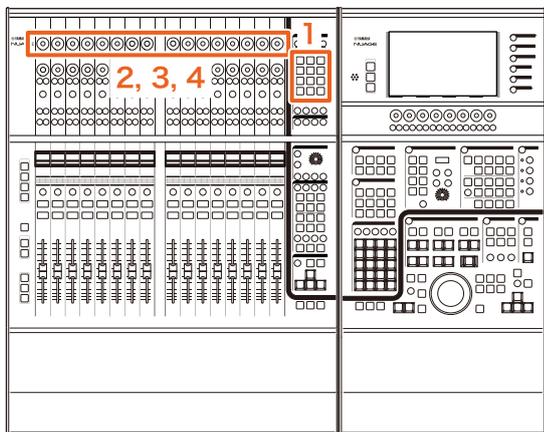
VCAフェーダーへのチャンネル割り当て機能を追加 (Nuage Fader)	70
SECTION CONTROLセクションのキーの割り当て変更機能を追加 (Nuage Fader)	70
CHANNEL VIEW CONTROL セクションのキーの割り当て変更機能を追加 (Nuage Fader)	71
CHANNEL VIEWメモリーを拡張 (Nuage Fader)	71
全チャンネルタイプの一括表示機能を追加 (Nuage Fader)	71
フォルダートラックの開閉機能を追加 (Nuage Master)	72
クイックコントロールのパラメーターの設定方法を変更 (Nuage Fader、Nuage Master)	72
「ミキサー」画面幅の調整機能を拡張 (Nuage Fader).....	73
GPIOに対応 (Nuage Master)	74
トラックごとのオートメーションモードを設定できる機能を追加 (Nuage Master).....	76
Control Roomチャンネルの インサート操作を追加 (Nuage Master)	76
CONTROL ROOMページにパラメーターを追加 (Nuage Master)	77
プロジェクトファイルの保存に関する設定を追加 (Nuage Master).....	78
Avid Pro Toolsのショートカットキーに対応 (Nuage Master)	78
Avid Pro Toolsのインサートに対応 (Nuage Fader)	79
NUAGE PT Bridgeの画面の表示方法を追加/変更 (NUAGE PT Bridge)	82
Danteネットワークインターフェースのロック機能を追加 (Nuage I/O)	82
ダイレクトモニタリングの設定を初期化する機能を追加 (Nuage I/O).....	83

VCAフェーダーへのチャンネル割り当て機能を追加 (Nuage Fader)

Nuendo (7以降)で作成したVCAフェーダーに、Nuage Faderを使って、チャンネルを割り当てたり、割り当てを解除したりできるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



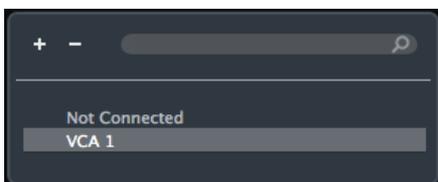
1. SECTION CONTROLセクションの[VCA]を押します。

NOTE

SECTION CONTROLセクションのボタンのどれかに、あらかじめ「VCA」を割り当てておく必要があります(70ページ)。

2. VCAフェーダーに割り当てたい(または割り当てを解除したい)チャンネルの[マルチファンクションノブ](上段)を押します。

「ミキサー」にポップアップが表示されます。



NOTE

VCAフェーダーが作成されていない場合は「未接続」だけが表示されます。

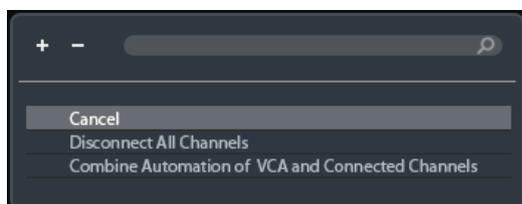
3. [マルチファンクションノブ](上段)を回して、チャンネルを割り当てるVCAフェーダー(または「未接続」)を選択します。

4. [マルチファンクションノブ](上段)を押します。

選択が決定され、チャンネルがVCAフェーダーに割り当てられます。(または、割り当てが解除されます。)

NOTE

VCAフェーダーに対応する[マルチファンクションノブ](下段)を押すと、下記のポップアップが表示され、VCAフェーダーの設定を変更できます。

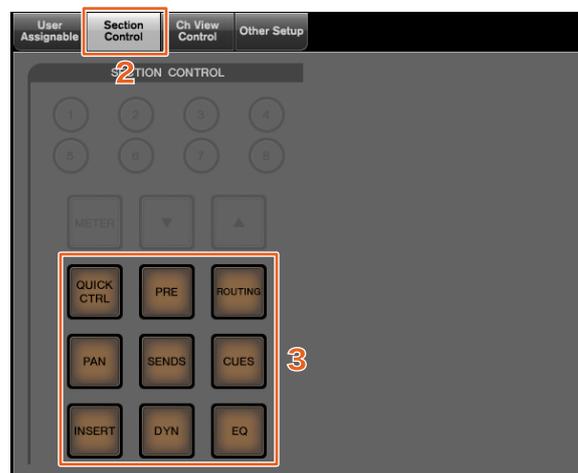


SECTION CONTROLセクションのキーの割り当て変更機能を追加 (Nuage Fader)

SECTION CONTROLセクションのキーの割り当てを変更できるようになりました。

操作方法

画面内の数字は手順番号を表します。

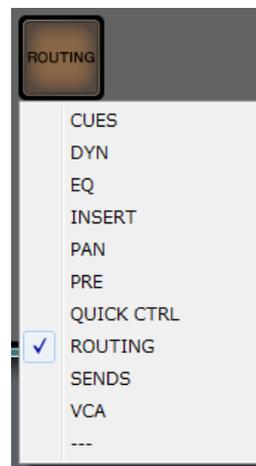


1. NuendoまたはCubaseメニューの「デバイス」→「NUAGE FADER Setup」をクリックします。

2. 「Section Control」タブをクリックします。

3. 変更したいキーをクリックします。

機能の候補がポップアップリストで表示されます。



4. キーに割り当てる機能をリストから選択します。

NOTE

- 「---」を選択すると、割り当てが解除されます。
- 割り当ての変更に合わせて、Nuage Fader本体のキーレベルも変更することをお勧めします。Nuage Fader本体のキートップは取り外し可能です。

CHANNEL VIEW CONTROL セクションのキーの割り当て変更機能 を追加 (Nuage Fader)

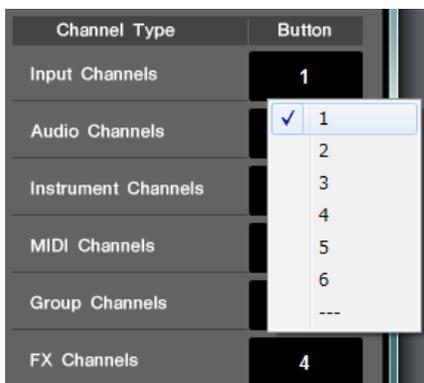
CHANNEL VIEW CONTROLセクションのキーの割り当てを変更できるようになりました。

操作方法

画面内の数字は手順番号を表します。



1. NuendoまたはCuabaseメニューの「デバイス」→「NUAGE FADER Setup」をクリックします。
2. 「Ch View Control」タブをクリックします。
3. キーに割り当てる「Channel Type」横の「Button」欄の数字をクリックします。
キーの番号がポップアップリストで表示されます。



4. 該当するChannel Typeを割り当てるキーの番号を選択します。

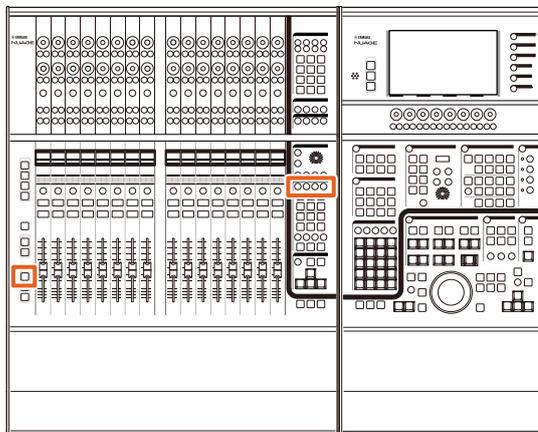
NOTE

- 1つのキーに複数のChannel Typeを割り当てられます。
- 割り当ての変更に合わせて、Nuage Fader本体のキーラベルも変更することをお勧めします。Nuage Fader本体のキートップは取り外し可能です。

CHANNEL VIEWメモリーを拡張 (Nuage Fader)

チャンネルの表示状態を記録/呼び出しできるCHANNEL VIEWメモリーの数が増えました。

操作方法



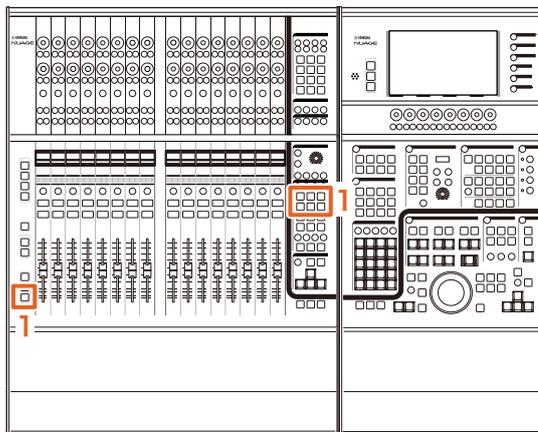
- メモリー1～メモリー4の操作は、変更ありません。2秒以上の長押しで記録、短く押すと呼び出しになります。
- [SHIFT]を押しながら[CHANNEL VIEWメモリー1]～[CHANNEL VIEWメモリー4]のどれかのキーを押すと、メモリー5～メモリー8の記録/呼び出しができます。

全チャンネルタイプの一括表示機能 を追加 (Nuage Fader)

CHANNEL VIEW CONTROLセクションの[INPUT]、[AUDIO]、[OUTPUT]、[FX]、[GROUP]、[OTHERS]に対応するチャンネルタイプを一括して表示できるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



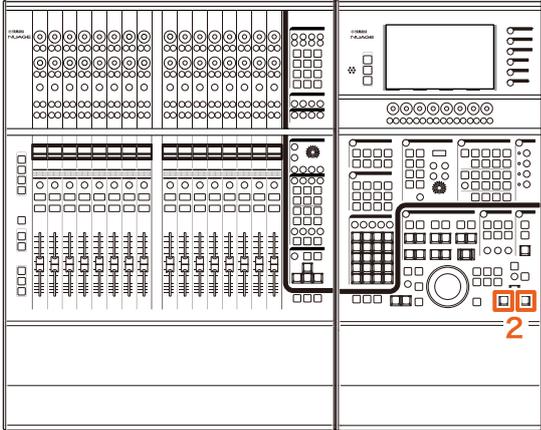
1. MODIFIERセクションの[ALT]を押しながら、[INPUT]、[AUDIO]、[OUTPUT]、[FX]、[GROUP]、[OTHERS]のどれかを押します。
[INPUT]、[AUDIO]、[OUTPUT]、[FX]、[GROUP]、[OTHERS]に対応するチャンネルタイプがすべて表示されます。

フォルダトラックの開閉機能を追加 (Nuage Master)

プロジェクトウィンドウでフォルダトラックを選択しているとき、Nuage Masterの操作でフォルダトラックを開閉できるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



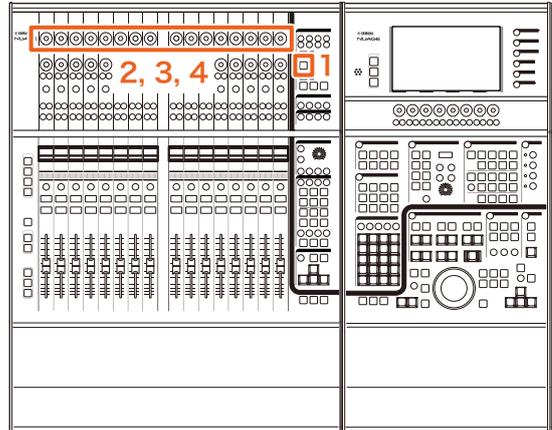
1. NuendoまたはCubaseのプロジェクトウィンドウでフォルダトラックを選択します。
2. GENERAL CONTROLセクションの[◀]と[▶]を同時に押します。
フォルダトラックが閉じているときは開き、開いているときは閉じます。

クイックコントロールのパラメーターの設定方法を変更 (Nuage Fader、Nuage Master)

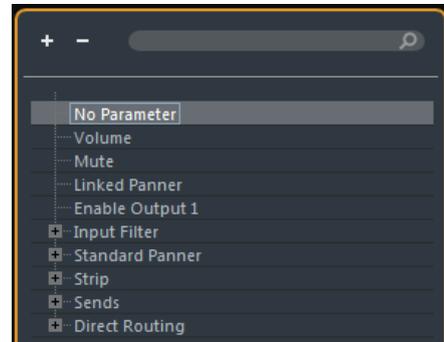
「クイックコントロール」のパラメーターの割り当てを、Nuage FaderやNuage Masterから設定できるようになりました。

操作方法(Nuage Fader)

イラスト内の数字は手順番号を表します。



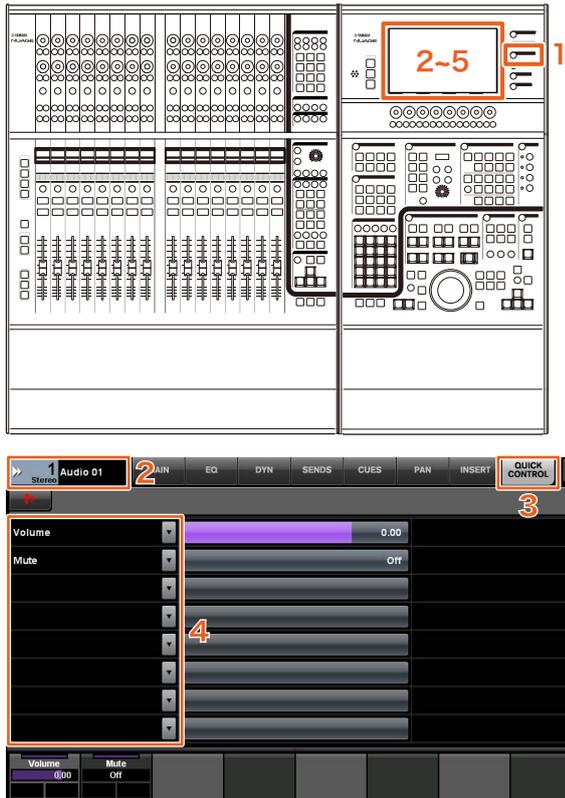
1. SECTION CONTROLセクションの[QUICK CTRL]を押します。
2. パラメーターを変更する[マルチファンクションノブ](上段)を押します。
「ミキサー」にポップアップが表示されます。



3. [マルチファンクションノブ](上段)を回して、割り当てるパラメーターを選択します。
4. [マルチファンクションノブ](上段)を押します。
選択が決定され、パラメーターが[マルチファンクションノブ]に割り当てられます。「パラメーターなし」を選択している場合は、割り当てが解除されます。

操作方法(Nuage Master)

イラスト内、画面内の数字は手順番号を表します。



1. MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[CHANNEL]を押します。
2. [マルチファンクションディスプレイ]内の「チャンネル情報」をタッチして、「QUICK CONTROL」を変更するチャンネルを選択します。
3. [マルチファンクションディスプレイ]内の「QUICK CTRL」タブをタッチします。
4. [マルチファンクションディスプレイ]内で、変更する「クイックコントロール」のパラメーターをタッチします。
ポップアップが表示されます。



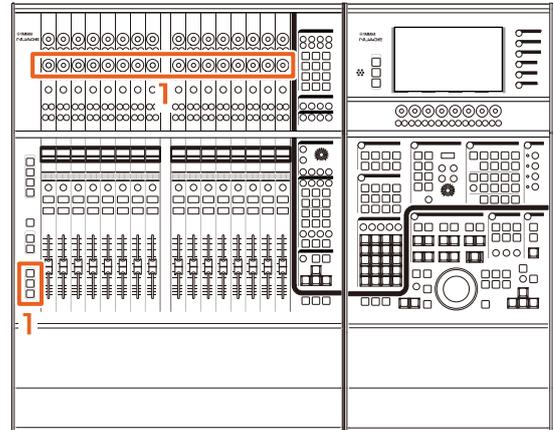
5. 割り当てるパラメーターをタッチして選択します。

「ミキサー」画面幅の調整機能を拡張 (Nuage Fader)

従来の項目に加えて、「ミキサー」下端位置も調整できるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. MODIFIERセクションの[SHIFT]、[CTRL]、[ALT]を同時に押したまま、[マルチファンクションノブ](下段)を操作します。

操作する[マルチファンクションノブ]に応じて、「ミキサー」の左端、右端、下端の位置やメーターの縦幅をそれぞれ調整できます。

どの[マルチファンクションノブ]がどの調整項目に対応するかは、「ミキサー」のラベルエリアをご参照ください。

NOTE

MODIFIERセクションの[SHIFT]、[CTRL]、[ALT]を同時に押したまま、SECTION CONTROLセクションの[サブパラメーター 1]～[サブパラメーター 4]を押すと、「ミキサー」を表示するディスプレイを切り替えることができます。

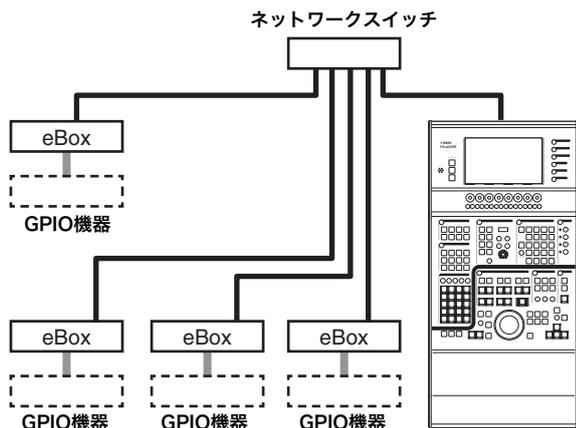
GPIOに対応 (Nuage Master)

JL Cooper eBOX/eBOX GPI8を経由して、GPIOの入力をNuage Masterで受けたり、Nuage MasterからGPIOで信号を出力したりできるようになりました。

NOTE

- Nuage MasterがeBOXクライアントになりますので、Nuage Masterと通信するすべてのeBOXをサーバーモードに設定してください。
- 正しく通信できなくなる可能性がありますので、eBOXのパワード機能はオフにしてください。

接続例

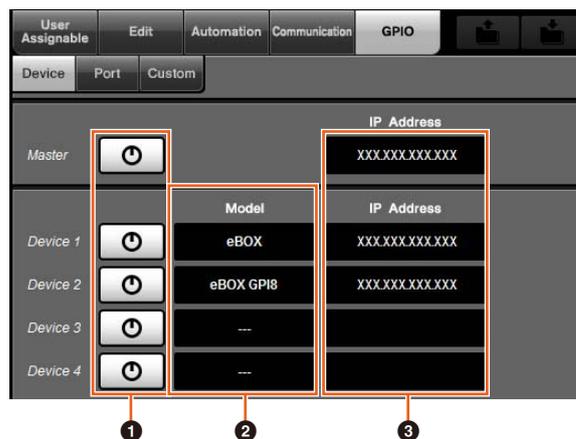


操作方法

1. NuendoまたはCubaseメニューの「デバイス」→「NUAGE MASTER Setup」をクリックします。
2. 「GPIO」タブをクリックします。
3. 以下の各画面の設定を行ないます。

Deviceページ

GPIO機能のオン/オフやGPIO機能を使うための基本的な設定をします。



① オン/オフ

Nuage MasterやeBOXのGPIO機能をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

② Model

GPIO機器を接続しているeBOXの種類を選択します。最大4台のeBOXまたはeBOX GPI8を接続できます。

③ IP Address

Nuage MasterとeBOXのIPアドレスを入力します。Nuage MasterとeBOXそれぞれに重複しないIPアドレスを設定してください。

例：

Nuage Master	192.168.254.103
eBOX1	192.168.254.102
eBOX2	192.168.254.104

Portページ

GPIOの機能を選択します。入力、出力それぞれに最大32の機能を選択できます。



1 Target

入出力の対象をDAWと「Custom」のどちらにするか選択します。「Custom」の機能の詳細は、Customページで定義できます。

2 Function 1

GPIOの機能を選択します。TargetがDAWのときは、「Control Room」が自動的に選択されます。Targetが「Custom」のときは、Customページで定義した機能から選択できます。

3 Function 2

GPIOの機能を選択します。TargetがDAWのときは、タッチしたときに表示されるポップアップリストから機能を選択できます。Targetが「Custom」のときは、「---」が自動的に選択されます。

4 Device

入出力の対象となるeBOXを選択します。この欄の数字は、Deviceページで設定した「Device 1」～「Device 4」に対応しています。

5 Port

Device欄で設定したeBOXのポート(GPIO端子のピン)を選択します。ポート1はピン2、ポート24はピン25になります。詳細は、eBOXの取扱説明書をご参照ください。

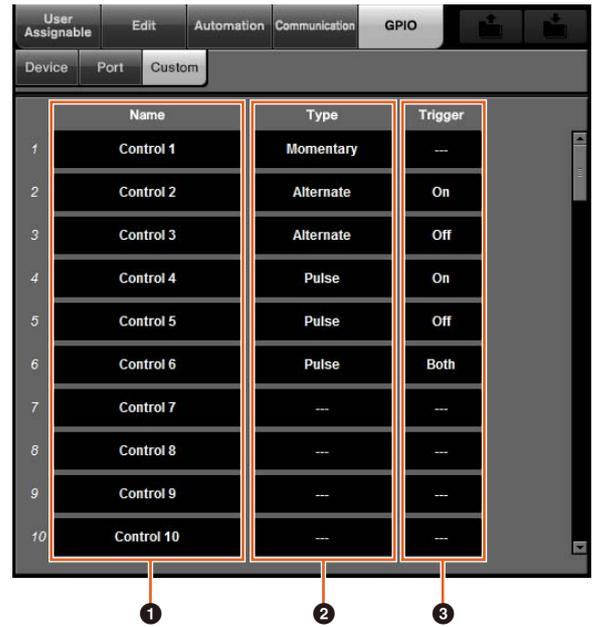
6 Terminal

入力ポート電圧による動作と出力ポート電圧を定義します。

High	Inputの場合、入力ポート電圧がHighでオンになります。 Outputの場合、機能がオンのときに出力ポート電圧をHighにします。
Low	Inputの場合、入力ポート電圧がLowでオンになります。 Outputの場合、機能がオンのときに出力ポート電圧をLowにします。

Customページ

GPIO機能を定義します。最大16の機能を定義できます。



1 Name

定義するGPIO機能の名前を付けることができます。

2 Type

入出力信号の種類を「Momentary」、「Alternate」、「Pulse」から選択します。

Momentary	関連付けられた入力ポートがオンの間、機能をオンにします。
Alternate	関連付けられた入力ポートがTriggerの条件を満たすたびに、機能のオン/オフを反転します。
Pulse	関連付けられた入力ポートがTriggerの条件を満たした直後から一定時間(約250ms)、機能をオンにします。

3 Trigger

出力オン/オフの条件を定義します。「Type」が「Momentary」のときは、この項目は設定不要です。「Alternate」のときは、以下の条件で出力が反転します。「Pulse」のときは、以下の条件で出力がオンになります。

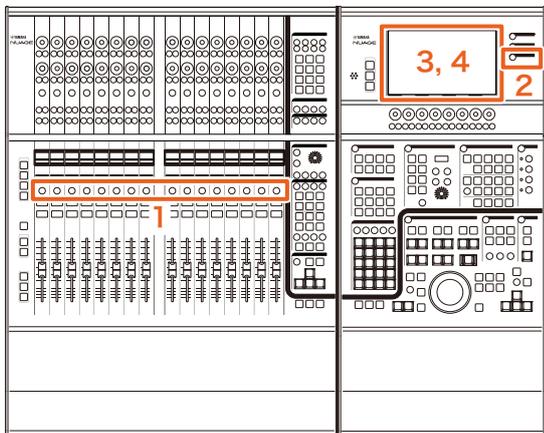
On (Alternate/Pulse)	関連付けられた入力ポートがオフからオンに変わったときに出力を変化させます。
Off (Alternate/Pulse)	関連付けられた入力ポートがオンからオフに変わったときに出力を変化させます。
Both (Pulseのみ)	関連付けられた入力ポートのオン/オフが変わったときに出力を変化させます。

トラックごとのオートメーションモードを設定できる機能を追加 (Nuage Master)

[マルチファンクションディスプレイ]で、トラックごとのオートメーションモードを設定できるようになりました。

操作方法

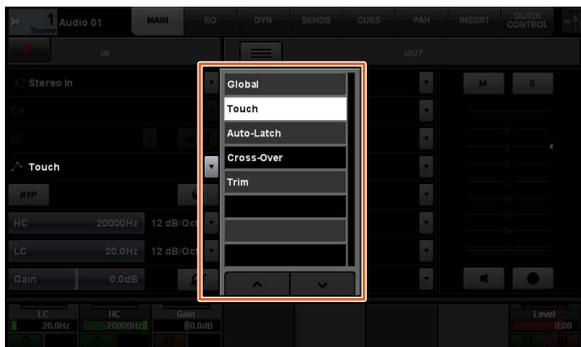
イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. SECTION CONTROLセクションの[SEL]を押して、オートメーションモードを設定するトラックを選択します。
2. MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[CHANNEL]を押します。
3. 下の画面の赤枠内をタッチします。



4. トラックに設定するオートメーションモードをタッチします。

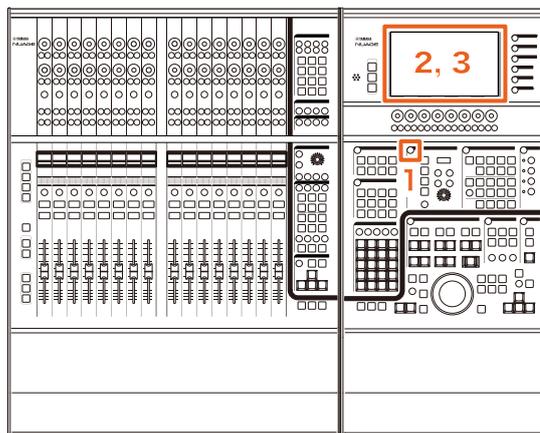


Control Roomチャンネルのインサート操作を追加 (Nuage Master)

[マルチファンクションディスプレイ]で、Control Room各チャンネルへの「インサート」を操作できるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. CONTROL ROOMセクションの[ディスプレイアクセス]を押します。
2. [マルチファンクションディスプレイ]内の「INSERT」タブをタッチします。



3. 「インサート」を設定します。詳細は、以下の画面説明をご参照ください。

Control Room — INSERTページ



1 Control Roomチャンネル選択

「インサート」を操作する対象チャンネルを選択します。

2 Insert

割り当てているプラグインエフェクトが表示されます。タッチすると、プラグインエフェクトを選択する画面が表示されます。

3 プリセット

選択しているプリセットが表示されます。タッチすると、プリセットを選択する画面が表示されます。

4 オン/オフ

「インサート」をオン(水色)/オフ(銀色)します。

5 BYP

「バイパス」をオン(橙色)/オフ(銀色)します。

6 e (エディット)

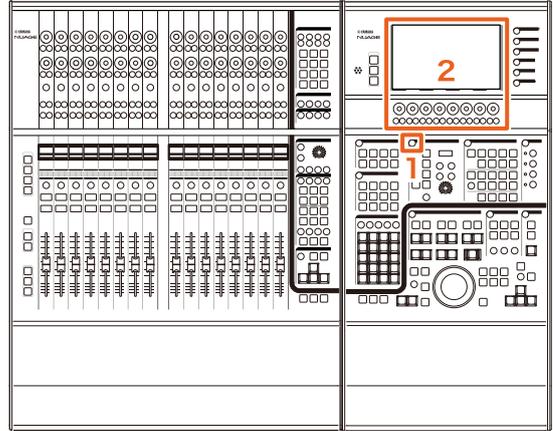
割り当てられているプラグインエフェクトのPLUG-INページを表示します。

CONTROL ROOMページにパラメーターを追加 (Nuage Master)

CONTROL ROOMページで、Click Level、Click Pan、Listen Level、Listen Dimを操作できるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. CONTROL ROOMセクションの[ディスプレイアクセス]を押します。

2. ラベルエリアの表示に対応した[マルチファンクションノブ]でパラメーターを変更します。



NOTE

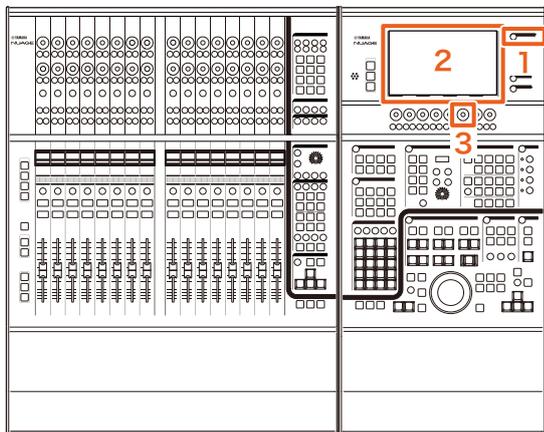
Click LevelとClick Panは、[マルチファンクションボタンA]、[マルチファンクションボタンB]で切り替えます。

プロジェクトファイルの保存に関する設定を追加 (Nuage Master)

GENERAL CONTROLセクションの[SAVE]を押したとき、プロジェクトファイルを上書きするか、新規ファイルとして保存するかを選択できるようになりました。

操作方法

イラスト内、画面内の数字は手順番号を表します。



1. MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[SETUP]を押します。
2. [マルチファンクションディスプレイ]内の「PAGE 3」タブをタッチします。
3. 「Save Button Operation」に対応した[マルチファンクションノブ]でプロジェクトファイルの保存方法を選択します。

Save	プロジェクトファイルを上書き保存
Ver.	プロジェクトファイルを新規ファイルとして保存

NOTE

新規ファイルとして保存されるプロジェクトファイルのファイル名は、元のファイル名に“-01”、“-02”といった枝番が付いたものになります。

Avid Pro Toolsのショートカットキーに対応 (Nuage Master)

Avid Pro ToolsのショートカットキーをNuage MasterのUSER ASSIGNABLEキーに割り当てられるようになりました。

操作方法

画面内の数字は手順番号を表します。



1. Avid Pro Toolsを使用しているMacで、メニューバーの または をクリックします。

NOTE

アイコンが表示されない場合は、TOOLS for NUAGE内のNUAGE PT Bridgeをインストールしてください。

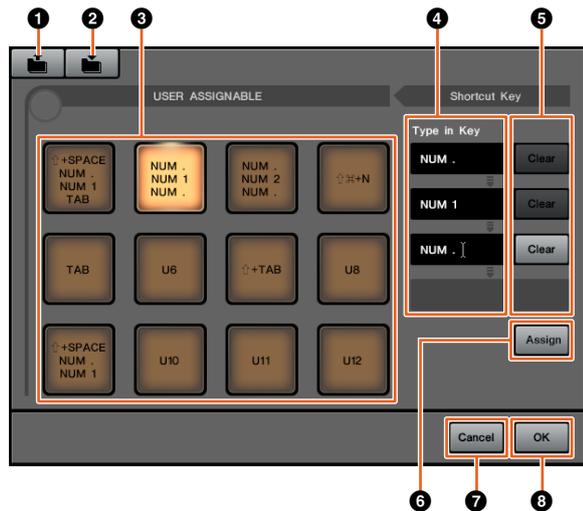
2. 「User Assignable Setup」をクリックします。
3. 画面上の任意のUSER ASSIGNABLEキーをクリックします。
クリックしたキーに割り当てられているショートカットキーが画面の「Shortcut Key」→「Type in Key」欄に表示されます。(ショートカットキーが割り当てられていない場合は、空欄になります。)
4. Type in Key欄に表示されているショートカットキー(または空欄)をクリックし、キーボードのキーを押します。

NOTE

- 1つのUSER ASSIGNABLEキーには最大4つのキーを登録できます。たとえば、[U2]に.(ピリオド)、1、.(ピリオド)、の3つのキーを登録した場合、[U2]を押すと、これらの3つのキーが順次押されたことになり、メモリーロケーション1が呼び出されます。
- ⌘(Command)、⌘(Control)、⇧(Shift)などのキーは、ほかのキーと組み合わせて登録します。
- ショートカットキーに使えないキーを押した場合、「Not Available」と表示され、そのキーは登録されません。

5. 「Assign」ボタンをクリックします。
ショートカットキーの変更が画面上のUSER ASSIGNABLEキーに反映されます。
6. 「OK」をクリックします。
ショートカットキーの変更がNuage MasterのUSER ASSIGNABLEキーに反映されます。

User Assignable Setup画面



1 Open

保存されているショートカットキーの割り当てを読み込みます。

2 Save

ショートカットキーの割り当てを保存します。ショートカットキーの割り当ては".NPTB"ファイルとして保存されます。

3 U1~U12

割り当てられているショートカットキーが表示されます。クリックすると、Type in Key欄に割り当てられているショートカットキーを表示します。

NOTE

このボタンをダブルクリックすると、ボタンに任意の名前を付けることができます。

4 Type in Key

選択中のUSER ASSIGNABLEキーに割り当てられているショートカットキーが表示されます。Type in Key欄に表示されているショートカットキー (または空欄) をクリックし、キーボードのキーを押して、割り当てるショートカットキーを登録します。(「Assign」ボタンをクリックするまで変更は反映されません。)

5 Clear

ショートカットキーの割り当てを消去します。(「Assign」ボタンをクリックするまで変更は反映されません。)

6 Assign

Type in Key欄に表示されているショートカットキーを画面上のUSER ASSIGNABLEキーに反映します。このボタンをクリックすると、画面上のUSER ASSIGNABLEキーの表示が割り当てたショートカットキーに変わります。

7 Cancel

ショートカットキーの変更を破棄します。Nuage MasterのUSER ASSIGNABLEキーの設定は変更されません。

8 OK

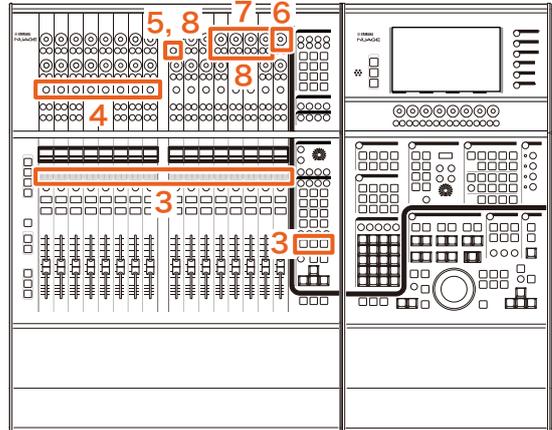
ショートカットキーの変更をNuage MasterのUSER ASSIGNABLEキーに反映します。

Avid Pro Toolsのインサートに対応 (Nuage Fader)

Nuage Faderで、Avid Pro Toolsの「インサート」を操作できるようになりました。任意のチャンネルに「インサート」したり、「インサート」のパラメーターを編集したりできます。

操作方法(インサートの割り当て)

イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. Avid Pro Toolsを使用しているMacで、メニューバーの または をクリックします。

NOTE

アイコンが表示されない場合は、TOOLS for NUAGE内の NUAGE PT Bridgeをインストールしてください。

2. 「Plug-in Panel」 をクリックします。

3. 「インサート」するチャンネルをNuage Faderの CHANNEL STRIPセクション1~8内に移動します。

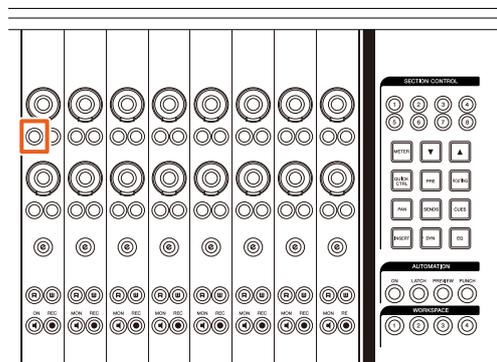
NOTE

複数のNuage Faderを使用している場合、左端のNuage FaderのCHANNEL STRIPセクション1~8を使用します。

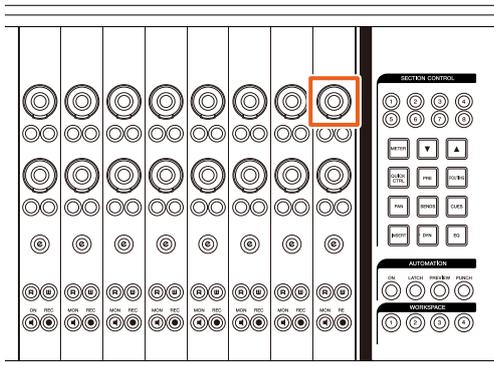
4. 移動した「インサート」対象チャンネルの[e]を押します。

5. 左から9番目の[マルチファンクションボタンA]を押します。

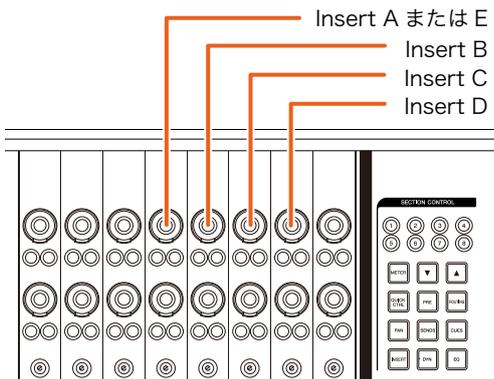
「ASSIGN」が赤く点滅します。



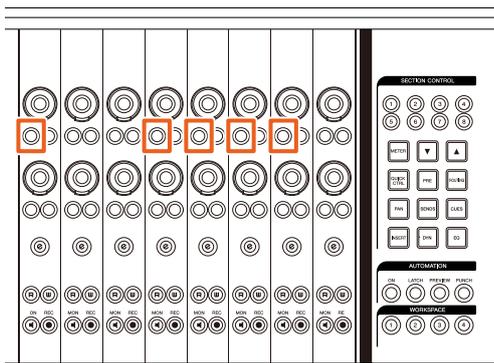
6. Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクションの左から16番目(右端)の[マルチファンクションノブ]を回して、インサート先のグループA-DまたはEを選択します。Plug-in Panel画面に「Insert 1-4」(A-D)または「Insert 5」(E)が表示されます。



7. [マルチファンクションノブ]を回してインサートを選択します。操作する[マルチファンクションノブ]は「インサート」先のスロットによって異なります。

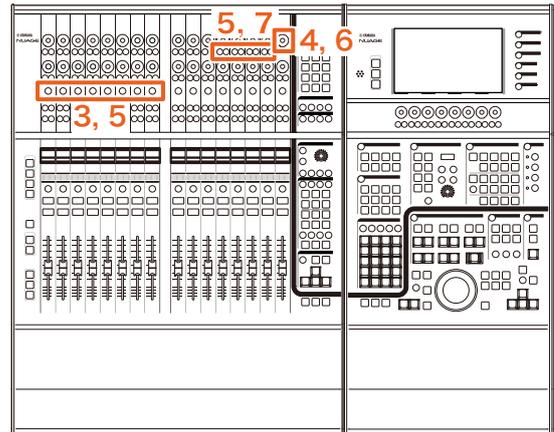


8. 左から9番目または「インサート」したチャンネルに対応する[マルチファンクションボタンA]を押します。選択したインサートが割り当てられます。



操作方法(パラメーターの変更)

イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. Avid Pro Toolsを使用しているMacで、メニューバーのまたはをクリックします。

NOTE

アイコンが表示されない場合は、TOOLS for NUAGE内のNUAGE PT Bridgeをインストールしてください。

2. 「Plug-in Panel」をクリックします。

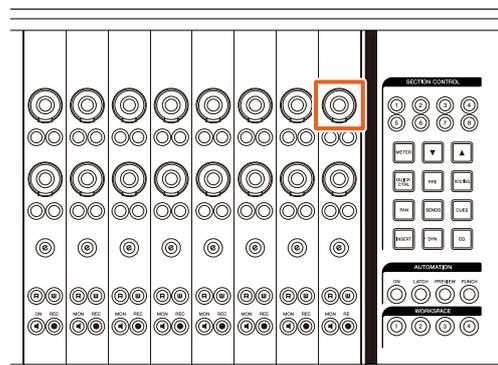
3. パラメーターを変更する「インサート」をAvid Pro Toolsで選択します。

NOTE

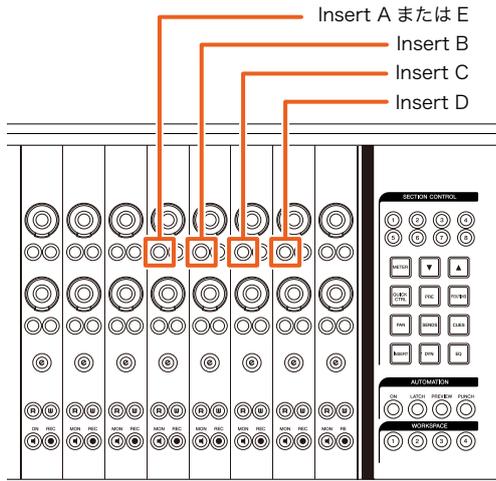
Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクション1~8の[e]でも対象チャンネルを選択できます。

4. Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクションの左から16番目(右端)の[マルチファンクションノブ]を回して、インサート先のグループA-DまたはEを選択します。

Plug-in Panel画面に「Insert 1-4」(A-D)または「Insert 5」(E)が表示されます。



5. パラメーターを変更する「インサート」に対応する[マルチファンクションボタンA]を押します。

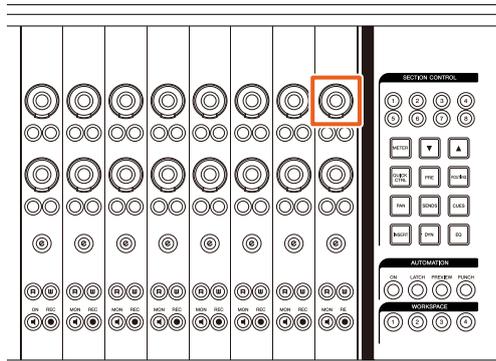


NOTE

手順4、5の代わりに、Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクション1~8の[e]をすばやく2回押すことでも、対応するチャンネルに「インサート」されているプラグインのパラメーターを呼び出すことができます。この場合、[e]をすばやく2回押すたびに対象となるインサートが切り替わります。

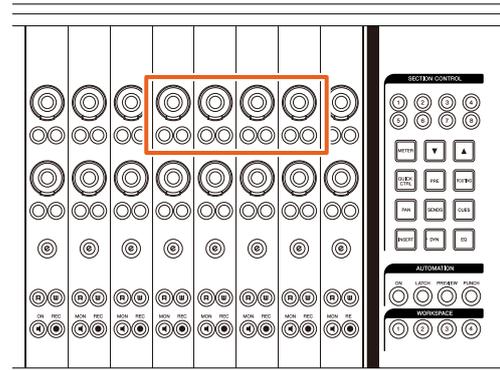
6. Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクションの左から16番目(右端)の[マルチファンクションノブ]を回して、パラメーターを選択します。

同時に4つのパラメーターが表示されます。



7. パラメーターに対応する[マルチファンクションノブ]を回す、または[マルチファンクションボタン]を押してパラメーターの値を変更します。

変更した値は即時適用されます。



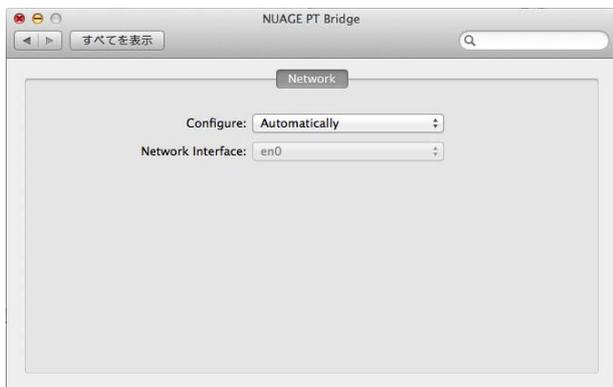
NOTE

- 左から10番目の[マルチファンクションボタンA]を押すと、パラメーター編集前と比較することができます。もう一度押すと、変更後の状態に戻ります。
- 左から11番目の[マルチファンクションボタンA]を押すと、「インサート」をバイパスすることができます。もう一度押すと、バイパスオフの状態に戻ります。

NUAGE PT Bridgeの画面の表示方法を追加/変更 (NUAGE PT Bridge)

従来、コンピューターの[システム環境設定]で表示していた下記の画面の表示方法を追加/変更しました。

Network画面



操作方法

1. Avid Pro Toolsを使用しているMacで、メニューバーの  または  をクリックします。

NOTE

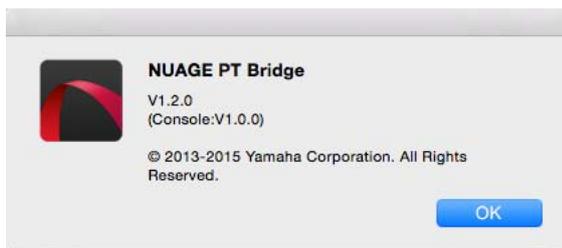
アイコンが表示されない場合は、TOOLS for NUAGE内のNUAGE PT Bridgeをインストールしてください。

2. 「Network Setup」をクリックします。

NOTE

従来の[システム環境設定]→[NUAGE PT Bridge]でも表示できます。

About画面



操作方法

1. Avid Pro Toolsを使用しているMacで、メニューバーの  または  をクリックします。

NOTE

アイコンが表示されない場合は、TOOLS for NUAGE内のNUAGE PT Bridgeをインストールしてください。

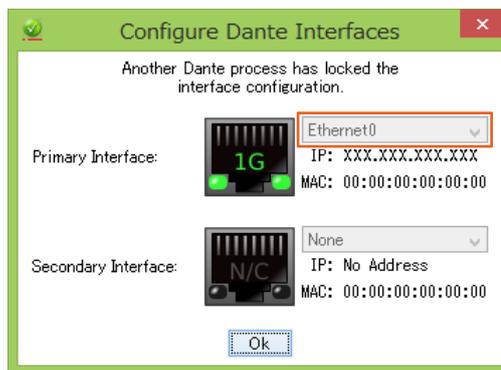
2. 「About」をクリックします。

Danteネットワークインターフェースのロック機能を追加 (Nuage I/O)

NuendoまたはCubase起動中にDanteネットワークインターフェースが変更されないようにロックする機能を追加しました。

NOTE

NuendoまたはCubase起動中は、Dante Controllerのインターフェース選択のリストはグレー表示になり、選択できなくなります。

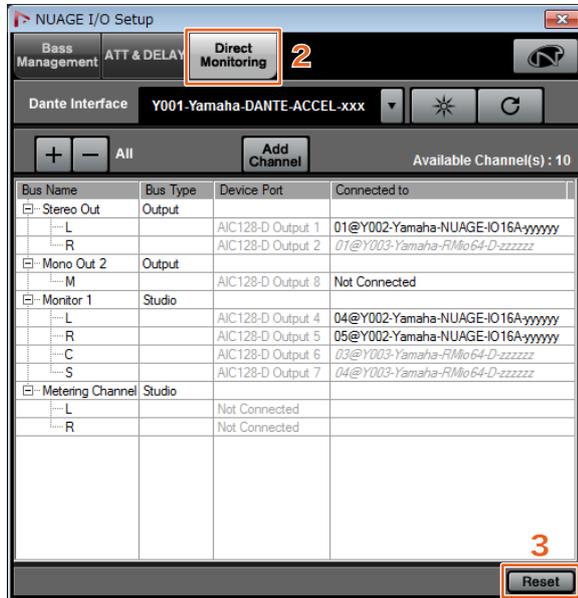


ダイレクトモニタリングの設定を初期化する機能を追加 (Nuage I/O)

Nuage I/Oのダイレクトモニタリングの設定を初期化できるようになりました。

操作方法

画面内の数字は手順番号を表します。



1. NuendoまたはCubaseメニューの「デバイス」→「NUAGE I/O Setup」をクリックします。
2. 「Direct Monitoring」タブをクリックします。
3. 「Reset」をクリックします。

ダイレクトモニタリングの設定が初期化され、以下の優先順位で自動的にバスが設定されます。

優先順位1	Control Roomのバス
優先順位2	Outputsのバス

NUAGE V1.6で追加された機能

Cubase Pro 8に対応 (Nuage Master、Nuage Fader)	85
Nuage I/O SetupのDirect Monitoring画面を更新 (Nuage I/O)	87
ステレオパンナーの切り替え機能を追加 (Nuage Fader)	87
チャンネルストリップにパラメーターを追加 (Nuage Fader)	88
チャンネルセッティングモードのパラメーター切り替えに対応 (Nuage Fader)	88
選択範囲でイベントを分割するショートカットを追加 (Nuage Master)	88
インサートの一括バイパス機能追加 (Nuage Fader)	89
ダイナミクスの一括バイパス機能追加 (Nuage Master)	89
複数のAvid Pro Tools切り替えに対応 (NUAGE Workgroup Manager)	89
RMio64-Dのリモートコントロールに対応 (NUAGE Workgroup Manager)	90
マーカージャンプ機能のポップアップをリスト表示に変更 (Nuage Master)	91
プロジェクトカーソル位置の指定方法を追加 (Nuage Master)	91
プロジェクト再生中の[ジョグホイール]有効/無効選択機能を追加 (Nuage Master)	92

Cubase Pro 8に対応 (Nuage Master、Nuage Fader)

Cubase Pro 8に対応しました。以下の新機能にも対応しています。

VCA Fader

VCA Faderの表示/非表示をCHANNEL CONTROLセクションの[OTHERS]で切り替えられます。

DeEsser

Nuage FaderやNuage Masterで、DeEsserのパラメータを操作できるようになりました。

(下記はNuage Masterの画面です。)



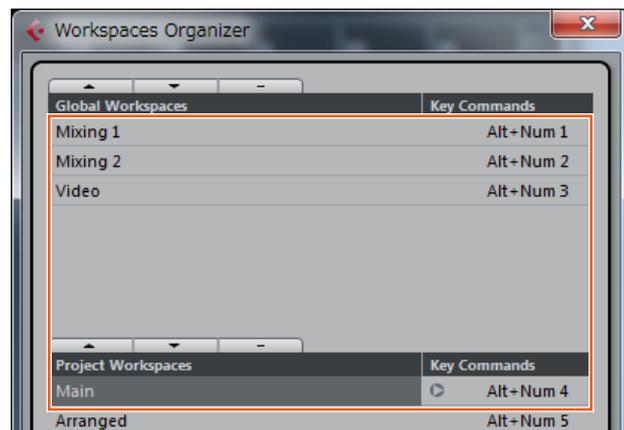
プラグインマネージャー

コレクションを作成して選択している場合、選択しているコレクション内のプラグインエフェクトだけが「インサート」選択時のリストに表示されます。

Nuage Masterの[マルチファンクションディスプレイ]では、表示されるフォルダー構造が2階層までに制限され、2階層目以下のプラグインエフェクトは、すべて2階層目に表示されます。

ワークスペース拡張

Nuage FaderのWORKSPACEセクションから呼び出せる「ワークスペース」は、「ワークスペースオーガナイザ」に表示される「ワークスペース」の内、上から4つめまでです。たとえば「グローバルワークスペース」が3つ、「プロジェクトワークスペース」が2つある場合は、上から「グローバルワークスペース」3つと「プロジェクトワークスペース」1つが[WORKSPACE 1]~[WORKSPACE 4]に割り当てられます。



ハイカット、ローカットのフィルター スロープ

- Nuage Faderのチャンネルストリップから「ハイカット」や「ローカット」のスロープを操作できます(88ページ)。
- Nuage MasterのCHANNEL CONTROL — MAINページで下記のパラメータを操作できます。



① BYP

インプットフィルターの「バイパス」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

② プリセット

インプットフィルターのプリセットを選択する画面を開きます。

③ フィルタースロープ設定

「ハイカット」「ローカット」それぞれのフィルタースロープを選択します。

- Nuage Master、Nuage Faderの各EQグラフがフィルタースロープに対応しました。

CHANNEL CONTROL — EQページ



チャンネルストリップ



チャンネルセッティングモード



MIDIセンドのプリフェーダー / ポストフェーダー切り替え

Nuage MasterのCHANNEL CONTROL — SENDSページ
で下記のパラメーターを操作できます。



PRE

MIDIチャンネルの「プリフェーダー」「ポストフェーダー」
を切り替えます。[マルチファンクションボタンB]でも同様に
切り替え可能です。

MIDIイベントのトラックへの記録

Nuage MasterのCHANNEL CONTROL — INSERTページ
で下記のパラメーターを操作できます。



① MIDI/Audio (インストールトラック表示時のみ)
プラグインの種類を切り替えます。MIDIイベントをトラック
に記録するときは、「MIDI」を選択してください。

② ● (Record Output to Track)

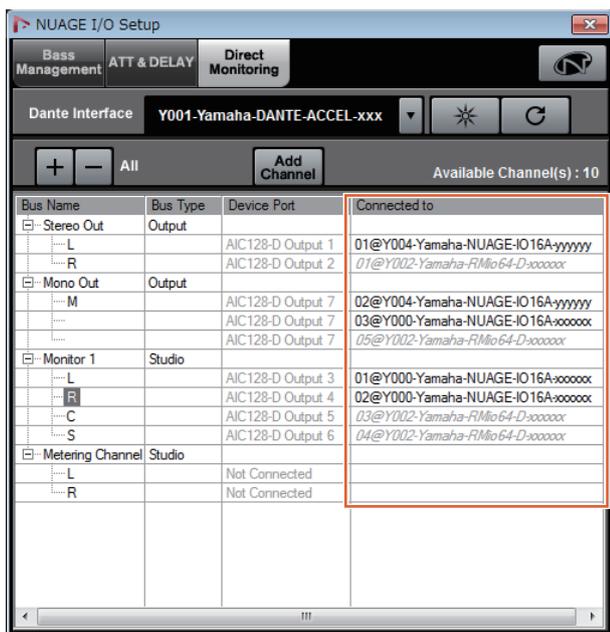
MIDIイベントの記録先としてMIDIトラックまたはインス
トルメントトラックを選択(点灯)/選択解除(消灯)します。

Nuage I/O SetupのDirect Monitoring画面を更新 (Nuage I/O)

NUAGE I/O SetupのDirect Monitoring画面にダイレクトモニタリングの対象となっている出力バスの接続先が表示されるようになりました。使用可能なNuage I/Oのポートが「Connected to」に表示されます。

NUAGE I/O Setup画面を開くには、Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE I/O Setup」をクリックします。

NUAGE I/O Setup — Direct Monitoring画面



NOTE

- Dante Acceleratorの1つの出力ポートが複数のNuage I/Oのポートに接続されている場合は、対象となるポートは縦に並んで表示されます。
- NUAGE Workgroupに含まれていないNuage I/Oは、グレーの斜体で表示され、ダイレクトモニタリングの対象になりません。
- Nuage I/Oと同じ出力バスにアサインされているRMio64-Dは、ダイレクトモニタリングの有効/無効に関わらずグレーの斜体で表示されます。RMio64-Dのダイレクトモニタリングについては、RMio64-D取扱説明書をご参照ください。
- Nuage I/Oからの入力とRMio64-Dからの入力がミックスされて同じNuage I/Oのポートにダイレクトモニタリング出力される場合は、Nuage I/Oからの入力だけが出力されます。

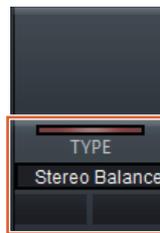
ステレオパンナーの切り替え機能を追加 (Nuage Fader)

Nuage Faderでステレオパンナーのタイプを切り替えられるようになりました。

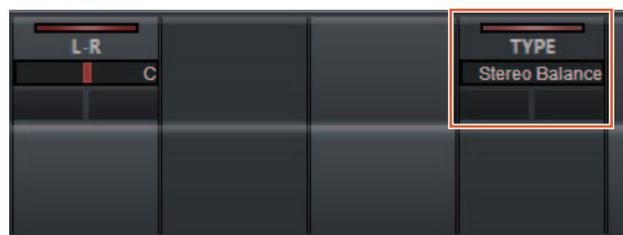
操作方法

- SECTION CONTROLセクションの[PAN]を押します。
- (チャンネルストリップ表示のみ) [サブパラメーター 2]を押します。
ラベルエリアにステレオパンナーのタイプが表示されます。
- 画面に対応する[マルチファンクションノブ]を押します。
ステレオパンナーを選択するためのポップアップが表示されます。
- [マルチファンクションノブ]を回して、ステレオパンナーのタイプを選択します。
- もう一度[マルチファンクションノブ]を押して、選択を確定します。

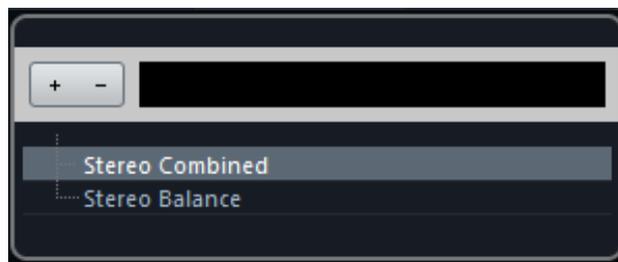
チャンネルストリップ



チャンネルセッティングモード



ポップアップ



チャンネルストリップにパラメーターを追加 (Nuage Fader)

チャンネルストリップでHC SLOPE、LC SLOPE、GAIN、 ϕ (PHASE)、HA HPF、HA +48Vを操作できるようになりました。

また、サブパラメーター 2にアサインされていたHA GAIN、HA GCをサブパラメーター 4に移動しました。

操作方法

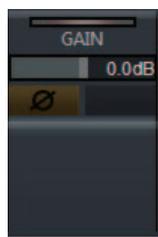
1. SECTION CONTROLセクションの[PRE]を押します。
2. [サブパラメーター 2]~[サブパラメーター 5]のどれかを押します。
ラベルエリアに下記のパラメーターが表示されます。
3. 画面に対応する[マルチファンクションノブ]や[マルチファンクションボタン]でパラメーターを操作します。

サブパラメーター2



HC SLOPE、LC SLOPE

サブパラメーター3



GAIN、 ϕ (PHASE)

サブパラメーター4



HA GAIN、HA GC
(Rio3224-D/Rio1608-D
リモートコントロール時)

HA GAIN、HA TRIM
(AD8HRリモートコントロール時)

サブパラメーター5



HA HPF、HA +48V
(HAリモートコントロール時)

チャンネルセッティングモードの パラメーター切り替えに対応 (Nuage Fader)

チャンネルセッティングモードでも、サブパラメーターを切り替えてパラメーターを操作できるようになりました。

NOTE

現在対象となっているのは、

- DeEsser (Cubase Pro 8以降)
 - Envelope Shaper
- の「ダイナミクス」2種類のみです。

操作方法

チャンネルセッティングモードで表示されているチャンネルの「ダイナミクス」にDeEsserまたはEnvelope Shaperが選ばれている状態で

1. SECTION CONTROLセクションの[DYN]を押します。
2. [サブパラメーター 2]を押します。
ラベルエリアのパラメーター表示が切り替わります。
3. 画面に対応する[マルチファンクションノブ]や[マルチファンクションボタン]でパラメーターを操作します。

選択範囲でイベントを分割する ショートカットを追加 (Nuage Master)

Nuage Masterのショートカットを使って、選択範囲でイベントを分割できるようになりました。

操作方法

1. Nuendoのプロジェクトウィンドウで、トラック上の分割したい範囲を範囲選択ツールを使って選択します。
2. MODIFIERセクションの[SHIFT]を押したままJOG WHEELセクションの[SPLIT]を押します。
選択範囲でイベントが分割されます。

インサートの一括バイパス機能追加 (Nuage Fader)

選択しているチャンネルの「インサート」のバイパスを一括してオン/オフできるようになりました。

操作方法

1. SECTION CONTROLセクションの[INSERT]を押します。
ラベルエリアに「INSERTS」が表示されます。
2. 画面に対応する[マルチファンクションボタンA]を押して「インサート」のバイパスのオン/オフを切り替えます。

チャンネルストリップ



チャンネルセッティングモード



NOTE

チャンネルセッティングモード時に[サブパラメーター 1]~[サブパラメーター 8]を押すと、対応するスロットに割り当てられている「インサート」の画面が開きます。同じボタンをもう一度押すと、画面が閉じます。

2つのチャンネルをチャンネルセッティングモードで表示しているときは、この機能は無効です。

ダイナミクスの一括バイパス機能追加 (Nuage Master)

選択しているチャンネルの「ダイナミクス」のバイパスを一括してオン/オフできるようになりました。

操作方法

1. ダイナミクスをオン/オフするトラックを選択します。
2. MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[DYNAMICS]を押します。
[マルチファンクションディスプレイ]にCHANNEL CONTROL — DYNページが表示されます。
3. 画面上の[BYP]をタッチして「ダイナミクス」のバイパスのオン/オフを切り替えます。

CHANNEL CONTROL — DYNページ

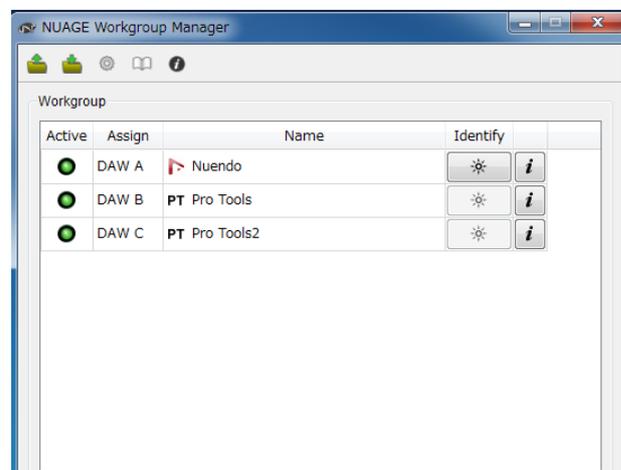


複数のAvid Pro Tools切り替えに対応 (NUAGE Workgroup Manager)

Workgroupに1つしか登録できなかったAvid Pro Toolsを2つまで登録できるようになりました。

NOTE

Avid Pro Toolsの設定は、Nuage MasterまたはNuage Faderのオペレーションマニュアルをご参照ください。



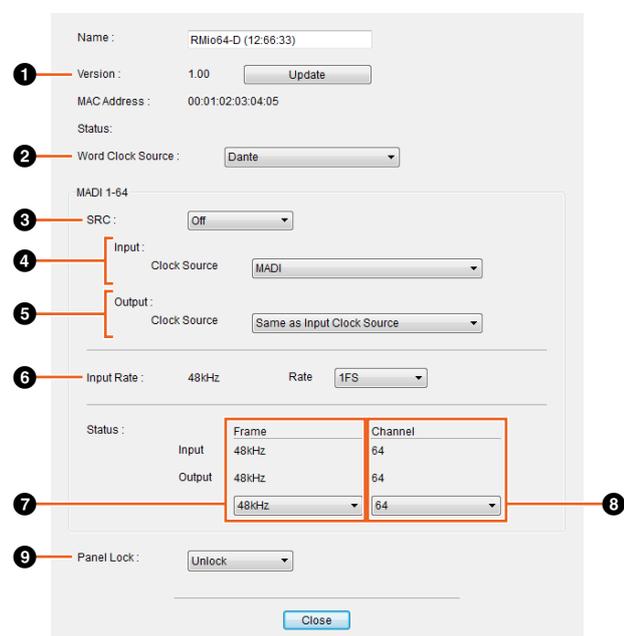
RMio64-Dのリモートコントロールに対応 (NUAGE Workgroup Manager)

Dante/MADI変換オーディオインターフェース RMio64-DをNUAGE Workgroup Managerからリモートコントロールできるようになりました。

NOTE

- リモートコントロールするには、対象のRMio64-DがNUAGE Workgroup内でActiveになっている必要があります。
- 各パラメーターを変更した時点でRMio64-D本体に反映されます。
- Workgroupには、Nuage I/OとRMio64-Dを合わせて8台まで登録できます。

RMio64-D — Property画面



コントロールできるパラメーターは次のとおりです。

1 Version

RMio64-D本体のファームウェアバージョンが表示されます。「Update」をクリックすると、本体のファームウェアをアップデートできます。

2 Word Clock Source

RMio64-D本体のワードクロックソースをDante/WCLK IN/MADIから選択します。

3 SRC

MADIのSRC (Sampling Rate Converter)のOff/Onを切り替えます。

4 Input Clock Source

SRC入力のワードクロックソースをMADI/WCLK IN for SRCから選択します。

5 Output Clock Source

SRCがオンのときのMADIの出力信号のワードクロックソースを選択します。

Same as Input Clock Source	MADIの出力信号は、MADIの入力信号に同期します。
----------------------------	-----------------------------

Same as Word Clock Source	MADIの出力信号は、RMio64-D本体の動作クロックに同期します。
---------------------------	-------------------------------------

6 Input Rate

MADIの入力周波数に合わせて1Fs (1倍)/2Fs (2倍)/4Fs (4倍)を選択します。たとえばMADIの入力信号が192 kHz (48 kHzの4倍)のときは「4Fs」を選択します。

7 MADI Output Frame

MADIの出力信号のフレーム周波数を選択します。選択した値と実際に動作している周波数は異なる場合があります。たとえば、設定が「96kHz」の場合で、実際に動作している周波数が「48kHz」のときは「96kHz >> 48kHz」と表示されます。

Same as Input	MADIの入力信号と同じフレーム周波数で出力します。
---------------	----------------------------

48kHz	44.1 kHzまたは48 kHzで出力します。
-------	--------------------------

96kHz	88.2 kHzまたは96 kHzで出力します。
-------	--------------------------

8 MADI Output Channel

MADIの出力信号のチャンネル数を選択します。選択した値と実際に動作しているチャンネル数は異なる場合があります。たとえば、設定が「64」の場合で、実際に使用できるチャンネル数が「56」のときは「64 >> 56」と表示されます。

Same as Input	MADIの入力信号と同じチャンネル数で出力します。
---------------	---------------------------

64	64チャンネルで出力します。
----	----------------

56	56チャンネルで出力します。
----	----------------

9 Panel Lock

RMio64-D本体のパネル操作のUnlock/Lockを切り替えます。

SRCオン時のMADIの出力信号

Input Clock Source	Output Clock Source	MADIの出力信号
MADI	Same as Input Clock Source	MADIの入力信号に同期
MADI	Same as Word Clock Source	RMio64-D本体の動作クロックに同期
WCLK IN for SRC	Same as Input Clock Source	WCLK IN for SRCから入力されるワードクロックに同期
WCLK IN for SRC	Same as Word Clock Source	RMio64-D本体の動作クロックに同期

マーカージャンプ機能のポップアップをリスト表示に変更 (Nuage Master)

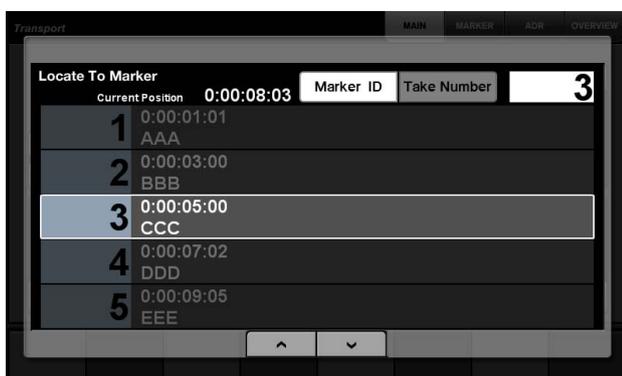
マーカージャンプ機能やサイクルマーカージャンプ機能のポップアップがリスト表示になりました。入力した「マーカーID」を中心に前後のマーカーが表示されます。

操作方法

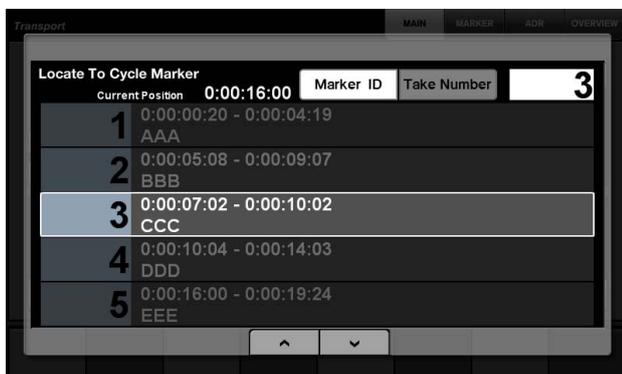
1. NUMERIC PADセクションの[MARKER]を押します。
2. [0]~[9]、[BACK SPACE]、[CLEAR]、[PREV -]、[NEXT +]、[CYCLE .]、[ENTER]のどれかを押しします。

[マルチファンクションディスプレイ]に次のポップアップが表示されます。

マーカー機能ポップアップ



サイクルマーカー機能ポップアップ



NOTE

- 画面下部の [] で画面をスクロールできます。
- CubaseにはADR機能がないため、Marker ID/Take Numberは画面に表示されません。

プロジェクトカーソル位置の指定方法を追加 (Nuage Master)

TRANSPORTページで「プロジェクトカーソル」の位置を指定するとき、時、分、秒などの単位ごとに数字を入力できるようにしました。

設定

SETUPページ PAGE 3の「Numeric Pad Input」で入力方法を切り替えます。

SETUPページ — PAGE 3



Left 時、分、秒などの単位ごとに数字を入力

Right 従来の入力方法(テキスト入力)

NOTE

この設定を変えると、ロケート機能の入力方法も一緒に切り替わります。

操作方法

1. TRANSPORTセクションの[ディスプレイアクセス]を押します。
2. NUMERIC PADセクションの[PARAM]を押します。
3. 画面上の「Time Display」をタッチします。
4. NUMERIC PADセクションの各キーを使って、プロジェクトカーソルの位置を入力します。

TRANSPORT — MAINページ



プロジェクト再生中の[ジョグホイール] 有効/無効選択機能を追加 (Nuage Master)

プロジェクト再生中の[ジョグホイール]操作を無効にできるようになりました。これにより、再生中のプロジェクトカーソルの誤操作を防げます。

設定

SETUPページ PAGE 3の「JOG Operation during Playback」で入力方法を切り替えます。

SETUPページ — PAGE3



-
- | | |
|-----|-------------------------------|
| On | プロジェクト再生中の[ジョグホイール]操作を有効にします。 |
| Off | プロジェクト再生中の[ジョグホイール]操作を無効にします。 |
-

NUAGE V1.5で追加された機能

Rシリーズ(Dante対応 I/Oラック)のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader).....	94
クイックコントロール設定画面を 追加 (Nuage Master)	94
VSTインストゥルメント操作に対応 (Nuage Master)	95
ドラッグによる画面スクロールを 追加 (Nuage Master)	95
トラックの表示/非表示機能に対応 (Nuage Master).....	96
スーパーファインモードを追加 (Nuage Master、Nuage Fader)	96
センドのパニングに対応 (Nuage Master).....	96
Nuendo6.5の追加プラグインに 対応 (Nuage Master、Nuage Fader)	97
Nuendo6.5のADR機能追加に対応(Nuage Master)	97
ダイレクトモニタリングの設定を 追加 (Nuage I/O)	97
Avid Pro Toolsで使用するEthernetポートの選択機能を追加 (NUAGE PT Bridge)	98
その他の機能追加 (Nuage Master).....	98

Rシリーズ(Dante対応 I/Oラック)のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader)

Rシリーズ(Rio3224-D、Ri8-Dなど)のHAゲインをコントロールできるようになりました。

- SECTION CONTROLセクションの[PRE]を押したあと、[サブパラメーター 2]を押すと、Rシリーズを接続したインプットチャンネルの「HA GAIN」と「HA GC」を[マルチファンクションノブ]で操作できます。
- Rシリーズを接続したインプットチャンネルの[e](エディット)を押したあと、SECTION CONTROLセクションの[PRE]を押すと、[e]を押したチャンネルの「HA GAIN」、「HA GC」、「HA HPF」、「HA +48V」を[マルチファンクションノブ]で操作できます。



ステレオやサラウンドなど、複数のチャンネルで構成される入力バスをアサインしている場合、Nuendoの「VSTコネクション」でバス構成の一番上に表示されるチャンネル(ステレオの場合は「左」)のパラメーターが表示されます。

Nuage Faderで設定された値が、そのバスのすべてのチャンネルに適用されます(「左」(チャンネル)の設定が画面上に表示されていない「右」(チャンネル)にも適用されます)。バスを構成するチャンネルの値が一致していない場合、パラメーターの後に「*」が付きます。(「HA GAIN*」など)

操作	機能
「HA GAIN」	HAゲインを調節します。
「HA GC」	ゲインコンペーンションをオン/オフします。
「HA HPF」	ハイパスフィルターをオン/オフします。フィルター周波数(20~600 Hz)も変更できます。
「HA +48V」	+48 Vファンタム電源をオン/オフします。オンにするには[マルチファンクションボタンA]を長押しします。

Rシリーズの設定

Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE HA Remote Setup」をクリックして設定画面を開き、使用するDante Acceleratorを設定を設定します。

クイックコントロール設定画面を追加 (Nuage Master)

チャンネルに割り当てられている「クイックコントロール」のパラメーターを[マルチファンクションディスプレイ]で編集できるようになりました。

CHANNEL CONTROL — QUICK CONTROLページ



① (Nuendo)

Nuendoの「チャンネル設定」画面を開きます。もう一度押すと閉じます。

② パラメーター

選択しているチャンネルに割り当てられている「クイックコントロール」のパラメーターを表示します。各パラメーターの値は画面をドラッグするか、対応する[マルチファンクションノブ]を使って変更できます。

VSTインストゥルメント操作に対応 (Nuage Master)

CHANNEL CONTROLページでインストゥルメントトラック上のVSTインストゥルメントを操作できるようになりました。

CHANNEL CONTROL — MAINページ



① インストゥルメント

インストゥルメント選択画面を表示します。

② Ch (チャンネル)

MIDIチャンネル選択画面を表示します。

③ e (エディット)

INSTページ(下記)を表示します。

CHANNEL CONTROL — INSTページ



① (Nuendo)

「VSTインストゥルメント」画面を開きます。もう一度押すと閉じます。

② 戻る

MAINページに戻ります。

③ オン/オフ

VSTインストゥルメントをオン(点灯)/オフ(消灯)します。

④ R (リード)

「オートメーション読込」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

⑤ W (ライト)

「オートメーション書込」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

⑥ VSTインストゥルメント名/ライブラリー名

選択しているインストゥルメント、ライブラリーが表示されます。

⑦ パラメーター

任意のパラメーターをタッチすると、そのパラメーターを[マルチファンクションノブ]で操作できます。[マルチファンクションボタンB]を押すと、パラメーターの値をロックします。もう一度押すと、ロックを解除します。

⑧ ライブラリー

ライブラリー選択画面を表示します。

⑨ アップ/ダウン

パラメーターをスクロールします。

ドラッグによる画面スクロールを追加 (Nuage Master)

[マルチファンクションディスプレイ]に収まりきらないリストなどがあるとき、ドラッグして画面をスクロールできるようになりました。

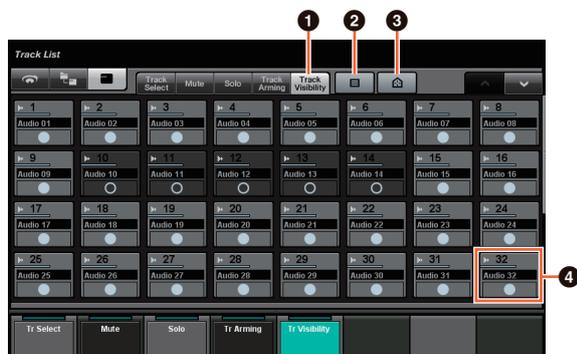
スクロール可能な画面が表示されているとき、MODIFIERセクションの[CTRL]を押すと、画面に矢印が表示されます。矢印の方向にドラッグすると、画面がスクロールします。



トラックの表示/非表示機能に対応 (Nuage Master)

Nuendo 6.5の「任意のトラックの表示/非表示」が行なえるようになりました。大規模プロジェクトでの作業効率を大幅に改善できます。

TRACK LISTページ — Track Visibilityビュー



① Track Visibility

Track Visibilityビューに切り替えます。

② Filter Track Types (トラックタイプをフィルター)

フィルターを使って表示させたいトラックタイプのみ選択できます。

③ Track Visibility Agents (トラック表示エージェント)

トラック表示/非表示機能のコマンドリストを表示します。

④ トラック

トラックを表示(点灯)/非表示(暗点灯)します。非表示にしたトラックは、TRACK LISTページの各ビューで操作できなくなります。

スーパーファインモードを追加 (Nuage Master、Nuage Fader)

CHANNEL STRIPのパラメーターを従来よりも細かく調節できるスーパーファインモードを追加しました。

マルチファンクションノブを押している状態(ファインモード)でMODIFIER SECTIONの[SHIFT]を押すと、[SHIFT]を押している間スーパーファインモードになります。

スーパーファインモード中は、ファインモードよりも([マルチファンクションノブ]で)パラメーターを細かく調節できます。

[SHIFT]を離すと、ファインモードに戻ります。

センドのパンニングに対応 (Nuage Master)

チャンネルの「センド」パンを設定できるようになりました。

CHANNEL CONTROL — SENDSページ



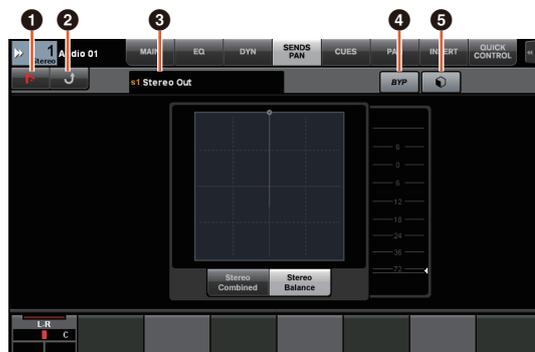
① LP (Link Panners)

「パンのリンク(Link Panners)」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

② SENDS PAN

該当するスロットのSENDS PANページ(下記)を表示します。

CHANNEL CONTROL — SENDS PANページ



① (Nuendo)

Nuendoの「チャンネル設定」画面を開きます。もう一度押すと閉じます。

② 戻る

SENDSページに戻ります。

③ 出力先

スロット番号と出力先を表示します。

④ BYP (バイパス)

「バイパス」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

⑤ ライブラリー

ライブラリー選択画面を表示します。

Nuendo6.5の追加プラグインに対応 (Nuage Master、Nuage Fader)

SECTION CONTROLセクションで[DYN]を選択してNuendo 6.5で追加されたプラグイン(Magneto II)のパラメーターを操作できるようになりました。

また、Noise Gateのパラメーターが操作できるようになりました。

(下記はNuage Masterの画面です。)



Nuendo6.5のADR機能追加に対応(Nuage Master)

Nuendo 6.5で強化されたADRの機能追加に対応しました。

TRANSPORT — ADRサブページ



① Free Run

Free Runモードのオン/オフを操作します。

User AssignableタブのADRでは、U8がFree Runに固定されます。

また、UserAssignボタンの初期設定に以下の機能を追加しました。

② U3: Mute Guide CR (Control Roomのガイドトラックのオン/オフ)

③ U7: ADR Status (ADR Status Indicatorのオン/オフ)

TRANSPORTセクション

ADRモードのとき、TRANSPORTセクションのボタンの機能が変わりました。

[PREROLL]

Free Runモード中のPre Rollのオン/オフを切り替えます。Free Run以外のモードでは機能しません。

[POSTROLL]

Free Runモードのオン/オフを切り替えます。

ダイレクトモニタリングの設定を追加 (Nuage I/O)

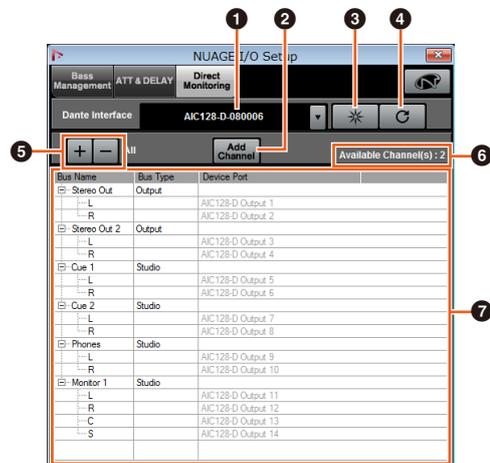
NUAGE I/O Setupで、ダイレクトモニタリングの対象となる出力を選択できるようになりました。

NUAGE I/O Setup画面を開くには、Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE I/O Setup」をクリックします。

NOTE

- ダイレクトモニタリングの対象は最大16チャンネルです。16を越えるチャンネルが割り当てられているバスは選択できません。
- NuendoのControl Roomのモニターバスは1つだけダイレクトモニタリングの対象にできません。

NUAGE I/O Setup — Direct Monitoring画面



① Dante Interface (ダンテインターフェース)

DAWが使用しているDante Acceleratorを指定します。

② Add Channel (アドチャンネル)

ダイレクトモニタリングの対象となる出力バスを追加します。

③ Identify (アイデンティファイ)

「Dante Interface」で指定しているDante Acceleratorを探すときに使用します。「Identify」をクリックすると、対象となるDante AcceleratorのすべてのLEDが同時に数秒間点滅し、自動で止まります。

④ Refresh (リフレッシュ)

ダイレクトモニタリングチャンネルリストを最新の状態に更新します。

⑤ +/- (チャンネルの表示/非表示)

バスに割り当てられているチャンネルを表示(+)/非表示(-)します。

⑥ 追加可能なダイレクトモニタリングのチャンネル数

使用可能なダイレクトモニタリングチャンネル数を表示します。

⑦ ダイレクトモニタリングのチャンネルリスト

ダイレクトモニタリングの対象となっている「Bus Name」(バス名/チャンネル名)、「Bus Type」(バスタイプ)、「Device Port」(デバイスポート名)を表示します。「Bus Type」はダイレクトモニタリング対象のチャンネルがOutputとStudio (Control Room)のどちらに属するかを示します。また、「Bus Name」で選択したバスを右クリックで表示されるコンテキストメニューから削除できます。

NOTE

ダイレクトモニタリング使用時の注意事項については、下記ウェブサイトをご参照ください。

<http://www.yamahaproaudio.com/>

Avid Pro Toolsで使用するEthernetポートの選択機能を追加 (NUAGE PT Bridge)

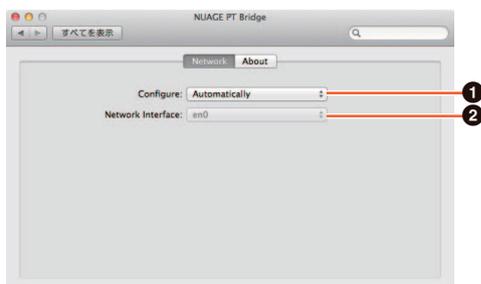
NuageコントローラーをAvid Pro Toolsのコントロールサーフェスとして使用する場合は、NUAGE PT Bridgeの設定が必要です。

以前のバージョンでは、NUAGE PT BridgeのEthernetポート接続機能が常に自動選択だったため、無線LANを選択してしまうことがありました。

本バージョンでは、より簡単にコンピューター本体のEthernetポートを選択できるように手動選択が追加されました。

Ethernetポートの選択は、コンピューターの[システム環境設定] → [NUAGE PT Bridge]で行ないます。

Network画面



① Configure (コンフィギュア)

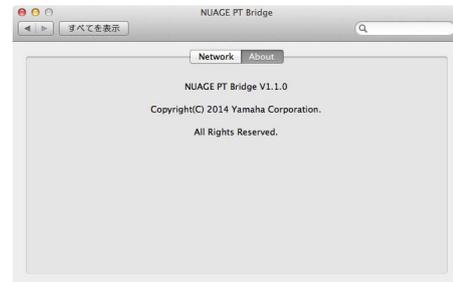
「Network Interface」を自動選択(Automatically)にするか、手動選択(Manually)にするかを選択します。

② Network Interface (ネットワークインターフェース)

NUAGEシリーズと接続するポートを選択します。「Configure」が「Manually」のときに選択可能です。

About画面

NUAGE PT Bridgeの情報を表示します。



その他の機能追加 (Nuage Master)

SETUPページ

設定できる項目が増えたため、3ページに分割しました。

PAGE 1



PAGE 2



Smart Switch Delayで押し続ける時間を調節する各ボタンのうち、[TALK BACK]ボタンとそれ以外のボタンを別々に設定できるようになりました。

また、設定できるパラメーターに「Momentary」が追加されました。Momentaryにすると、押し続ける時間に関係なく、ボタンを押している間だけオンになります。

① Talk Back

COMMUNICATIONセクションの[TALK BACK]の動作を切り替えます。

② Others

[SHUTTLE]、[SCROLL]、[SELECT]、[ZOOM]、[MOVE]、[VOLUME]の動作を切り替えます。

PAGE 3



③ MUTE Button Behavior

チャンネルストリップの[MUTE]の動作を切り替えます。

Continuousにすると、あるチャンネルの[MUTE]を押したまま別のチャンネルの[MUTE]を押したとき、2つのチャンネルの間にあるチャンネルも一括して「ミュート」をオン/オフします。

Toggleにすると、[MUTE]を押したチャンネルだけ「ミュート」をオン/オフします。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ・ 仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。

NUAGE V1.2で追加された機能

Nuage MasterからのAD8HR リモートコントロールに対応 (Nuage Master)	101
EQバンドカーブの表示を追加 (Nuage Master)	101
Nuendoのマーカーカラーに対応 (Nuage Master)	101
マルチファンクションディスプレイ上のパラメーター表示を改善 (Nuage Master)	101
チャンネルストリップからのパンコントロールを改善 (Nuage Fader).....	102

Nuage MasterからのAD8HR リモートコントロールに対応 (Nuage Master)

Nuage MasterからもAD8HRをリモートコントロールできるようになりました。

AD8HRとの接続や設定については「NUAGE V1.1 追補マニュアル」をご参照ください。

CHANNEL CONTROL — MAINページ



操作	機能
「HA GAIN」	ゲインを調節します。
「HA TRIM」	ゲイントリムを調節します。調節するには「マルチファンクションボタンA」を押して、ロックを解除する必要があります。
「HA HPF」	ハイパスフィルターをオン/オフします。フィルター周波数(20~600 Hz)も変更できます。
「HA +48V」	+48 Vファンタム電源をオン/オフします。オンにするには[マルチファンクションボタンA]を長押しします。

EQバンドカーブの表示を追加 (Nuage Master)

EQページに表示されるEQグラフにEQバンドカーブや操作しているバンドのパラメーターが表示されるようになりました。

CHANNEL CONTROL — EQページ

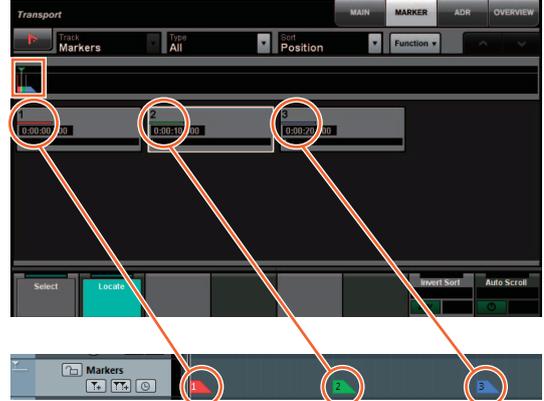
EQバンドカーブ



Nuendoのマーカーカラーに対応 (Nuage Master)

Nuendoでマーカーに設定されたカラーがMARKERページの表示に反映されるようになりました。

TRANSPORT — MARKERページ



Nuendo — マーカートラック

マルチファンクションディスプレイ上のパラメーター表示を改善 (Nuage Master)

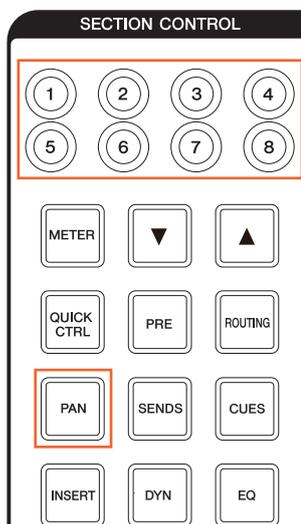
[マルチファンクションノブ]操作時、対象となっているパラメーターの枠をハイライト表示するようになりました。



チャンネルストリップからの パンコントロールを改善 (Nuage Fader)

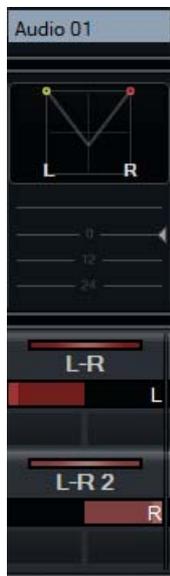
従来チャンネルストリップで操作できなかったパンのパラメーターを、サブパラメーターを切り替えて操作できるようになりました。

SECTION CONTROLセクション



■ ステレオチャンネル(コンバインパン)の場合

サブパラメーター 1

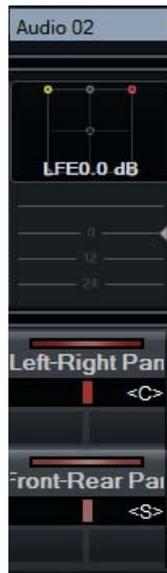


サブパラメーター 2

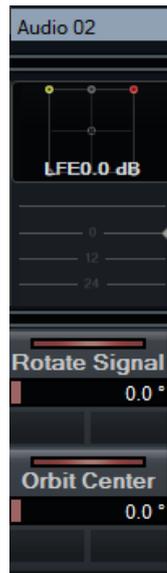


■ サラウンドパンナーの場合

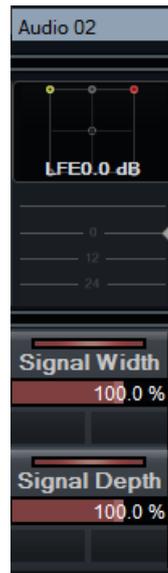
サブパラメーター 1



サブパラメーター 2



サブパラメーター 3



サブパラメーター 4



サブパラメーター 5



サブパラメーター 6



サブパラメーター 7



サブパラメーター 8



NUAGE V1.1で追加された機能

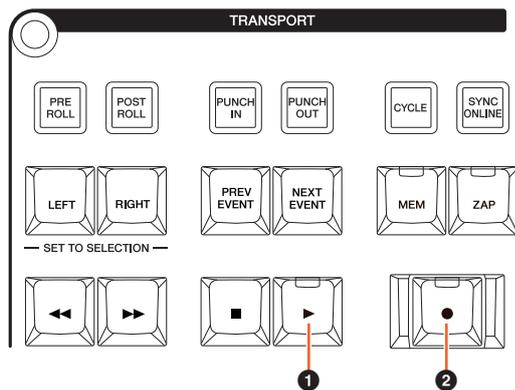
ADRモードを追加 (Nuage Master)	104
USER ASSIGNABLEセクションへの機能の割り当てを追加 (Nuage Master、Nuage Fader)	105
AD8HRのリモートコントロールに対応 (Nuage Fader)	106
[チャンネルネームディスプレイ]の表示機能を追加 (Nuage Fader)	108
チャンネルの表示機能を追加 (Nuage Fader).....	108
トラックの選択方法を追加 (Nuage Master).....	109
ズームに関する操作を追加 (Nuage Master).....	110
編集に関する操作を追加 (Nuage Master).....	111
その他の機能追加 (Nuage Master).....	111

ADRモードを追加 (Nuage Master)

Nuendo 6のADR機能に対応するADRモードを追加しました。

TRANSPORTセクション

[ディスプレイアクセス]を何度か押して「ADRページ」(右図)を表示し、画面上の「Transport Switch」をオン(点灯)にすると、ADRモードに切り替わります。ADRモードに切り替わると、[ディスプレイアクセス]が点滅します。「Transport Switch」をオフ(暗点灯)にすると、ADRモードから戻ります。



① [▶] (Rehearse)

Nuendoの「ADR設定」のオプションに応じてテイクが再生されます。

[■]を押しながら[▶]を押すと、「Review」として機能し、テイクを確認できます。

「Review」実行中はランプが点滅します。

② [●] (Record)

Nuendoの「ADR設定」のオプションに応じてテイクが再生され、吹き替えが録音されます。

「Rehearse」、「Record」、「Review」実行中は、[ジョグホイール]は使用できません。

ADRページ



① Nuendo

Nuendoの「マーカーウィンドウ」を開きます。

② User Assign

オン(点灯)にすると、USER ASSIGNABLEセクションの[U1]~[U12]にADR用の機能を割り当てます。

もう一度押すと、オフ(暗点灯)になります。

NUAGE MASTER SetupのUser Assignable画面「ADR」で割り当てる機能を変更できます。

③ U1~U12

ADR用に割り当てられた機能が表示されます。タッチすると、割り当てられた機能を使用できます。

④ Time Display [PARAM]

「プロジェクトカーソル」の位置を表示/設定します。

⑤ マーカー情報

「マーカー」の情報が表示されます。

⑥ Pre-Roll / Post-Roll

「プリロール」、「ポストロール」の情報が表示されます。

⑦ CUE 1~CUE 4

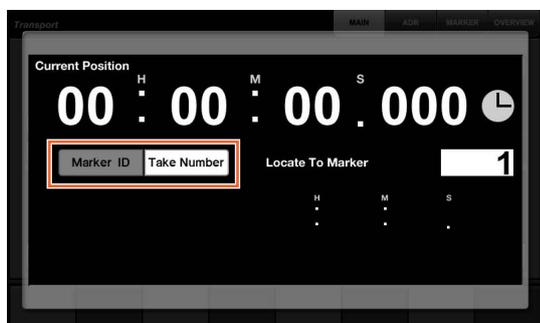
[マルチファンクションノブ]の操作対象となる「キュー」を選択します。

NUMERIC PADセクション



① [MARKER]

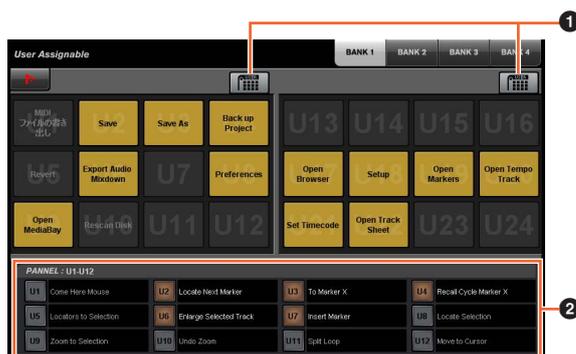
マーカージャンプ機能やサイクルマーカージャンプ機能を使用するためのポップアップが[マルチファンクション画面]に表示されているとき、[MARKER]を押すとマーカの指定方法が、「MARKER ID」と「Take Number」(ADR用)とで切り替わります。「Take Number」の入力待ちのときは、[MARKER]が点滅します。



USER ASSIGNABLEセクションへの機能の割り当てを追加 (Nuage Master、Nuage Fader)

機能の割り当てをコンピューターに保存したり、保存された割り当てを読み込んだりできるようになりました。また、複数のNuage Faderが接続されているとき、Nuage Faderごとに異なる機能を割り当てられるようになりました。

USER ASSIGNABLEページ (Nuage Master)



① User Assign

左の「User Assign」をオン(点灯)にすると、画面のU1～U12に割り当てた機能を、右の「User Assign」をオン(点灯)にすると、画面のU13～U24に割り当てた機能をUSER ASSIGNABLEセクションの[U1]～[U12]に割り当てます。もう一度押すと、オフ(暗点灯)になります。

② PANEL: U1-U12

USER ASSIGNABLEセクションの[U1]～[U12]に割り当てられている機能を表示します。

NUAGE MASTER Setup

NUAGE MASTER Setupの画面を開くには、Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE MASTER Setup」をクリックします。



① Open

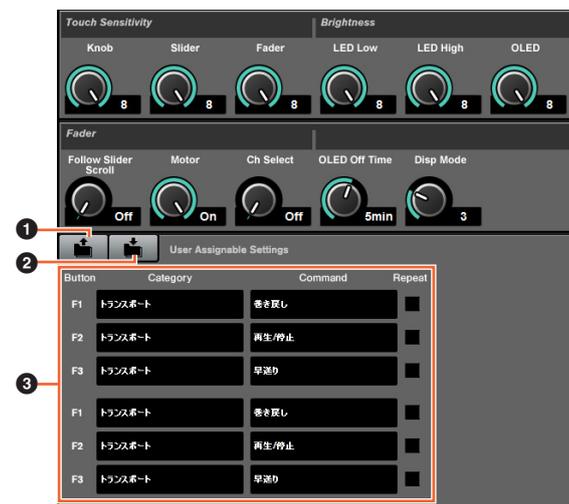
Nuage Masterの機能の割り当てを読み込みます。

② Save

Nuage Masterの機能の割り当てを保存します。機能の割り当てはXML形式(.xml)で保存されます。

NUAGE FADER Setup

NUAGE FADER Setupの画面を開くには、Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE FADER Setup」をクリックします。



① Open

Nuage Faderの機能の割り当てを読み込みます。

② Save

Nuage Faderの機能の割り当てを保存します。機能の割り当てはXML形式(.xml)で保存されます。

③ User Assignable Settings

複数のNuage Faderが接続されているとき、Nuage Faderごとに異なる機能を割り当てます。

AD8HRのリモートコントロールに対応 (Nuage Fader)

概要

Nuage I/Oに接続したAD8HRのゲインをコントロールできるようになりました。

- SECTION CONTROLセクションの[PRE]を押したあと、[サブパラメーター 2]を押すと、AD8HRを接続したインプットチャンネルの「HA GAIN」と「HA TRIM」を[マルチファンクションノブ]で操作できます。
- AD8HRを接続したインプットチャンネルの[e](エディット)を押したあと、SECTION CONTROLセクションの[PRE]を押すと、[e]を押したチャンネルの「HA GAIN」、「HA TRIM」、「HA HPF」、「HA +48V」を[マルチファンクションノブ]で操作できます。



ステレオやサラウンドなど、複数のチャンネルで構成される入力バスをアサインしている場合、Nuendoの「VSTコネクション」でバス構成の一番上に表示されるチャンネル(ステレオの場合は「左」)のパラメーターが表示されます。

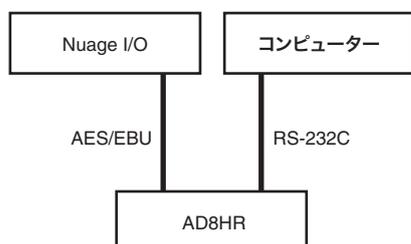
バスを構成するチャンネルの値が一致していない場合、パラメーター名の後に「*」が付きます。(「HA GAIN*」など)

操作	機能
「HA GAIN」	ゲインを調節します。
「HA TRIM」	ゲイントリムを調節します。調整するには、[マルチファンクションボタンA]を押して、ロックを解除する必要があります。
「HA HPF」	ハイパスフィルターをオン/オフします。フィルター周波数(20~600 Hz)も変更できます。
「HA +48V」	+48 Vファンタム電源をオン/オフします。オンにするには[マルチファンクションボタンA]を長押しします。

この機能を使用するには、次の準備が必要です。

- ・ 接続
- ・ シリアルポートの設定
- ・ Nuage I/Oの設定

接続



AD8HRとNuage I/OをAES/EBUで、AD8HRとコンピューターをRS-232Cケーブル(クロス)で接続します。コンピューターにシリアルポートがない場合は、シリアル-USBの変換コネクタを使用してコンピューターのUSBコネクタに接続します。

シリアルポートの設定

コンピューターのシリアルポートを次のように設定します。

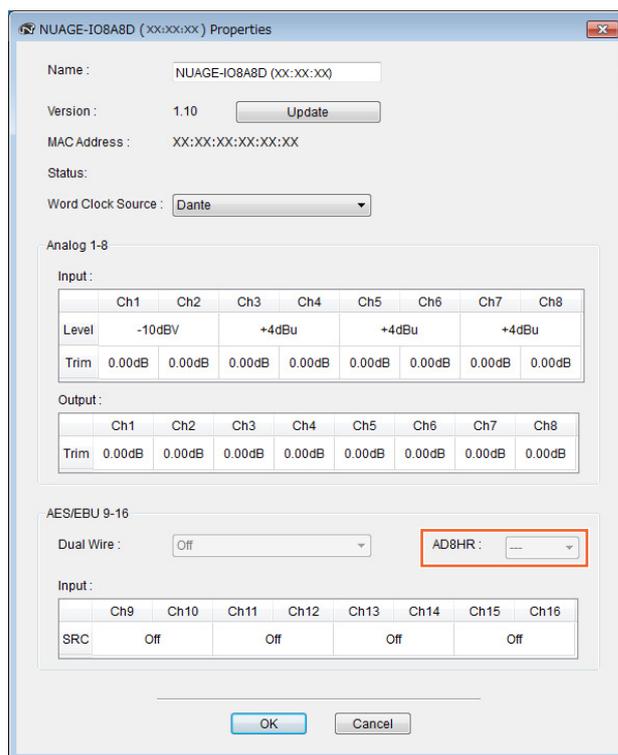
パラメーター	設定値
ビット/秒	38400
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

シリアルポートの設定方法はコンピューターのOSによって異なります。(Window 7の例:「デバイスマネージャ」で該当するシリアルポートを右クリックして「プロパティ」を表示。)

詳細は、OSの取扱説明書をご参照ください。

Nuage I/Oの設定

NUAGE Workgroup Managerで、Nuage I/Oの「Properties」を開き、AD8HRの「ID」を設定します。



AD8HRは、NUAGE HA Remote Setupでも設定できます。NUAGE HA Remote Setupの画面を開くには、Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE HA Remote Setup」をクリックします。

[チャンネル名ディスプレイ]の表示機能を追加 (Nuage Fader)

チャンネルストリップの名前全体をスクロールして表示したり、表示される情報を変更したりできるようになりました。

チャンネルストリップの名前が長くて表示されない部分があるとき、チャンネルストリップを選択するか、[タッチスライダバー]でチャンネルをスクロールすると、選択しているチャンネルストリップの名前全体を1度だけスクロールして表示します。

NUAGE FADER Setup

NUAGE FADER Setupの画面を開くには、Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE FADER Setup」をクリックします。



① Disp Mode

[チャンネル名ディスプレイ]の表示を切り替えます。

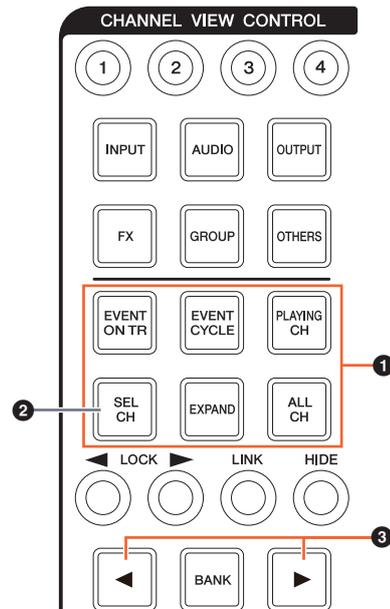


「Disp Mode」は、Nuage MasterのSETUPページ(111ページ)でも設定できます。

チャンネルの表示機能を追加 (Nuage Fader)

エージェント機能([SEL CH]など)を使用したあと、元の表示状態に戻したり、選択しているチャンネルがディスプレイに表示されていないとき、画面内にスクロールして表示できるようになりました。また、チャンネルをディスプレイの左から表示するか、右から表示するかを選択できるようになりました。

CHANNEL VIEW CONTROLセクション



① [EVENT ON TR] / [EVENT CYCLE] / [PLAYING CH] / [SEL CH] / [EXPAND] / [ALL CH]

それぞれのボタンに対応するチャンネルを表示しているとき、もう一度同じボタンを押すと、元の表示状態に復帰します。

ただし、[EVENT CYCLE]と[PLAYING CH]は、「プロジェクトカーソル」が動いているときに押しても復帰せず、再度エージェント機能が実行されます。

[ALT]を押しながら復帰すると、一番左のチャンネルを表示したまま復帰します。この機能は、エージェント機能を使用して特定のチャンネルを探すときに便利です。

② [SEL CH]

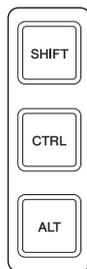
選択しているチャンネルがディスプレイに表示されていないとき、[ALT]を押しながら[SEL CH]を押すと、スクロールして画面内に表示します。

③ [◀] / [▶] (レフト/ライト)

Nuage Faderのフェーダー数よりもチャンネル表示数が少ないとき (エージェント機能を使用しているときなど)、次の機能を使用すると、チャンネルを手元で操作できます。

操作	機能
[SHIFT]を押しながら [◀]を押す	チャンネルが左から配置されます。
[SHIFT]を押しながら [▶]を押す	チャンネルが右から配置されます。
[ALT]を押しながら [▶]を押す	フリースクロールモードに切り替わりません。フリースクロールモードでは、左端または右端に固定されていたチャンネルも[タッチスライダバー]で動かせるようになります。
[ALT]を押しながら [◀]を押す	フリースクロールモードから戻ります。

MODIFIERセクション



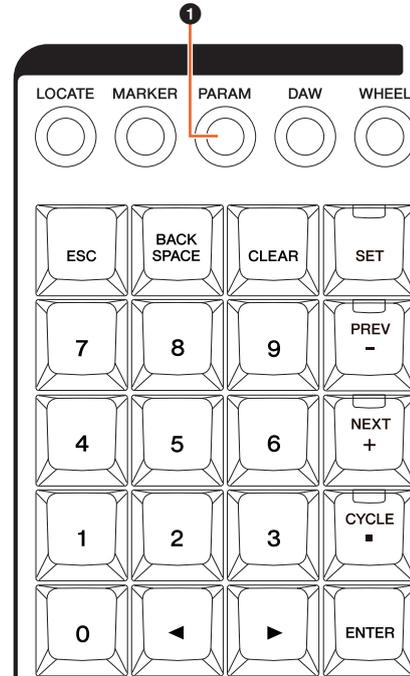
[SHIFT]、[CTRL]、[ALT]の3つを同時に押している間、ディスプレイに表示されている「ミキサー」のサイズを[マルチファンクションノブ]で変更できます。

操作	機能
「SCRN LEFT」	「ミキサー」の左端の位置を調節します。
「METER HEIGHT」	メーター部分の高さを調節します。
「SCRN RIGHT」	「ミキサー」の右端の位置を調節します。

トラックの選択方法を追加 (Nuage Master)

NUMERIC PADを使用してトラックを選択したり、複数のトラックを選択したりできるようになりました。

NUMERIC PADセクション

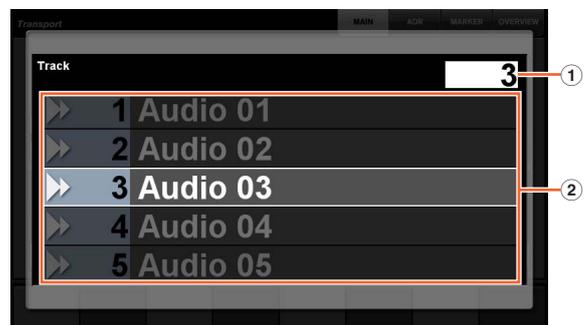


① [PARAM]

パラメーターモードで切り換える機能にトラック選択が追加されました。

トラック選択機能

トラック選択機能では、トラックの番号を入力することでトラックを選択できます。パラメーターモードのときに、[ESC]以外のキーを押すと、トラックの番号を入力するためのポップアップが[マルチファンクションディスプレイ]に表示されます。



① Track

トラックの番号を入力します。

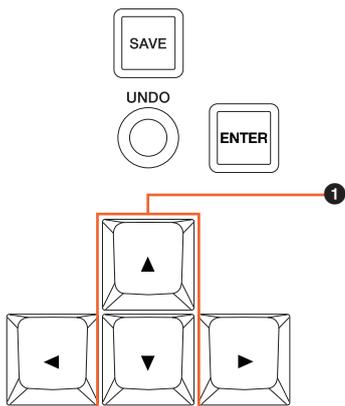
② トラックリスト

トラックのリストが表示されます。選択候補のトラックが強調して表示されます。

トラック選択機能のポップアップでは、[入力キー]は次のように機能します。

[入力キー]	機能
[0]～[9]	トラックの番号を入力します。
[BACK SPACE]	入力位置の数字を一つ削除します。
[CLEAR]	入力したすべての数字を削除します。
[SET]	セットモードに切り替えます。このときランプが点灯します。
[PREV -]	入力している番号の前のトラックの番号になります。
[NEXT +]	入力している番号の次のトラックの番号になります。
[CYCLE .]	選択トラックを追加するとき、このキーを押したあとに続けて番号を入力します。
[ESC]	入力を破棄し、ポップアップを消します。
[ENTER]	入力を確定します。

GENERAL CONTROLセクション



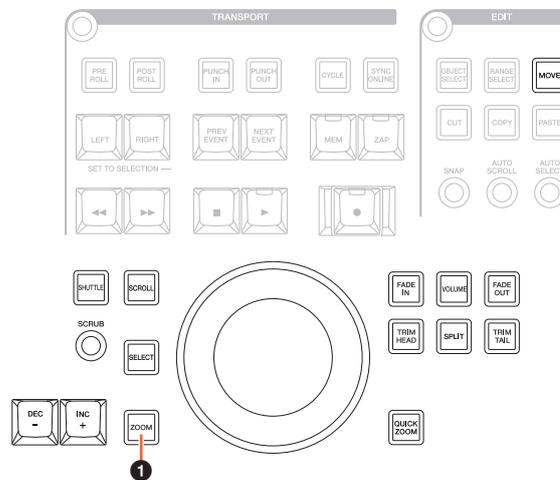
① [▲]/[▼](アップ/ダウン)

[SHIFT]を押しながら[▲]/[▼]を押すと、複数のトラックを選択できます。

ズームに関する操作を追加 (Nuage Master)

ズームに関するいくつかの操作が追加されました。

JOG WHEELセクション

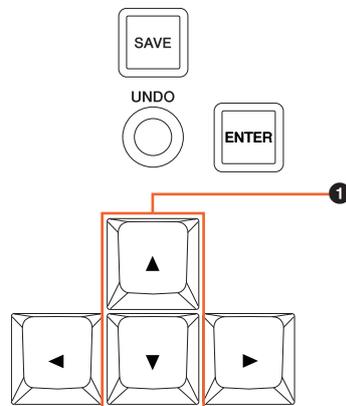


① [ZOOM]

[SHIFT]と[ALT]を押しながら[ジョグホイール]を回すと、波形を「ズームイン」/「ズームアウト」します。

[CTRL]と[ALT]を押しながら[ジョグホイール]を回すと、選択しているトラックの縦幅が変化します。

GENERAL CONTROLセクション



① [▲] / [▼] (アップ/ダウン)

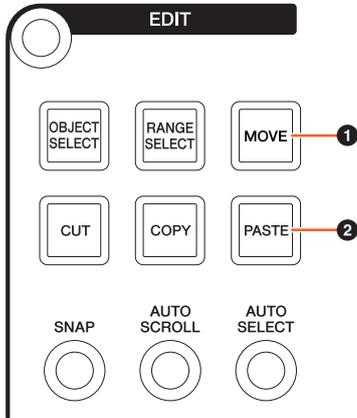
[CTRL]を押しながら[▲]を押すと、選択しているトラックの縦幅が狭くなります。

[CTRL]を押しながら[▼]を押すと、選択しているトラックの縦幅が広がります。

編集に関する操作を追加 (Nuage Master)

波形のオフセットを変更(スリップ)したり、コピー対象のイベントと「プロジェクトカーソル」の相対位置を保ったまま「貼り付け」をしたりできるようになりました。

EDITセクション



1 [MOVE]

「ツール」が「オブジェクトの選択」の場合、[SHIFT]と[ALT]を押しながら[ジョグホイール]を回すと、選択しているトラックの波形のオフセットを変更します。

2 [PASTE]

「ツール」が「オブジェクトの選択」の場合、[SHIFT]を押しながら[PASTE]を押すと、イベントと「プロジェクトカーソル」の相対位置をカット/コピーしたときの状態を保ったまま「貼り付け」します。

その他の機能追加 (Nuage Master)

SETUPページ



1 Disp Mode

[チャンネルネームディスプレイ]の表示を切り替えます。

2 Numeric Pad Input

ロケート機能で「プロジェクトカーソル」の位置を入力するときの入力方法を切り替えます。Rightにすると、テキスト入力になります。

DYNページ



1 タイトルバー

タッチしたプロセッサの「バイパス」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

2 パラメーター

各プロセッサのパラメーターが表示されます。タッチされたプロセッサのパラメーターを[マルチファンクションノブ]で操作できます。

「Comp」を選択しているときに一番右の[マルチファンクションノブ]を押すと、パラメーターがグラフで表示されます。もう一度押すと、元の表示に戻ります。

TRANSPORTページ

MAINページ



1 ロック/アンロック

「CLICK」と「TEMPO」をロック(点灯)/アンロック(暗点灯)します。

ロックすると、「CLICK」と「TEMPO」を[マルチファンクションノブ]で操作できなくなります。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<http://www.yamahaproaudio.com/>
ヤマハダウンロード
<https://download.yamaha.com/>

Manual Development Group
© 2013 Yamaha Corporation

2019年6月発行 MW-D0